

令和 6 年度第 2 回加東市子ども・子育て会議次第

令和 6 年 9 月 3 日（火）午後 2 時～

加東市役所 501 会議室（5 階）

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

(1) 第 2 期加東市子ども・子育て支援事業計画総括評価シート質疑の回答について

4 議 事

(1) 加東市子ども・子育てに関するアンケート調査の概要・結果について（資料①）

(2) 加東市こども計画（仮称）骨子案について（資料②、②－１）

5 そ の 他

6 閉 会

加東市子ども・子育てに関する アンケート調査の概要・結果

1. 調査の目的

本調査は、子育て施策を推進するにあたり、保護者及び小中学生に子ども・子育てに関する現状や考え方や毎日の過ごし方などの必要な情報を得ることを目的としたアンケート調査を実施しました。

2. 実施概要

(1) 保護者用

調査対象者	①加東市にお住まいの0歳～5歳のお子さんがある世帯 ②加東市立小・中・義務教育学校の3年生、6年生、7年生（中学1年生）および9年生（中学3年生）のお子さんがある世帯
抽出方法	①無作為抽出 ②（2）の調査対象者の保護者
調査票配布数	①300件 ②1,198件
調査期間	令和6年1月29日～令和6年2月22日
調査方法	①郵送による配布、インターネットおよび返信用封筒による回答 ②学校を通じて配布、インターネットによる回答

(2) 小中学生用

調査対象者	加東市立小・中・義務教育学校の3年生、6年生、7年生（中学1年生）および9年生（中学3年生）の児童生徒
抽出方法	対象学年全員
調査票配布数	1,198件
調査期間	令和6年1月29日～令和6年2月22日
調査方法	学校を通じて配布、タブレット端末による回答

3. 回収結果

調査対象者	配布数	回収数	回収率
保護者用	1,498件	616件	41.1%
小中学生用	1,198件	707件	59.0%

加東市子ども・子育てに関する アンケート調査報告書

令和6年8月

加 東 市

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
(1) 保護者用	1
(2) 小中学生用	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 保護者	3
(1) あなたご自身のことについて	3
(2) 子育ての悩みについて	6
(3) 仕事と育児の両立・職場の支援制度について	9
(4) お子さんについて	16
(5) 子育て支援全般について	21
2. 小学生・中学生	33
(1) あなたご自身のことについて	33
(2) 家庭内の大人について	34
(3) 地域について	36
(4) ご自身の悩みについて	39
(5) ご自身の日常について	42

第1章 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、子育て施策を推進するにあたり、保護者及び小中学生に子ども・子育てに関する現状や考え方や毎日の過ごし方などの必要な情報を得ることを目的としたアンケート調査を実施しました。

2. 実施概要

(1) 保護者用

調査対象者	①加東市にお住まいの0歳～5歳のお子さんがある世帯 ②加東市立小・中・義務教育学校の3年生、6年生、7年生（中学1年生）および9年生（中学3年生）のお子さんがある世帯
抽出方法	①無作為抽出 ②（2）の調査対象者の保護者
調査票配布数	①300件 ②1,198件
調査期間	令和6年1月29日～令和6年2月22日
調査方法	①郵送による配布、インターネットおよび返信用封筒による回答 ②学校を通じて配布、インターネットによる回答

(2) 小中学生用

調査対象者	加東市立小・中・義務教育学校の3年生、6年生、7年生（中学1年生）および9年生（中学3年生）の児童生徒
抽出方法	対象学年全員
調査票配布数	1,198件
調査期間	令和6年1月29日～令和6年2月22日
調査方法	学校を通じて配布、タブレット端末による回答

3. 回収結果

調査対象者	配布数	回収数	回収率
保護者用	1,498件	616件	41.1%
小中学生用	1,198件	707件	59.0%

4. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・図表中の「MA%」（Multiple Answer の略）や「3 LA%」（3 Limited Answer の略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「○はいくつでも」や「○は3つまで」選択する形式の設問）です。

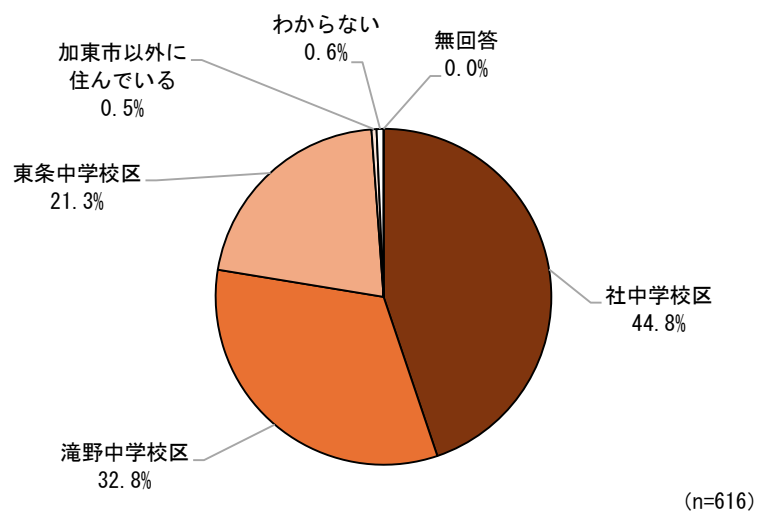
第2章 調査結果

1. 保護者

(1) あなたご自身のことについて

問1	お住いの中学校区を教えてください。	○は1つだけ
----	-------------------	--------

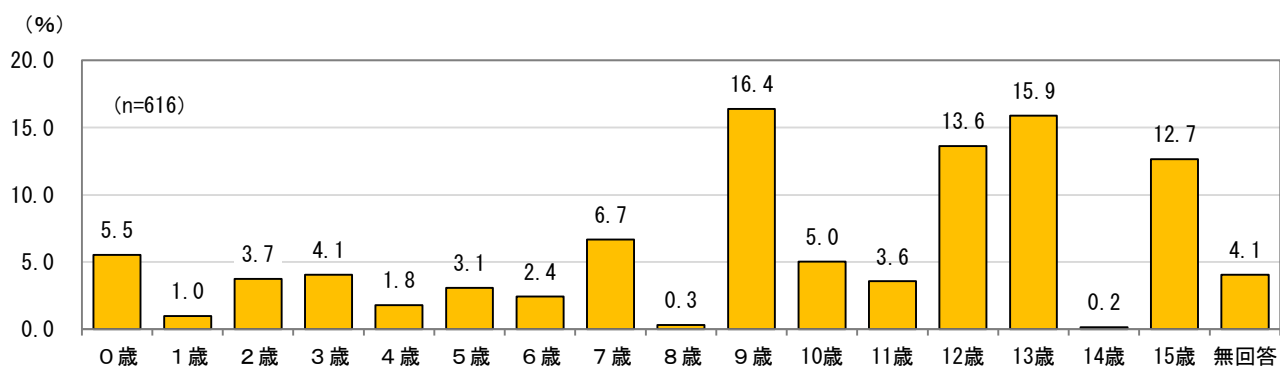
住まいの地区について、「社中学校区」が44.8%で最も多く、次いで「滝野中学校区」が32.8%、「東条中学校区」が21.3%となっています。



中学校区	小学校区
社	社小学校、福田小学校、米田小学校、三草小学校、鴨川小学校
滝野	滝野東小学校、滝野南小学校
東条	東条学園小中学校

問2	このアンケートを持って帰ってきた、または郵送でこのアンケートが届いたお子さんの生年月日を教えてください。	数値を入力
----	--	-------

子どもの年齢について、「9歳」が16.4%で最も多く、次いで「13歳」が15.9%、「12歳」が13.6%となっています。

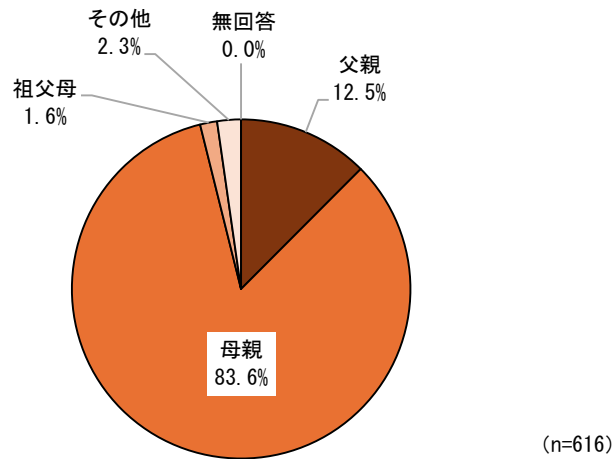


問3

このアンケート調査に回答いただいているのは、お子さんからみた関係で、どなたですか。

○は1つだけ

アンケートの記入者について、「母親」が83.6%で最も多く、次いで「父親」が12.5%、「祖父母」が1.6%となっています。

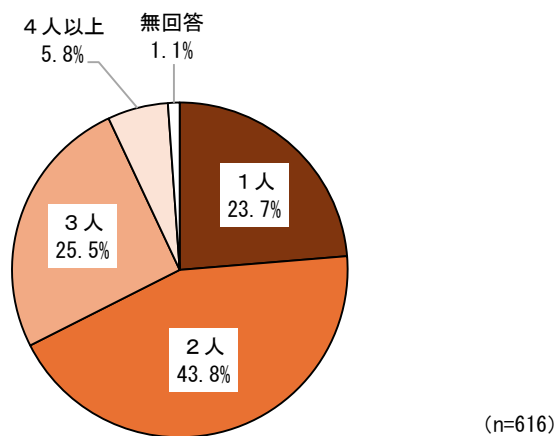


問4

同居されているお子さんは何人ですか。

数値を入力

同居している子どもについて、「2人」が43.8%で最も多く、次いで「3人」が25.5%、「1人」が23.7%となっています。

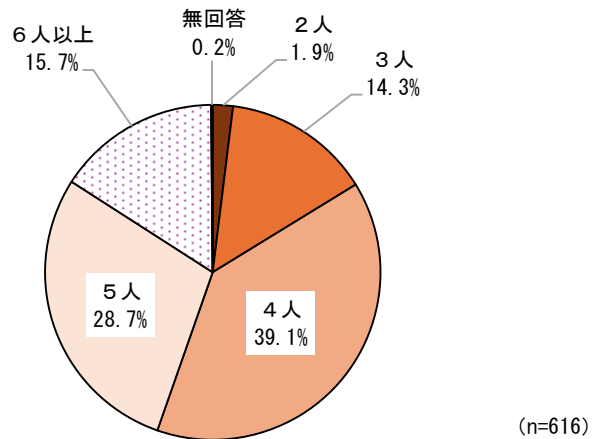


問5

同居されている方は、ご自身を含めて何人ですか。

数値を入力

同居人数について、「4人」が39.1%で最も多く、次いで「5人」が28.7%、「3人」が14.3%となっています。

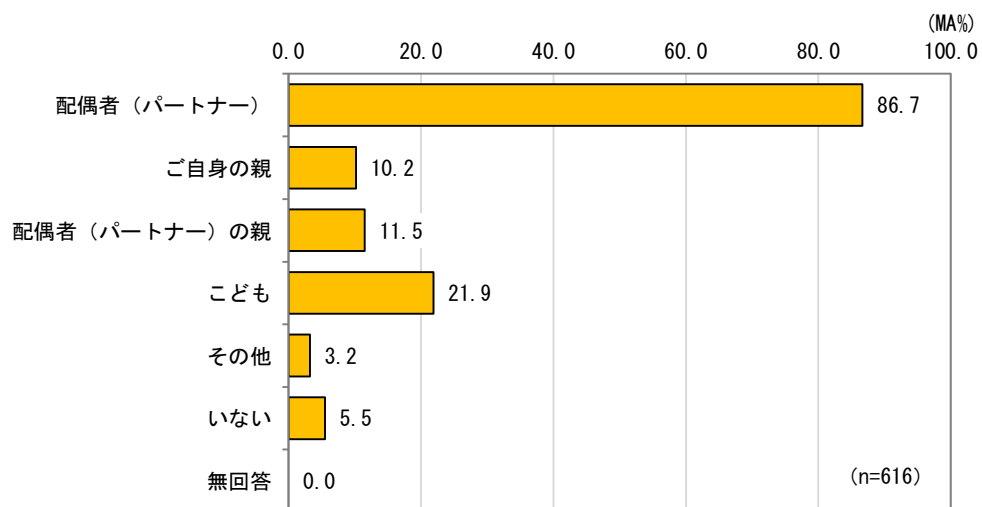


問6

同居されている18歳以上の方はどなたですか。

〇はいくつでも

同居している18歳以上の人について、「配偶者（パートナー）」が86.7%で最も多く、次いで「子ども」が21.9%、「配偶者（パートナー）の親」が11.5%となっています。



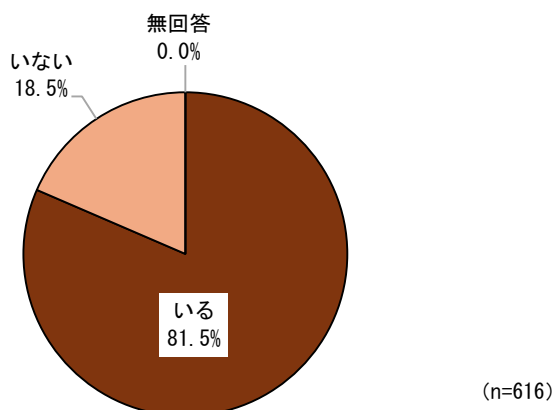
(2) 子育ての悩みについて

問 7

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人などはいますか。

○は1つだけ

子どもの面倒を見てもらえる親族・知人について、「いる」が81.5%、「いない」が18.5%となっています。



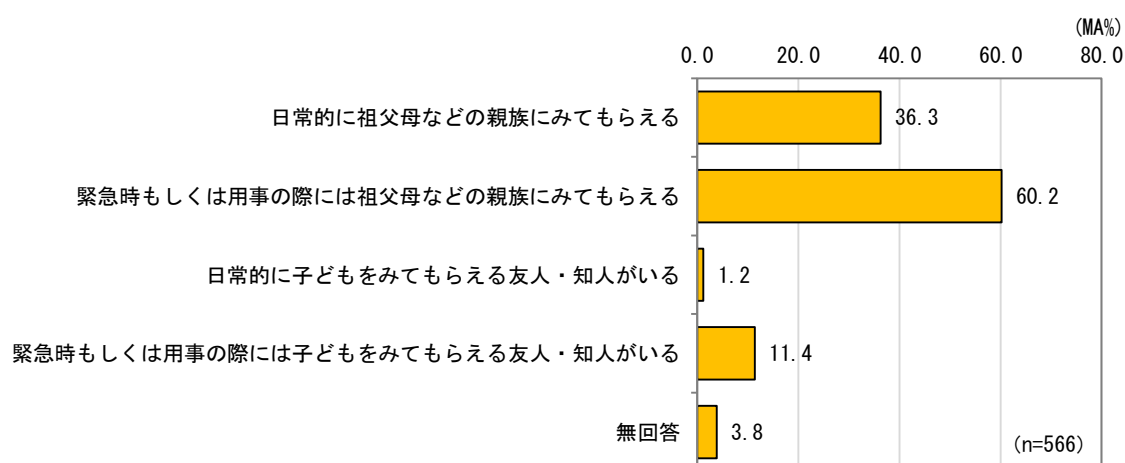
〈問7で「いる」を選択した方にうかがいます。〉

問 7-1

日頃、どのくらいお子さんをみてもらえますか。

○はいくつでも

子どもの面倒を見てもらえる親族・知人がいる人に、その頻度について聞いたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親戚にみてもらえる」が60.2%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親戚にみてもらえる」が36.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が11.4%となっています。

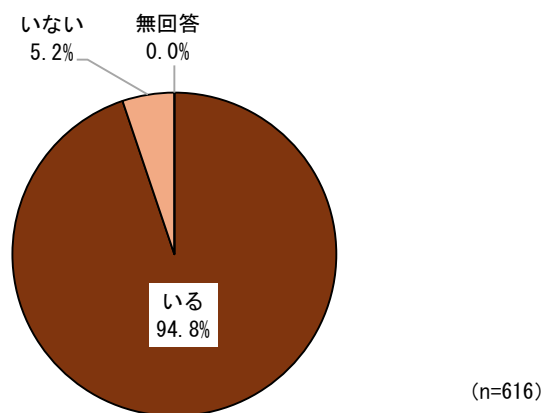


問 8

あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか。

○は1つだけ

子育てに関して気軽に相談できる人について、「いる」が94.8%、「いない」が5.2%となっています。



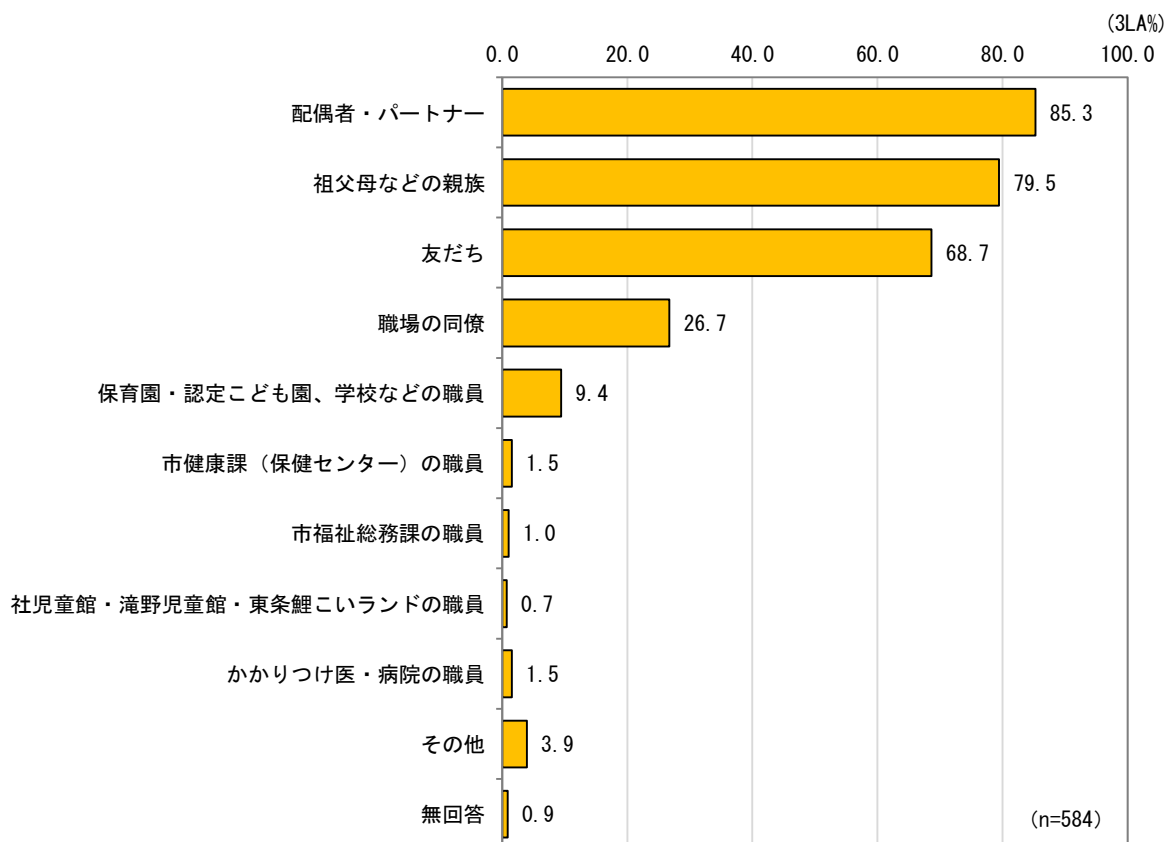
〈問8で「いる」を選択した方にうかがいます。〉

問 8 - 1

お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰ですか。

○は3つまで

子育てに関して気軽に相談できる人がいる人に、相談先について聞いたところ、「配偶者・パートナー」が85.3%で最も多く、次いで「祖父母などの親戚」で79.5%、「友だち」が68.7%となっています。

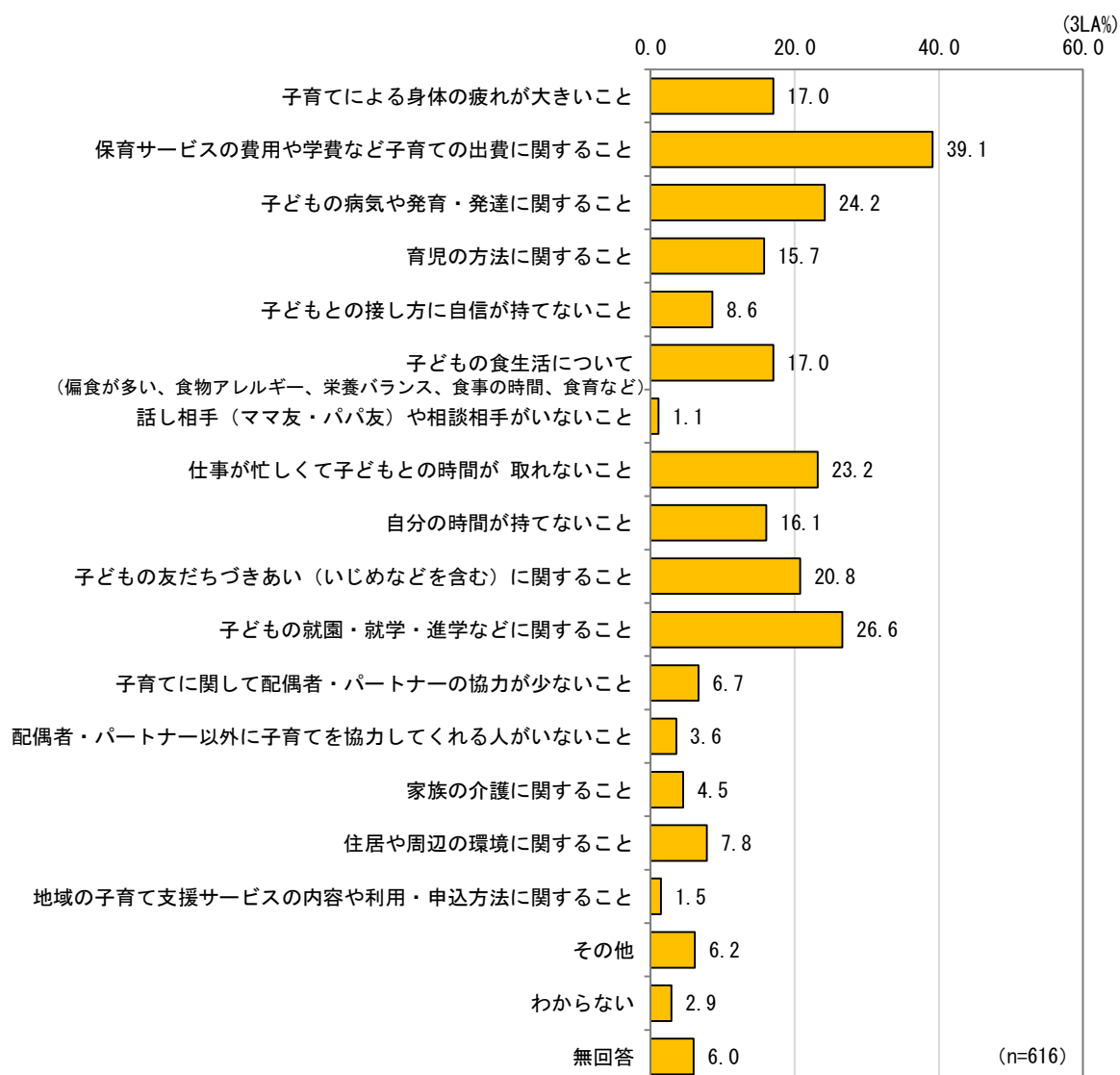


問9

子育て等に関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

〇は3つまで

子育て等に関して悩んでいること・気になることについて、「保育サービスの費用や学費など子育ての出費に関すること」が39.1%で最も多く、次いで「子どもの就園・就学・進学などに関すること」が26.6%、「子どもの病気や発育・発達にかんすること」が24.2%となっています。



問9-1	問9の回答について、日常悩んでいること、または気になることの内容について、可能な範囲で教えてください。	自由記述
------	---	------

悩んでいること・気になることの内容について、以下のような回答が多く見られました。

出費に関すること

- 進学にかかる費用の負担が大きく不安である。
- 働いた分が高い保育料でなくなってしまう。
- 収入に関係なく支援してほしい。

発達に関すること

- 自分の子どもと他人の子どもの発達を比べてしまう。
- 発達がゆっくりで心配になる。

食に関すること

- 偏食のためバランスの良い食事をとってくれない。
- 食物アレルギーがあること。
- 一緒に食事をする時間がとれない。

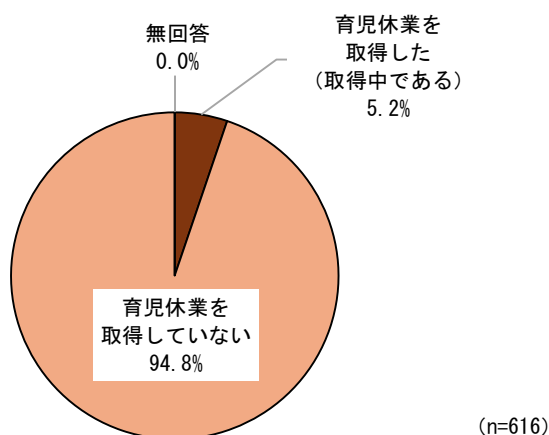
その他

- ゲームや動画に夢中になりすぎている。
- 子どもの育て方に関して正解がわからない。
- 子ども同士の人間関係が不安である。

(3) 仕事と育児の両立・職場の支援制度について

問10	お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。	○は1つだけ
-----	-----------------------------	--------

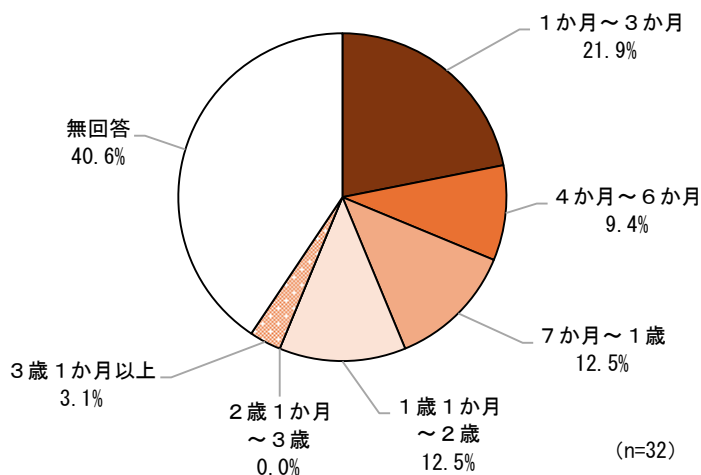
父親の育児休業について、「育児休業を取得した（取得中である）」が 5.2%、「育児休業を取得していない」が 94.8%となっています。



〈問 10 で「育児休業を取得した（取得中である）」を選択した方にうかがいます。〉

問 10-1	育児休業からは「実際」にお子さんが何歳の時に職場復帰（予定含む）しましたか。	数値を入力
--------	--	-------

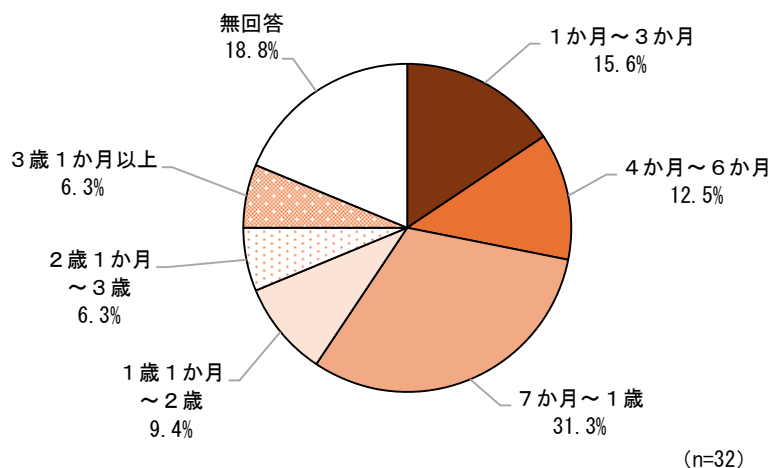
父親が育児休業を取得した・取得中である人に、子どもが何歳の時に職場復帰したのかについて聞いたところ、「1 か月～3 か月」が 21.9%で最も多く、次いで「7 か月～1 歳」「1 歳 1 か月～2 歳」がそれぞれ 12.5%、「4 か月～6 か月」が 9.4%となっています。



〈問 10 で「育児休業を取得した（取得中である）」を選択した方にうかがいます。〉

問 10-2	「希望として」はお子さんが何歳の時まで育児休業を取得したかったですか。	数値を入力
--------	-------------------------------------	-------

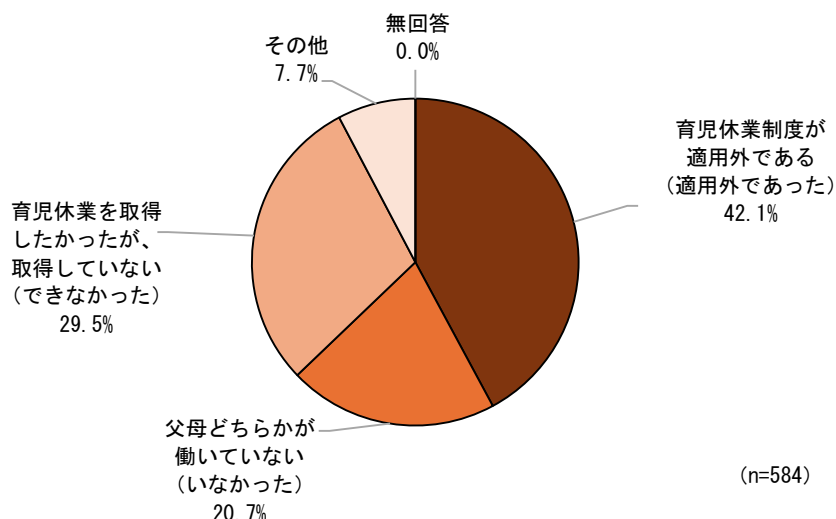
父親が育児休業を取得した・取得中である人に、子どもが何歳の時まで育児休業を取得したかったのかについて聞いたところ、「7 か月～1 歳」が 31.3%で最も多く、次いで「1 か月～3 か月」が 15.6%、「4 か月～6 か月」が 12.5%となっています。



〈問 10 で「育児休業を取得していない」を選択した方にうかがいます。〉

問 10－3	育児休業を取得していない理由を教えてください。	○は1つだけ
--------	-------------------------	--------

父親が育児休業を取得していない人に、育児休業を取得していない理由について聞いたところ、「育児休業制度が適用外である（適用外であった）」が 42.1%で最も多く、次いで「育児休業を取得したかったが、取得していない（できなかった）」が 29.5%、「父母どちらかが働いていない（いなかった）」が 20.7%となっています。



〈問 10－3 で「育児休業を取得したかったが、取得していない（できなかった）」を選択した方にうかがいます。〉

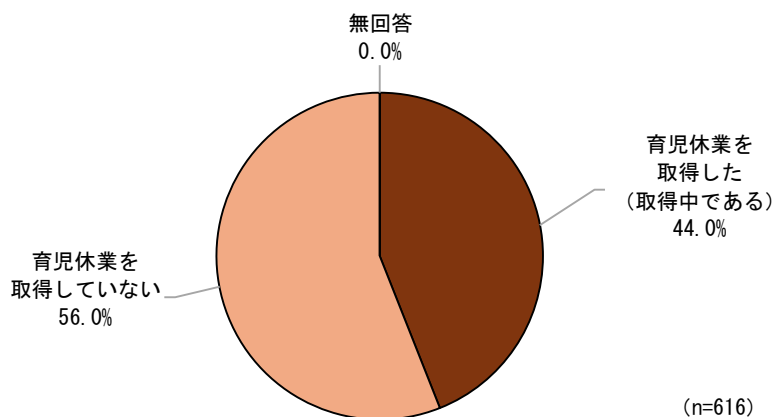
問 10－4	育児休業を取得したかったが、取得していない（できなかった）理由について、可能な範囲で教えてください。	自由記述
--------	--	------

父親が育児休業を取得したかったが取得していない人に、その理由について聞いたところ、以下のような回答が多く見られました。

- 母親が育児休業を取ったから。
- 父親が育児休業を取れる雰囲気ではなかったから。
- 収入が少なくなってしまう、生活が苦しくなるから。

問 11	お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。	○は1つだけ
------	-----------------------------	--------

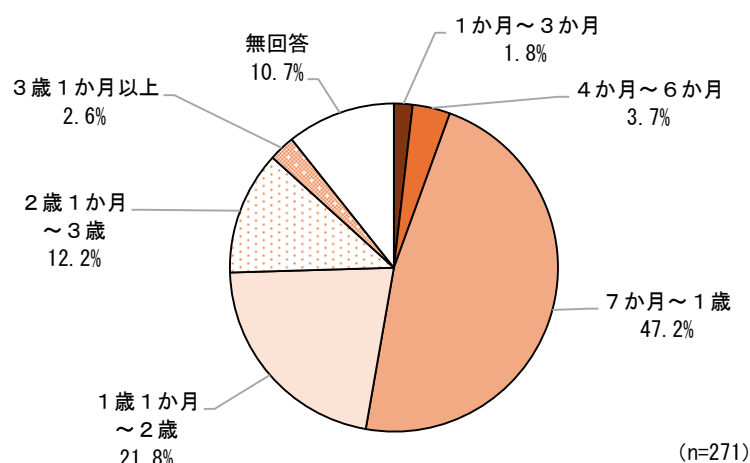
母親の育児休業について、「育児休業を取得した（取得中である）」が 44.0%、「育児休業を取得していない」が 56.0%となっています。



〈問 11 で「育児休業を取得した（取得中である）」を選択した方にうかがいます。〉

問 11-1	育児休業からは「実際」にお子さんが何歳の時に職場復帰（予定含む）しましたか。	数値を入力
--------	--	-------

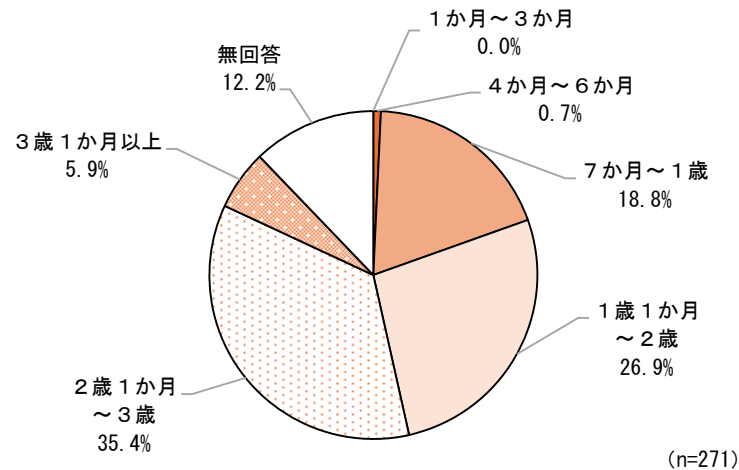
母親が育児休業を取得した・取得中である人に、子どもが何歳の時に職場復帰したのかについて聞いたところ、「7か月～1歳」が 47.2%で最も多く、次いで「1歳1か月～2歳」が 21.8%、「2歳1か月～3歳」が 12.2%となっています。



〈問 11 で「育児休業を取得した（取得中である）」を選択した方にうかがいます。〉

問 11-2	「希望として」はお子さんが何歳の時まで育児休業を取得したかったですか。	数値を入力
--------	-------------------------------------	-------

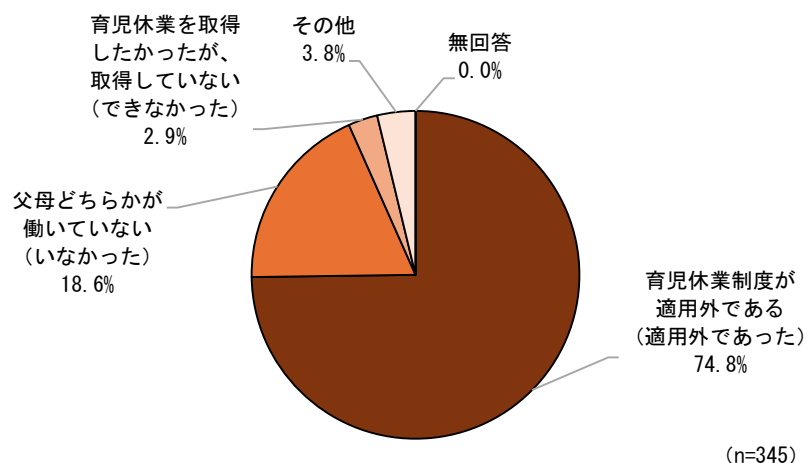
母親が育児休業を取得した・取得中である人に、子どもが何歳の時まで育児休業を取得したかったのかについて聞いたところ、「2歳1か月～3歳」が35.4%で最も多く、次いで「1歳1か月～2歳」が26.9%、「7か月～1歳」が18.8%となっています。



〈問 11 で「育児休業を取得していない」を選択した方にうかがいます。〉

問 11-3	育児休業を取得していない理由を教えてください。	○は1つだけ
--------	-------------------------	--------

母親が育児休業を取得していない人に、育児休業を取得していない理由について聞いたところ、「育児休業制度が適用外である（適用外であった）」が74.8%で最も多く、次いで「父母どちらかが働いていない（いなかった）」が18.6%、「育児休業を取得したかったが、取得していない（できなかった）」が2.9%となっています。



〈問 11－3 で「育児休業を取得したかったが、取得していない（できなかった）」を選択した方にうかがいます。〉

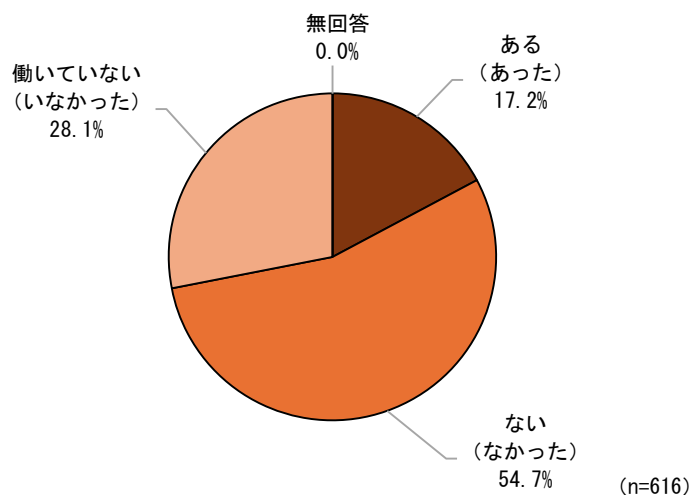
問 11－4	育児休業を取得したかったが、取得していない（できなかった）理由について、可能な範囲で教えてください。	自由記述
--------	--	------

母親が育児休業を取得したかったが取得していない人に、その理由について聞いたところ、以下のような回答が多く見られました。

- 職場が育児休業を取れる雰囲気ではなかったから。
- 育児休業を取ることをパートナーに反対されたから。
- 自営業のため休むことができなかったから。

問 12	子育てをする中で、職場で妊娠・出産・育児休業等に関して嫌な思いをしたこと（ハラスメント）がありますか（ありましたか）。	○は1つだけ
------	---	--------

子育て中のハラスメントについて、「ない（なかった）」が 54.7%で最も多く、次いで「働いていない（いなかった）」が 28.1%、「ある（あった）」が 17.2%となっています。



〈問 12 で「ある（あった）」と答えた方にうかがいます。〉

問 12－1	可能な範囲で嫌な思いをしたこと（ハラスメント）の内容について教えてください。	自由記述
--------	--	------

子育て中のハラスメントがあった人に、その内容について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

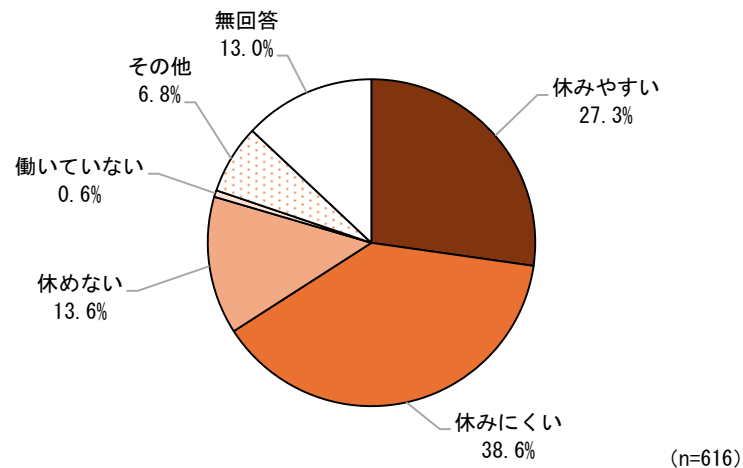
- あなたの妊娠は喜べないと言われた。
- 子ども関係で休みを取ると、いやな顔をされた。
- 妊婦なのに重いものを持たされるなど配慮がなかった。
- 時短勤務を申請すると嫌味を言われた。
- 管理職や出世コースから外された。

問 13-1

現在、子どもの用事や、子どもの体調不良時に父親は仕事を休むことができますか。

○は1つだけ

子どもの用事・体調不良の時に父親が仕事を休むことができるのかについて、「休みにくい」が38.6%で最も多く、次いで「休みやすい」が38.6%、「休めない」が13.6%となっています。

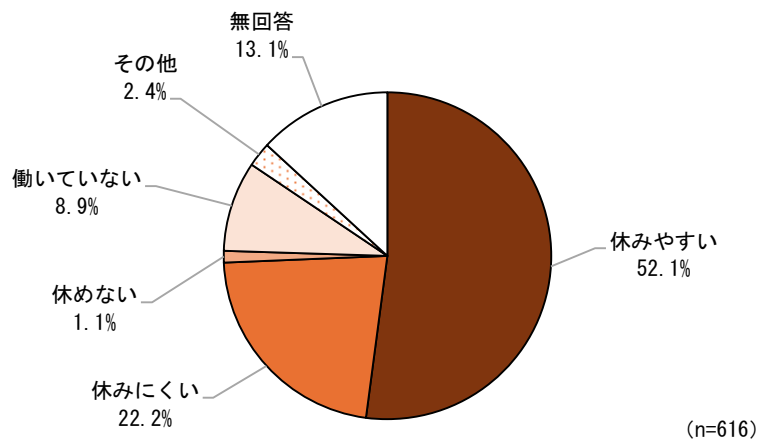


問 13-2

現在、子どもの用事や、子どもの体調不良時に母親は仕事を休むことができますか。

○は1つだけ

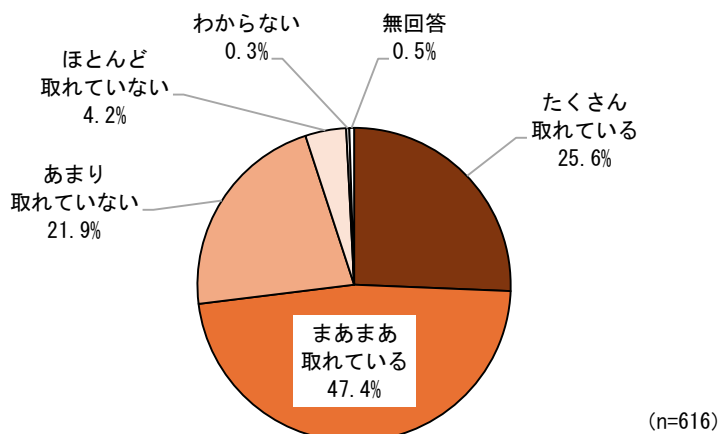
子どもの用事・体調不良の時に母親が仕事を休むことができるのかについて、「休みやすい」が52.1%で最も多く、次いで「休みにくい」が22.2%、「働いていない」が8.9%となっています。



(4) お子さんについて

問 14	子どもと同じ部屋で過ごす時間は1日あたりどれくらい取れていますか。	○は1つだけ
------	-----------------------------------	--------

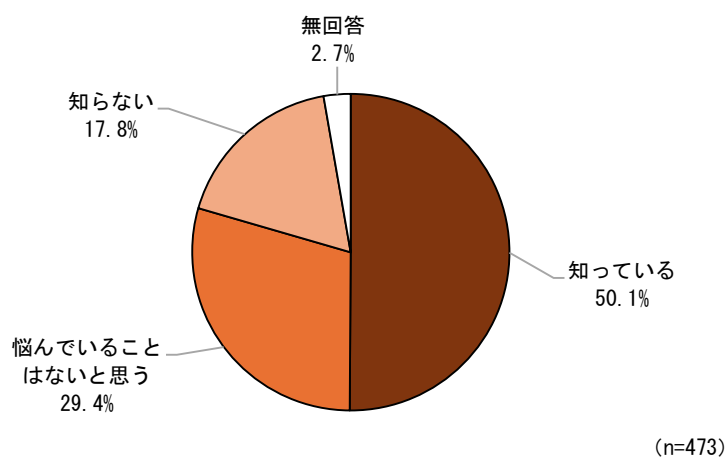
子どもと同じ部屋で過ごす時間について、「まあまあ取れている」が47.4%で最も多く、次いで「たくさん取れている」が25.6%、「ほとんど取れていない」が4.2%となっています。



〈問 15 から問 18 までは、小学生以上の保護者の方にうかがいます。〉

問 15	お子さん自身が困っていることや悩んでいることを知っていますか。	○は1つだけ
------	---------------------------------	--------

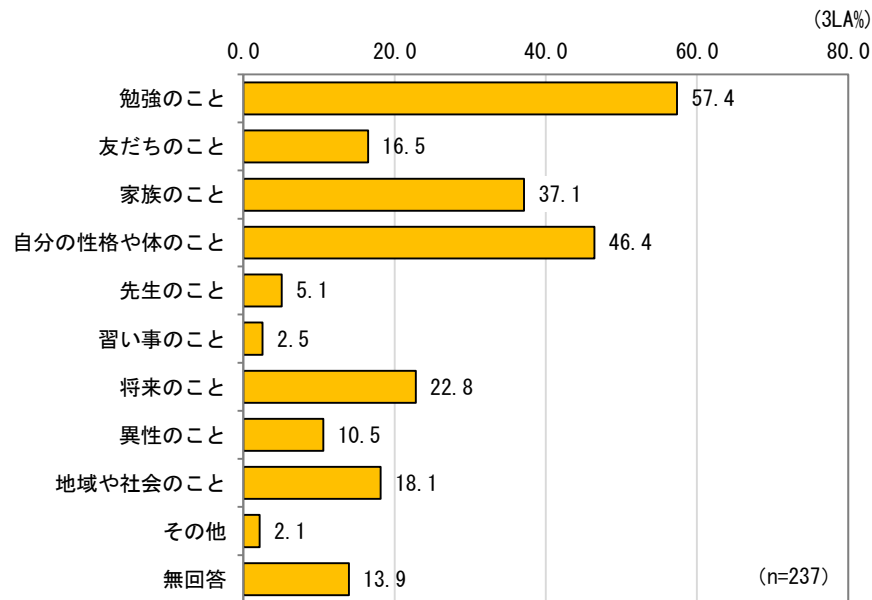
小学生以上の保護者に、子どもが困っていること・悩んでいることを知っているかについて聞いたところ、「知っている」が50.1%で最も多く、次いで「悩んでいることはないと思う」が29.4%、「知らない」が17.8%となっています。



〈問 15 で「知っている」と答えた方にうかがいます。〉

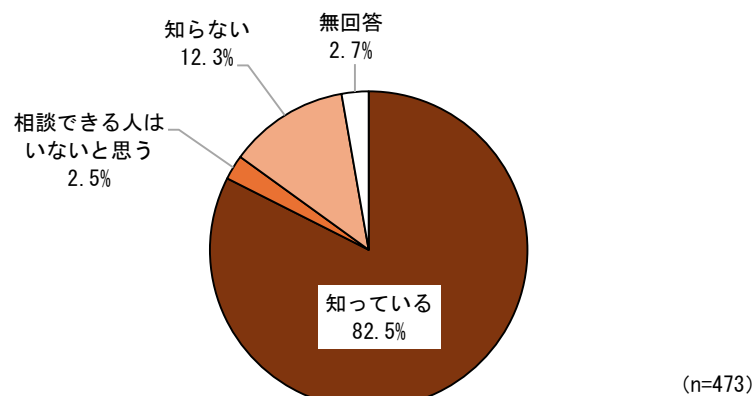
問 15-1	お子さん自身が困っていることや悩んでいることはどんなことだと思いますか。	○は3つまで
--------	--------------------------------------	--------

小学生以上の保護者で子どもが困っていること・悩んでいることを知っている人に、子どもが困っていること・悩んでいることの内容について聞いたところ、「勉強のこと」が 57.4%で最も多く、次いで「自分の性格や体のこと」が 46.4%、「家族のこと」が 37.1%となっています。



問 16	お子さん自身が困ったり悩んだ時に、相談する人は誰か知っていますか。問 15 で「悩んでいることはないと思う」と答えた方は、お子さん自身が困ったり悩んだりした場合としてお答えください。	○は1つだけ
------	---	--------

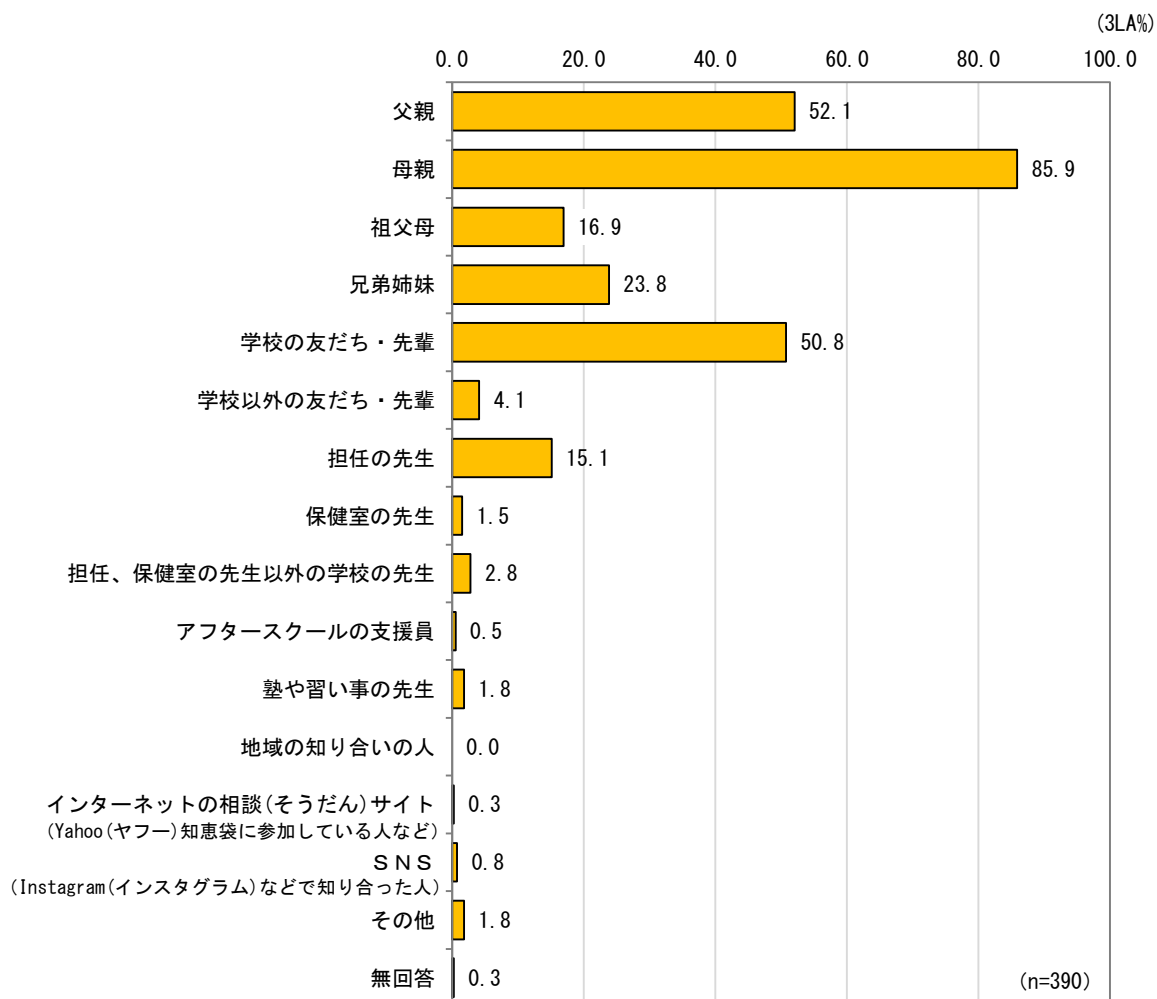
小学生以上の保護者に、子どもが困ったり悩んだりした時の相談者を知っているかについて聞いたところ、「知っている」が 82.5%で最も多く、次いで「知らない」が 12.3%、「相談できる人はいないと思う」が 2.5%となっています。



〈問 16 で「知っている」と答えた方にうかがいます。〉

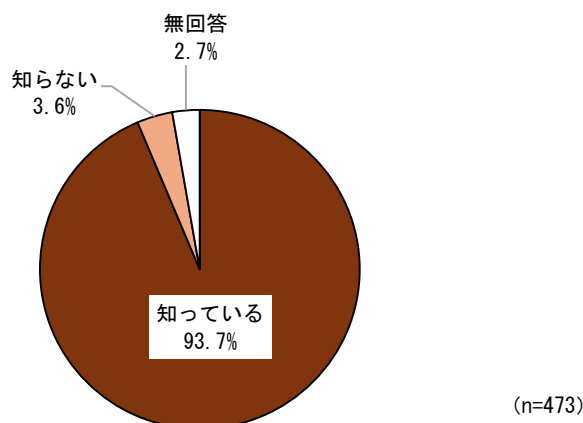
問 16-1	お子さん自身が困ったり悩んだ時に、相談する人は誰だと思いますか。	〇は3つまで
--------	----------------------------------	--------

小学生以上の保護者で子どもが困ったり悩んだりした時の相談者を知っている人に、相談者について聞いたところ、「母親」が 85.9%で最も多く、次いで「父親」が 52.1%、「学校の友達・先輩」が 50.8%となっています。



問 17	お子さんが、平日の放課後にほっとでき、安心していられるところはどこか知っていますか。	〇は1つだけ
------	--	--------

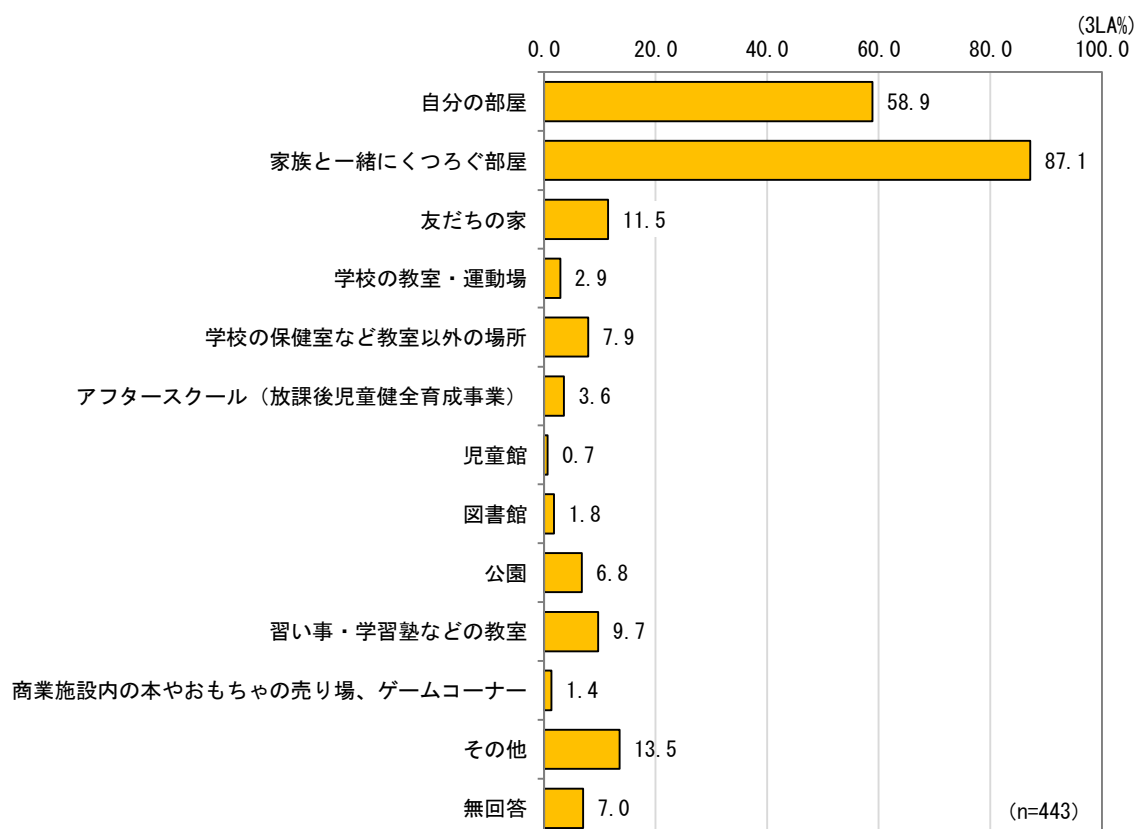
小学生以上の保護者に、子どもが平日の放課後に落ち着くことができる場所について知っているか聞いたところ、「知っている」が93.7%、「知らない」が3.6%となっています。



〈問 17 で「知っている」と答えた方にうかがいます。〉

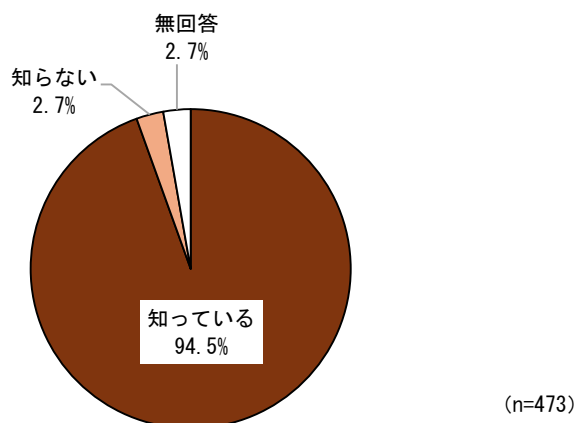
問 17-1	お子さんが、平日の放課後にほっとでき、安心していられるところはどこだと思えますか。	〇は3つまで
--------	---	--------

小学生以上の保護者で子どもが平日の放課後に落ち着くことができる場所について知っている人に、場所について聞いたところ、「家族と一緒にくつろぐ部屋」が87.1%で最も多く、次いで「自分の部屋」が58.9%、「友だちの家」が11.5%となっています。「その他」では、「祖父母の家」という回答が多く見受けられました。



問 18	お子さんが、学校の無い日（土・日・祝日・長期休業日）にほっとでき、安心していられるところはどこか知っていますか。	○は1つだけ
------	--	--------

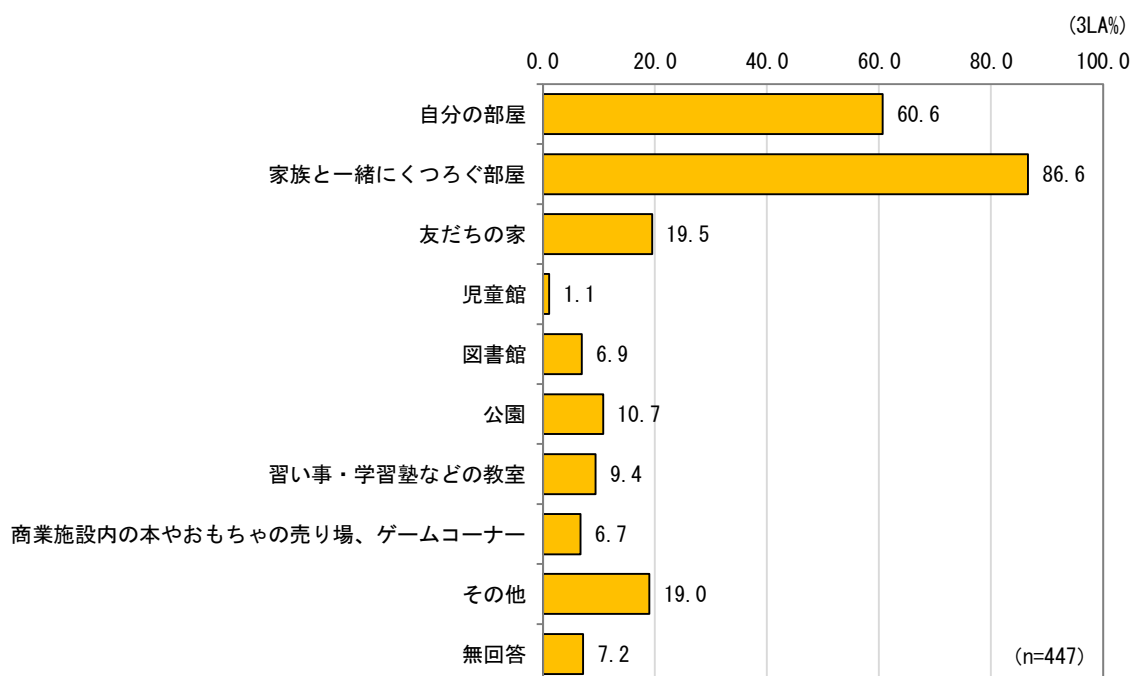
小学生以上の保護者に、子どもが学校の無い日に落ち着くことができる場所について知っているか聞いたところ、「知っている」が94.5%、「知らない」が2.7%となっています。



〈問 18 で「知っている」と答えた方にうかがいます。〉

問 18—1	お子さんが、学校の無い日（土・日・祝日・長期休業日）にほっとでき、安心していられるところはどこだと思えますか。	○は3つまで
--------	---	--------

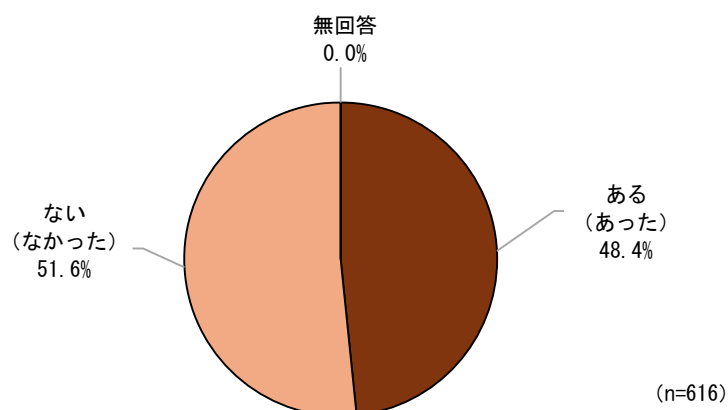
小学生以上の保護者で子どもが学校の無い日に落ち着くことができる場所について知っている人に、場所について聞いたところ、「家族と一緒にくつろぐ部屋」が86.6%で最も多く、次いで「自分の部屋」が60.6%、「友だちの家」が19.5%となっています。



(5) 子育て支援全般について

問 19	加東市内で、お子さんと外出する（外出した）時に、不便を感じる（感じた）ことはありますか。	○は1つだけ
------	--	--------

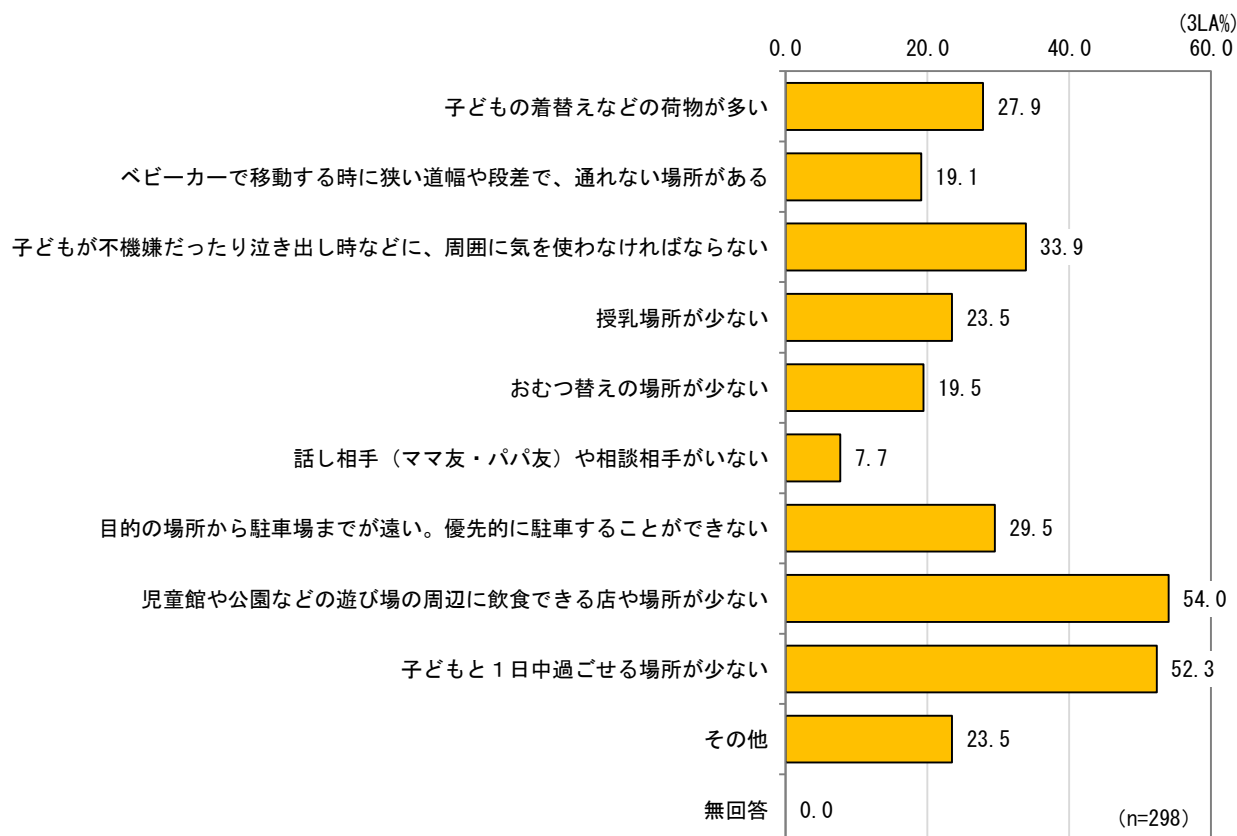
子どもと外出する時に不便を感じたことがあるかについて、「ある（あった）」が48.4%、「ない（なかった）」が51.6%となっています。



〈問 19 で「ある（あった）」を選択した方にうかがいます。〉

問 19-1	加東市内で、お子さんと外出する（外出した）時に、不便を感じる（感じた）ことは何ですか。	○は3つまで
--------	---	--------

子どもと外出する時に不便を感じたことがある人に、その内容について聞いたところ、「児童館や公園などの遊び場の周辺に飲食できる店や場所が少ない」が54.0%で最も多く、次いで「子どもと一日中過ごせる場所が少ない」が52.3%、「子どもが不機嫌だったり泣き出し時などに周囲に気を使わなければならない」が33.9%となっています。



〈問 19－1 で「児童館や公園などの遊び場の周辺に飲食できる店や場所が少ない」または「子どもと1日中過ごせる場所が少ない」を選択した方にうかがいます。〉

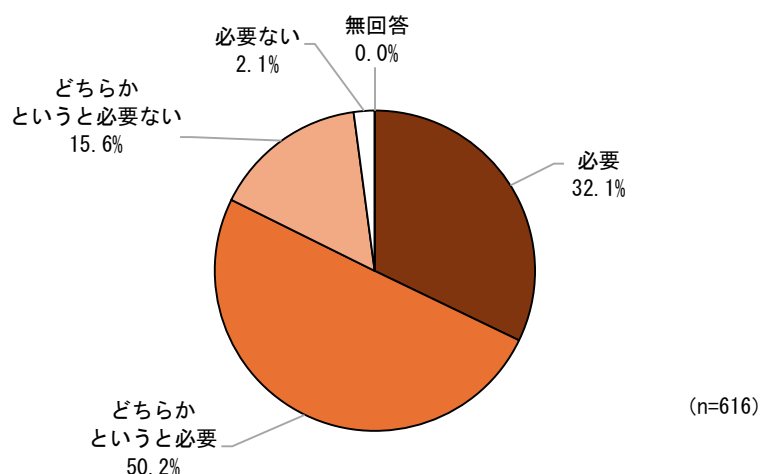
問 19－2	加東市内にどのような施設や設備があれば良いと思いますか。	自由記述
--------	------------------------------	------

遊び場の周辺に飲食店が少ないと感じる人、子どもと一日中過ごせる場所が少ないと感じる人に、施設や設備について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

- 子どもと気軽に利用できる飲食店
- 雨天でも利用できる複合施設
- 遊具が充実した公園

問 20	加東市で子育てする中で、あなた自身は地域の人とのつながりが必要と感じますか。	○は1つだけ
------	--	--------

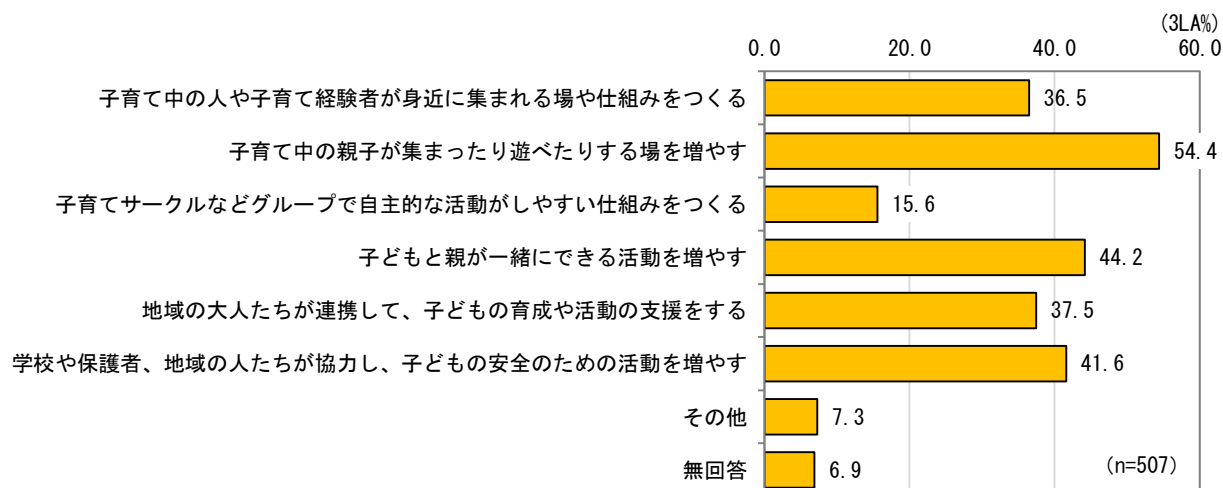
子育て中に地域の人とのつながりが必要と感じるかについて、「どちらかという必要」が 50.2%で最も多く、次いで「必要」が 32.1%、「どちらかという必要ない」が 15.6%となっています。



〈問 20 で「必要」または「どちらかという必要」を選択した方にうかがいます。〉

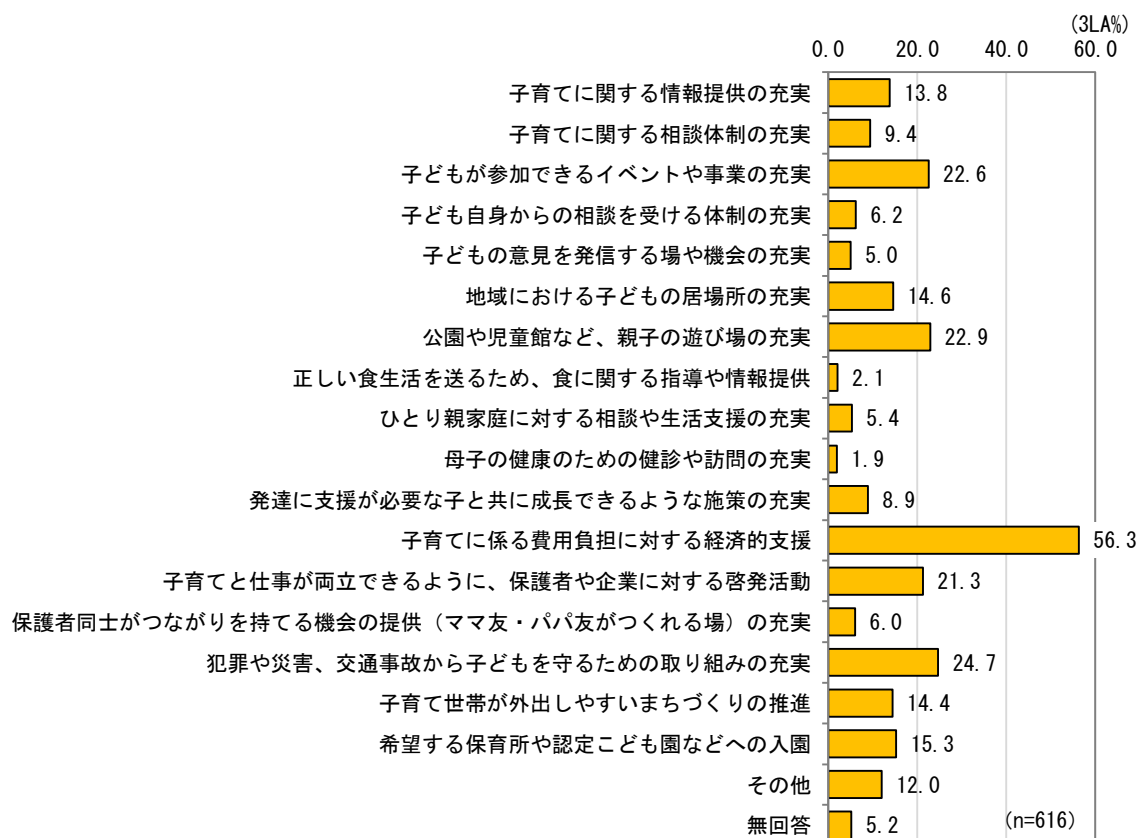
問 20-1	地域の中で子育てするためには、地域の人とどのような取り組みを希望しますか。	〇は3つまで
--------	---------------------------------------	--------

子育て中に地域の人とのつながりが必要と感じる人に、取り組みについて聞いたところ、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場所を増やす」が 54.4%で最も多く、次いで「子どもと親と一緒に活
 できる活動を増やす」が 44.2%、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全のための活動を増
 やす」が 41.6%となっています。



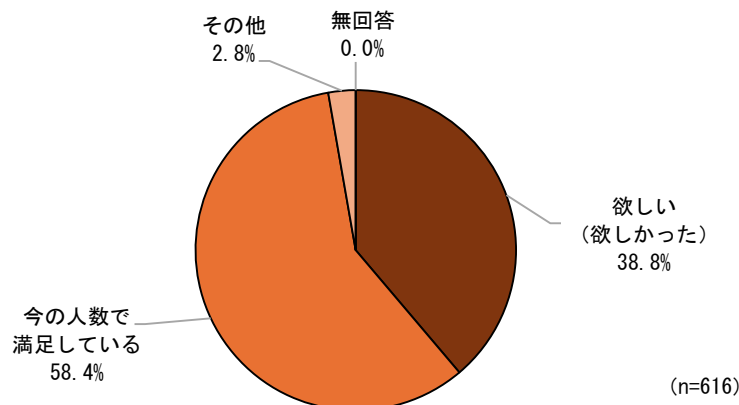
問 21	子育てしやすいまちにするため、子育て支援への取り組みとして、期待すること・重要なことは何ですか。	〇は3つまで
------	--	--------

子育て支援への取り組みとして期待すること・重要なことについて、「子育てに係る費用負担に対する
 経済的支援」が 56.3%で最も多く、次いで「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取り組みの
 充実」が 24.7%、「公園や児童館など、親子の遊び場の充実」が 22.9%となっています。



問 22	問 21 の取り組みが充実していたら、あなたは、さらにお子さんが欲しい（欲しかった）と考えますか。	○は1つだけ
------	---	--------

子育て支援への取り組みが充実していたら、さらに子供がほしいかについて、「今の人数で満足している」が 58.4%で最も多く、次いで「欲しい（欲しかった）」が 38.8%、「その他」が 2.8%となっています。



問 23	子育てに関するご意見があれば、ご自由に記入してください。	自由記述
------	------------------------------	------

○大阪から加東市に嫁ぎ本当に不便だと感じました。公共の乗り物も充実していないので、車の運転ができなかった私には、子供を病院へ連れて行くのも一苦勞でした。保健所へ相談してもいい返事がかえってこないなど、本当に加東市が嫌で嫌でしょうがなかったです。車が乗る今でも感じます。歩道の道路は狭くガタガタで学生たちは急な坂道を雨の日でも一生懸命自転車をこぎ、子供たちを遊ばすときには親が車をだし遊ぶための送り迎えをしないとイケない。私の子供は高校入学するまで電車の乗り方も知りませんでした。これは高れい者の方にも言えることではないでしょうか？車が乗れないということだけでコミュニティーが狭くなる。不便と感じている人の声に耳をかたむけてください。そして不便を少しずつ解消して下さい。

○子供がもう一人ほしいのに、しょうらいが心配で、お金の問題で作れない。習い事もさせたいのに、制服代、学費がかかり、だんなにもきびしいらしく、たよれなくて、夜まではたらないといけなくなって、子供の時間もなくなる。

○問 9-1 に書いた不安が解消され、問 19-2 に書いたような環境になれば子育てしやすく、住みごちの良い街と思えるが、難しいことも分かっている。同じような不安をかかえる人が 1 人でも少なくなると良いと思う。先生をごっそりかえるのは、不安が大きくなるのでやめてほしかった。小中一貫は東条が一番初めだったので、いい点、悪い点、きちんと精査して他の地域に生かしてください。小中一貫になり学校のルールもあいまいになって先生に聞いても先生にも分からないことが多く、疑問が拐取されないこともあった。ルール作りは早急にして先生方に周知させてほしいと思う。

○経済的支援が必要

○給食費、高校大学の学費の無償化を願います。子どもが高校に通いやすい交通システムを充実させてほしい。

○色々書きましたが、子育てについては色々利用させてもらったり、助けてもらった事はたくさんありました。悩む事もありましたが「はぴあ」など助けてもらったりしながら、楽しく子育てできています。

- 上の子は 22 年前での出産でしたので、その頃は保育園も入りにくく、子育てもお金がかかるし、支援は少ないし困っていましたが、今はずいぶん良くなっていると思います。明石市のような取り組みが全国に広がって、皆子どもを持っても自然と周りが助けてくれたり、理解ある地域になっていった欲しいです。
- 育児休業は強制的に取得するように決めてもらわないと取得しづらいです。仕事と子育てを両立するためには、子どもの体調不良時などの時には職場も休みを取りやすく、体制を整えて欲しいです。
- 高校も無償化になれば負担が少なくて嬉しい。
- 子どもが遊び、学べる場所がもっとたくさんあると良いですね。図書館では友達とトークはできません。戸外は寒いですし、友人と集まって話したりできる施設があれば良いといつも思います。うちの中学生、高校生はそういう場所が欲しいと常に話しています。子供の意見ですけど。
- 高校の無償化
- 加東市に引っ越してきた時（6 歳）乳幼児医療の免除がなく（以前の市町村は無料でした）、子どもの支援よりも高齢者を優先する田舎なのだな、こんなところで子育ては難しいのだろうなと思っていました。今は、給食費の支援など少し育てやすくなったと思いますが、「子育てしやすい市」とは言い難く、子育てする人たちには引っ越してくることをとめます。すすめません。高齢者の支援も大切ですが、同時に子どもが育つ支援をさらに進めていかないと、高齢者ばかりで市は財政難になり、将来加東市はなくなってしまうと思います。ちなみに数年以内に市外へ引っ越す予定です。（子育て充実の市へ）
- 子ども子育て手当の充実をお願いします。
- 加西市のように保育園、小中学校の給食費を無料にしてほしい。子育てしやすいまちづくりに税金を使ってほしい。
- 病院を増やしてほしいです。いつも朝 7：10 に出て市外の病院へ車で急いで走って小さい子を連れて行くのは本当につらい。店ももう少し（鉄くず屋も大事かもしれませんが）滝野南地域に増やしてほしい。いつも何かを買うにも車で、子どもを乗せて走り回るのはつらい。（この時期、コロナ、インフルにかかるかもしれないので）このような状態でこれ以上子どもは産みたいとは絶対思いません。高岡地区に新しい家を建ててはいけないなど、いろいろ昔からの決まりがあるので怖い。
- 保育料が高い。加西市のように子育て支援をもっと充実させて頂きたい。例えば保育料、全年齢関係なく無料だともっと子どもの数は増えると思う。（自分含め）
- 小中学校は義務教育でスクールバスに乗れるというシステムはおかしくないですか？公共交通機関がない地区だったら高校生までスクールバスに乗車できるようにしてほしいです。自転車で行けのかもしれないですが、自転車用に広い歩道があるわけでもない。トラックやとばす車が多い中では危ないです。子育てサポートの面（毎日の送迎）などからも高校生までの補助をお願いします。それから道が暗すぎます。313 号線も 372 号線も。もう少し明るくしてください。
- 子育てをする中で、家庭教育がされていれば問題が起こってもすぐに対応でき親子関係を成長させるきっかけにもなる。家庭教育はシンプルにコミュニケーションだけで成り立つものだと考えます。他人に相談をしても結局決めるのは自分なので話すことで気は休まるもののスッキリしないのは話す相手を間違っているからだと思います。子どもへの悩みは子ども自身に話すことが一番の解決法だと思います。
- 子育てにはお金がかかるため、給食費の無償かなどの支援や、子たくさん家庭の優先的な園などへの入園、保育料の無償化などをしてほしい。

- 物価高騰の影響で家計はすごく苦しいです。それがどうしても子供にしわ寄せがいき格差が生まれる。加東市は支援もしてくださるし、年末に救援物資をいただけたりできて、とてもありがたいです。フードドライブをいつでも預けられる所を作り、気軽にいつでももらって帰れるような場所があればなあと思います。加東市にあるスーパーやコンビニなどで期限が近付いているものや切れてしまったものなどの商品も協力してもらったり、市全体で取り組みができればと。
- ファミリーサポートに登録しましたが、料金が高くて利用ができません。保育園も延長が 10 分 100 円…とても高いです。
- 公園に駐車場がほしい、今の家からでは少し遠いので時間があるときに…となってなかなか利用できていない。もっと気軽に利用したい。児童館が 3 つありますが、休館日を別々の曜日にしてほしい。
- 給食費、アフタースクール代などの補助、中学進学費用（制服、自転車高すぎます）
- 少子化と言われているのに待機児童が非常に多い、行きたいこども園に行けない現状！それなら入れなかった人のために何か支援してほしい！働きたくても働けない…おかしいと思う。
- 子育てに関する支援が気軽に受けられる体制や取り組みに期待しています。気軽に受けられる雰囲気作りも大切なのではと思います。外に出にくい、行きにくいなど…
- せっかくこども園～高校、大学まである教育都市なのに、その良さが市の政策に生かしきれていなくて残念です。特に大学は“教育大学”なので子どもへの興味・関心の高い学生や大人が多いはず…文化的なイベント多世代多文化の人が集まりゆっくりしたり、イベントをしたりする場所と機会があればいいのに…と思っています。そのためにはハルクでは力不足だと感じます。小野市のエクラホールのような建物をつくるのは厳しいのでしょうか？子育て応援として、おむつ定期便や補助金があることはとても助かっています。児童館のサークル活動もとても雰囲気がよくありがたいです。これらのことを他市にすんでいたママさんに話したことで、今年度に加東市に引っ越してこられました！ぜひ続けてもらいたいです。
- 母子家庭の相談で不安を聞かれたので、PTA の仕組みについて市への提言を申しましたら、「愚痴ならいつでも聞けるから来てね」と終らされた。そう言われるなら最初から聞かないで頂きたい。今後も期待しません。4 問 14 子どもと同じ部屋で過ごす時間は…個人の感覚の問題。時間を具体的に聞かない問の趣旨が分かりません。
- せっかく私のように加東市に引っ越してくる人がいても、「ここで子育てするのが楽しいな。」と思ってもらえるような場所でなければきっと永住することはないと思います。小中学校も新しくなって、注目され始めるタイミングだからこそ「子育ての街」として力を入れてほしいです。子どもたちに優しい、子育て世帯に優しい街でないと人口も増えないと思います。おじいちゃんおばあちゃんだらけで娯楽のない街に住み続けたいとは思いません…
- 子供に関することはすべて平等が良い。（医療費・手当て・授業料など）所得の低い人ばかりが得している。小中学生ばかりではなく高校生、大学生のことも考えてほしい。せめて全世帯、公立高校授業料は無料にしてほしい。
- 子どもがたくさんの家庭でも、保育料を安くしてもらえたらとても助かります。さらにたくさん子どもを持ちたいという家庭が増えると思います。
- 福祉総務課家庭児童相談員さんについていつもお世話になっており、大変ありがたく思っています。田舎なので大型商業施設がない、電車が少ない、営業時間が短いのが難点です。
- エレベーターが遠回りになるのがしんどい。

- 保育料と収入が見合わなかったです。働いた半分かくらい、保育料とられ、何のために働いているのかと思いました。小学生になって支出も少なくなりましたが、子どもが小さい時はしんどかったです。
- 産婦人科、小児科が極端に少ないと思います。
- 市内の小児科が少ない。市民病院ですら火・水しか小児科が開いていない。平日すべて開けてほしい。
- 子どもは欲しいですが、やはり経済的なことを考えてしまいました。小学校の給食費免除など、とてもありがたいです。保育料(0～2歳児)も無償にしてほしいです。働いていても、保育料で消えていきます。
- 問 21-18 に関して夫の加東市で就業できる施設が少なくどうしても都会にでないとしっかりとした収入がある会社につとめることができないので、そうすると育児を一緒にするのが難しくなる。
- まだ先の話になりますが、高校が社高校以外は遠く、バスや電車も高校の近くまで通らないようで…自転車で通う距離ではないと思っています。心配です。(日が暮れると)小野・西脇・市外となってしまうけど、バスが出てくれたらいいのになと思います。
- 私は困った事があった時、学校の先生や加東市の育児相談の方に話を聞いてもらい、とても助かりました。今も学校に育てについて相談にのってもらい、それを主人と共有し、友人にも話しながら生活できています。私のように話せる人ばかりではないので、広報などで、体験談などをのせ、色々な方に知ってもらうようにするのもいいと思いました。
- 加東市は 1 歳までの間、おむつ等届けてくれるサービスがありますがもう少し先まで延長してほしいです。ミルク購入の割引とかもあっていいかも。
- アフタースクールが 19:00 までになるとありがたいです。アフタースクール代がもう少し安くなってほしい。
- 令和 4 年末に加東へ転勤で来ましたその後、妊娠しましたが、市内に産科がないことにびっくりしました。近くに産科があればと思っています。
- 子供達が将来の未来になりたい職業につけるような、心に残るイベントがたくさんあると嬉しいです。
- 子育て支援金をもっとほしい！保育料(2歳児以下)無償化
- 仕事をしているしていないで、こども園に通わせることができるできないがあるため、仕事もしんどくてもやめられないので、やめなくても通えるようにしてほしい。小児科増やして！
- 子育てするのにお金がかかる。現在物価高騰真ただ中だが、ほかの市よりも家庭に対する支援が少ない気がする。低所得者や母子家庭への支援は十分すぎないにせよ行われているが、税金を収めている人への還元率が低いのはなぜか？家族を養うためにみんな子供との時間を削りながら働いている。なのにその市税を税金を収めていない人に使われるのは納得いかない。
- 地区にある公園でボール遊びができる所が少なくなってしまったように思う。周辺の家の方から苦情でそうってしまったかもしれないがフェンスをするなどしてもう少し子供達が自由に遊べる所を増やしていただけたらと思う。
- 各地区の公園をもっと充実してほしい。給食費を無料にしてほしい。
- 便利な田舎という環境を活かした施設や事業を増やしてほしい。他市の子育て支援の良いところ(移住の理由に「子育てしやすい」と選ばれている市)をマネしてほしい。安全、安心な街にしてほしい。学校のハード面をバリアフリー、ジェンダーフリーに整備してほしい。校則など、子ども自身が意見を出しやすい、伝えやすい環境、意味不明な風習(良いものはもちろん残すことも大事)を見直してほしい。アンケートをする⇒改革していくという意識、宣言してください。するだけで終わらないようにしてほしいです。

- 加東市はとても子育てしやすいと感じています。いつもありがとうございます。小学生の子どもがいない、こども園に通う親子のところに小中一貫の情報が入ってこないように感じます。(広報ぐらいでしか情報が入ってきません)将来通うことになる学校の情報をもっと欲しいです。
- 子供の体調不良時、休みやすい環境(親も病気や歯医者など行きやすくしてほしい)、PTA 役員、地区役員の軽減(ひどい時は、小学生、中学生、地区役員のエンドレス)、病院の充実、受診のしやすさ(混んでいるし、待ち時間も長い)など住みやすい(子供にとっても、大人にとっても)加東市にしてほしい。
- 医療費無料はとても助かっています。国際学習塾の図書館がなくなって残念です。
- 園の先生は丁寧に子どものことを見てくださり感謝しています。園の掃除や送迎の際にシルバーの方がいて声をかけてくれたりし、よい環境だと思います。園の先生方も大変なことも多いかと思ひますので、子どものためにも園の先生、学校先生も働きやすい場所であつたらいいなと願っております。
- 家庭内の問題を気軽に相談できる所が欲しいです。子供、祖父母の事などどこに話せばいいかわからない。
- もっと子育て支援(年齢幅広く)を充実させてください。
- 国や市は結局何もしてくれず役に立たない。本当の支援とは何かよく考えてほしい。
- 子育てはお金がかかるため、やはり経済的支援がないと、子どもは産めないと思います。働きながら子育てでも大変なため。
- 子どもの育ちについて正しい知識を得られる機会があれば、子育て悩む親は減ると思います。例)2歳ごろのイヤイヤ期は自分でやりたいやりたいという自立の芽生え(やるやる期)4歳ごろの子供はメンヘラで面倒くさいもの。
- 加東市は子育てに力を入れている市だと思います。欲を言えば、施設・グラウンドが古くなってきているので順番に新しくして欲しいです。
- 保育所の費用負担とミルク、オムツの負担が軽減されるとだいぶ助かると思います。母乳が出ない、または混合にせざるを得ない場合のミルク代の負担がかなり大きい。また保育所が無料の自治体もあり、とても羨ましいと思う。
- 転勤族で色々な市で子育てしましたが、その中で助かったのは市内の飲食店や施設などでミルクを作る時のお湯を提供してくれるお店があつたり子供の為にトイレを貸してくれるお店があつたり子供用のポイントカードがあり、たまつたらお菓子をくれたりするお店があつたりと店と市が協力してやってくれてたりしたので子育てでも助かる事が多かつたので加東市内でもそんな取り組みがあれば子育てでも少しは楽しくできるのかな! ?と思います。
- 乳児の保育料無料や子沢山の家庭にもっとサービスを充実させてほしいです。
- 子ども同士でも色々あつて、うちの子は発達の関係で友達と距離が近くなりがちです。保護者は注意もするし、発達検査や先生方ともどうしたらいいのかできているつもりです。ただ、他のお子さんに蹴られたり、足を引っかけられたり、叩かれたり、暴言を言われても我慢しなきゃいけないのはかわいそうに感じています。子どもは、あの子はそれが普通と言いますが…それがうちの子に対してだけではないなら、そういう子には何か支援をしてあげられないのでしょうか? ご両親の了解が必要なのかもしれませんが、先生任せになるのでしょうか? いつか大きな怪我やいじめに発展しないことを願っています。
- 子供が小さい今の時点でも経済的に厳しく貯金どころでなく、結婚も遅かつたので、高校や大学になった時に必要な収入が得られるかが一番心配です。

- こどものある無しに関わらず、地域の人たちが、全てのこどもを大事だと気にかけてくれる雰囲気が一番ありがたい。私が住んでいる地域はそうですが、一部議員に、こども「対策」は行政の仕事であるような発言をする方がいますが、そのような考え方の大人がいる地域は子育てしにくいだろうと感じます。
- 子供の多い少ないだけで、経済的な支援を決めるのではなく、子を持つ者保護者全てを対象に支援を考えてほしいです。また、学校の交友関係においても、弱い立場の者に対して寄り添う指導を更に一層進めてほしいです。
- 第3子が保育園に現在通っていますが、所得で計算される保育園料が高い。所得が多くても、家のローンなど出費も多いので経済的にしんどい部分もある。同年齢の子供と同じ保育なのに所得の違いで値段が違うのはどうなのかと思います。
- 子育てをするにあたって、我が家では祖父母の協力が不可欠でとてもたすかっています。しかし、祖父母が遠方であったり、助けてもらえない状況の方も多く、そういった家庭の支援の充実、または祖父母に頼らずとも子育てできる支援の充実を求めます。
- 子どもが小学生以降に転入してきましたが、住む地域によって環境がかなり変わるため、子育て支援体制を整備するのは難しいのではないかと思います。どのように工夫されるのか楽しみにしています。よろしくお願いします。
- 公共の交通機関が少ないので、バスの充実をお願いしたいです。
- 近くに広いグラウンドがない、あっても高齢の方々がご使用されていたり、グラウンドに凹凸ができるのをいやがられたり、子どもたちが遊んだせいにされる。
- 他市町村のように給食費無料だとか子育て負担を少なくしてほしい。
- 登下校時の不審者情報があり、歩いて帰ったり自転車で帰っている子どもたちの安全対策について、力を入れていただきたいです。
- 保育所問題をなんとかしてほしい。
- 中学生、高校生の方がお金がかかるので何とかしてほしい
- 成長するにつれてお金がかかるので、大きくなってからも何かしらの補助が欲しいです
- 一時保育を利用したくても、保育士さんの不足で対応できない。現在は育休の方が保育利用できるが、その枠を一時保育に拡大してもらえると、利用できる人が増えて助かる人も多いかと思う。
- 高校生からの学費がおおきな負担となるので、私からの就学支援、奨学金の制度があればいいのにと強く感じています
- サークルなどは苦手です。無理やり仲良くなりに行ったり、ママ友を増やすなど苦痛です。
- 隣県から子育てしやすい加東市だからと引っ越してくれるようなまちづくり期待しています。イメージは明石市のような感じです
- 公的な子育て支援の仕組みは十分に充実してきていると思います。
- 子供が学校以外に外で遊べる所が少ない。
- 学校のPTAを廃止にし、外部からの委託にしてください。毎回仕事を切り上げて集まりに行くのは負担でしかありません
- 少しずつ経済的な支援が増えてきているとは思いますが、すでに卒園してから保育料が無料になったりと、支援を受けることができなかった世帯への支援を希望します。
- 子育て世代は何かと忙しいのにひとつひとつ手続きがあることが1番大きな負担になります無くせ無いいものかと長年思っています

- 市が対象に考える子育て世代や情報はいくつなのか？未就学児と学童でも子育ての情報は違いがあり、中学生以上になると子育て世代としての情報はほぼ無いように感じる。今回のアンケート内容もほぼ過去についての質問である。市が考える子育て施策とは、今から産まれる世代の対象なのか、高校生や大学生、成人の日を迎えるまでを対象と考えるのか、情報が不透明に感じる。
- こども園選考基準の見直し
- 通学手段がないため、高校の選択肢が限られる。公共交通が乏しいため、送迎が長く続くことが負担です。
- 予防接種の期間を忘れていた時があったので、実費負担になるとなかなか行きづらく、過ぎても申請したら少し補助が出るとありがたいです。
- お金の支援が収入制限なしでもっとあれば3人目も考えやすいのにな?と思った。
- 初めての子育てで不安なことばかりだった時、児童館のサークルに入って親子共々友達ができ、悩んだ時には児童館の先生に優しく話を聞いてもらい、それでも悩み苦しんだ時には加東市の子育て相談に電話もしました。たくさん支えてもらいました。だから今があります。子育てに正解はないけど、寄り添ってもらえる所があると不安が減り、子育てもしやすくなるのかなと思います。安心して子育てできる町であってほしいです。
- 相談体制だけで終わっている。ではなく、解決に向けて動ける体制を作ってほしい。
- 子供が特定の人としか話さない。大人になるにつれて誰とでも話せる様になるのが不安です。
- 可能であれば加東市民病院で毎日小児科が開いていればありがたいです。(祖母に育児を手伝ってもらっているため、加東市民病院の小児科が毎日診察してもらえれば非常に受診させやすいため)仕事柄、病児保育には非常にお世話になっているのでありがたい。他の市町村の同僚からも羨ましがられるため、加東市の強みだと思います。
- 家の近くは田んぼが多く、街頭が少ない。夜道を帰らないといけない時、とても危険と感じます。
- 大学無償化！なんてものは必要ない。子供を平等に考えているなら、義務教育期間の費用(給食費や文房具代)を無償化にするべきだと思います。我が子は将来の事を考えて大学には進学させる予定はありません。大学に行くからしっかり働けるとは思いません。家庭内に子供が一人であろうと、4人であろうと子供のいきる価値は同じです。平等にできるところは【義務教育期間しかないのでは?】と考えています。
- 子供の人数が多い家庭に手当てが欲しい。
- どこでも、いじめ体質みたいなものを感じる時があるので、人と比較ではなく、一人一人は個性で認め合い、その中から仲間意識、みんなで仲良くなるとか、頑張ろうとか、励まし合えるような、幼児期からの教育を強化してほしいです。そのところが自然と身につけている子供達は、小学高学年になっても中学生でも、とても優しく、人当たりも良い子が、多いです。
- 学校が遠いので朝早く出て行く子ども達がかawaiiそうにも思える。加東市に住んでみて滝野、社は色々充実していると思うが東条地域は本当に不便で車があっても不便。
- 我が子は大きく成長しましたが、今からはお金の面での悩みがあります。子供が小さい頃は熱や風邪をよくひく為、私自身はパート勤務しかできませんでした。(子供を見てもらえる人がいない為)当時時給は 750 円ぐらいで月に三万ぐらいしかありませんでしたが、全て保育料に取られ…結局保育料を稼ぎに行っていたみたいなものでした。今でこそ時給は 1,000 円ぐらいになりましたが…私達の年代層が1番辛い時期を過ごしています。今の大学、高校世帯の支援をもっとして欲しい。(1番お金がかかるから) そうでないと加東市に住んでいる事じたいを後悔してしまいます。

- 子育て世代だけではなく市民全体が加東市に住んでいて良かったと思えるような魅力的な市でいてほしいなと思います！
- 市役所の健康課の職員さんには子育て相談でいつも相談にのっていただいています。子供が小学生以上に大きくなっても学校以外で気軽に相談できる場所があればいいなと思っています。
- 子育てしやすい環境づくりと同時に、子供を産みやすい環境づくりや市内中心部への子供の集中による周辺地域のさらなる過疎化へも対策を練って欲しい。
- 加東市に限っての話ではありませんが、ほんとうに子育てには気を使います。子どもが大きくなってだいが楽にはなりましたが。私自身は子どもがいることが幸せに感じますが、若い方が子どもを持つことに躊躇するのはよくわかります。
- こども園や小学校の役員など親への負担が大きいと思います。地域によってですが、少ないところでは分担すらできず毎月のように資源ごみ回収に回っています。(こども園、PTA、子ども会、中学校)ただでさえ子どもとの時間がないのに、週末が行事ごとで埋まり、家族で出かけたりする時間も制限されます。また私の地域では朝の通学路の旗当番も月に6日？8日回ってきて、朝の負担も大きいです。
- 高校生まで児童手当を支給してほしい。高校生まで、授業料無料。
- 子ども手当をこどもの口座に入金できるようシステムを変更して欲しい。
- 発達に不安がある場合の相談、検査などをスムーズにできるようにしてほしい。その後の対応もきちんとできるようにしてほしい。
- 加東市で生まれ育った子どもたちが、「やっぱり加東市が好きやわ」と思えるような魅力的で思いやりのある町づくりが大切だと思います。
- 子供の費用負担は昔に比べ改善されていると思う。ただ、国の政策により、親の収入や所得が税金により下がるので贅沢とまでいかないが、子供に使えるお金は制限されてしまう。日常生活を送るのに精いっぱい、娯楽に使えるお金が減っている。税金を支払っているのに、生活が苦しく感じるのは国民、市民に対して、満足いく還元がされていないように思う。医療や福祉は子供と高齢者に関して良いとして、働き手世代には大した還元が感じられず、子供を作る、育てるに繋がっていないと思う。
- こどもにかかる費用、お隣の加西市は0歳から保育料無料&給食費無料と魅力的な取り組みをされているようです。市として財源は無限にあるわけではないと思いますが、期待しています。
- 東条学園では前期課程の体操服を地元東条で購入出来るのに、後期課程は小野市の業者でしか購入できず不便です。東条の業者さんでも後期課程の体操服の取り扱いをしてほしいです。
- 税金も高いので、子がいるところは負担が軽減されたりもう少し補助があっても良いと思う。
- 学費を含めた子育ての費用の面、ハード面等でももっとサポートしてもらえたら、子どもの数は増えると思います。
- 今までの質問自体が愚問すぎる、だから進展しないと思う。
- 小児科を増やしてほしいです。冬の時期、感染症が流行っていると予約が取れなくて断られたこともあります。また、共働き世帯も多いはずなのに閉まる時間が早すぎます。風邪の引き始めとかで休むほどひどくならないうちに病院に連れて行こうにも、時間休みをとって連れていけないといけないので、診療をためらいます。加東市は加東市で都会とは違う良さがあると思います。ただ、共働き世帯には都会の方が支援が充実していて子育てしやすいなというのを引っ越してきて感じています。今時、共働き世帯も珍しくないと思うのでそこに対しての支援がもっと充実したらいいのにといます。
- 中学生になるので、制服、体操服、自転車を購入するためお金がすごくかかります。分かってはいましたが、実際に目の当たりにするとすごく大変でした。ヘルメットは兵庫県で助成金があり、実質200円

で購入できたのでとてもありがたかったです。加東市は自転車通学の生徒とバス通学の生徒がいます。自転車通学の方が損な気持ちになります。加東市として、自転車購入の助成金があればいいのになと思いました。

○東条学園前期課程では地元東条の業者さんで体操服を購入出来るのに、後期課程は小野市の業者さんでしか購入できないのがとても不便です。後期課程の体操服も東条の業者さんで購入出来るようにして頂きたいです。

○物価高で厳しいので給食費無料を継続して続けていただけると助かります。

○加東市で子育てをされていて、子育ては大変なこともあります。楽しいしとても充実しています。ただ、今後子育てにかかる費用を考えると、将来がとても心配です。ですので多子世帯への経済的支援の充実をお願いします。

○親の負担が増えてきている中、現状は働かないとやっていけない状況でも親の負担が少なく子供が色々な経験ができる機会や場所があったらいいと思う。放課後学校で専門的な人にきてもらい、学校で習い事が学べるようになれば送迎など気にせず習わせるかができると思う。

○これまで加東市は、高齢者へ厚遇されてきたかと思いますが、市の将来を見据えると若い世代への厚遇が市人口の安定に繋がると思います。但し、厚遇とは言っても、何でもかんでも「無料」では先が無いので、少額でちゃんとお得感が得られるような施策を希望します。

○働きたくても、希望の保育園に入ることができない。そもそも、働き口が決まっていなくて申し込みできないのは仕組みとしておかしい。働き口が決まって申し込んで、落ちてしまったらどうしたらいいのか。まずは園に預けることができたら、ゆっくりと働き先を探すような仕組みでないと、労働人口は増えない。

○少子化対策として、国より先駆けて経済対策をして欲しい。経済的に余裕があれば気持ちも豊かになり、子どもへ経験豊かにさせてあげられる。親も子どもと一緒に成長できる経験を積む事が出来る。

○子ども達だけで安心して遊べる施設や公園が近くにないので、歩いて行ける距離にあったら良いと思います。子どもが大きくなって友達と出かける様になると、道路が狭く、徒歩でも自転車でも危ないので、道路を広く安全にしてほしいです。産婦人科、小児科、内科も増えたら良いなと思います。

○障害児やその保護者への情報提供が少ないので増やしてほしい。

○高齢者に手対しての手厚い政策を若年層にまわしてもらわないと加東市の未来が良くなりません。

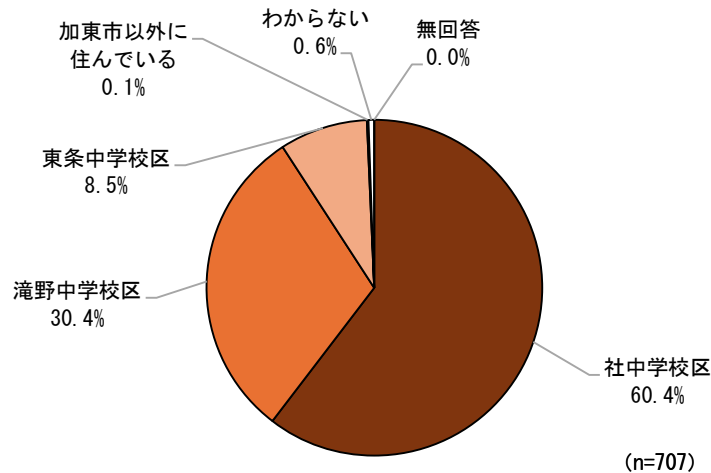
○今ある設備を上手く活用して欲しい。スクールカウンセラーの配置が学校により決まった曜日になっていると思います。カウンセラーが必要な児童は他者の予定に合わせる事が出来なかったり、相談出来る状態にいるタイミングが少ないと思います。予算や質の都合もあるかと思いますがせめて週3日程度の配置があると心強いと感じています。

2. 小学生・中学生

(1) あなたご自身のことについて

問1	あなたが住んでいる中学校区を教えてください。	○は1つだけ
----	------------------------	--------

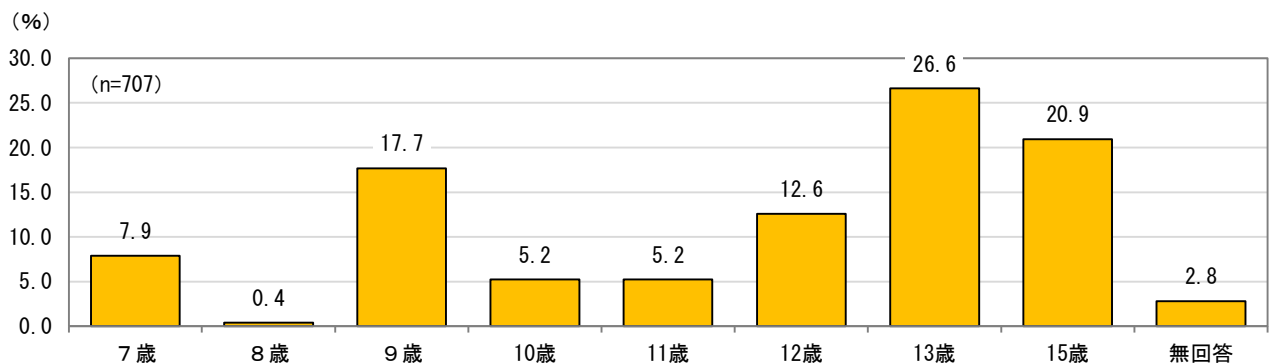
住まいの地区について、「社中学校区」が60.4%で最も多く、次いで「滝野中学校区」が30.4%、「東条中学校区」が8.5%となっています。



中学校区	小学校区
社	社小学校、福田小学校、米田小学校、三草小学校、鴨川小学校
滝野	滝野東小学校、滝野南小学校
東条	東条学園小中学校

問2	あなたの生まれた年と月を教えてください。	数値を入力
----	----------------------	-------

年齢について、「13歳」が26.6%で最も多く、次いで「15歳」が20.9%、「9歳」が17.7%となっています。



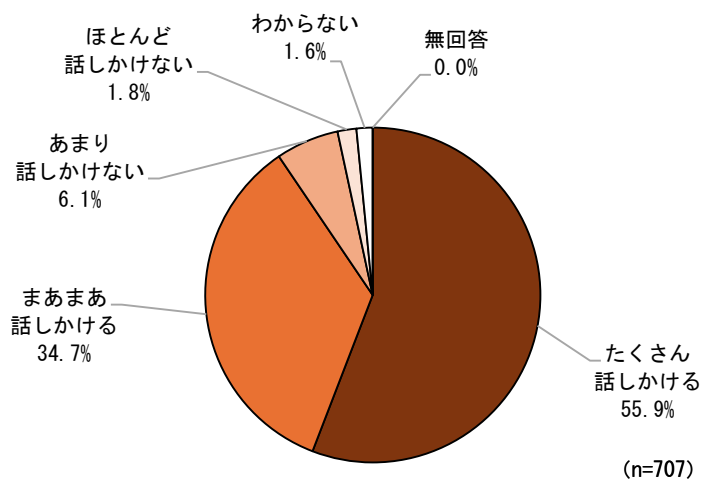
(2) 家庭内の大人について

問3

ふだん、あなたからおうちの大人の人に、どれくらい話しかけますか。

○は1つだけ

家庭内の大人に話しかける頻度について、「たくさん話しかける」が55.9%で最も多く、次いで「まあまあ話しかける」が34.7%、「あまり話しかけない」が6.1%となっています。

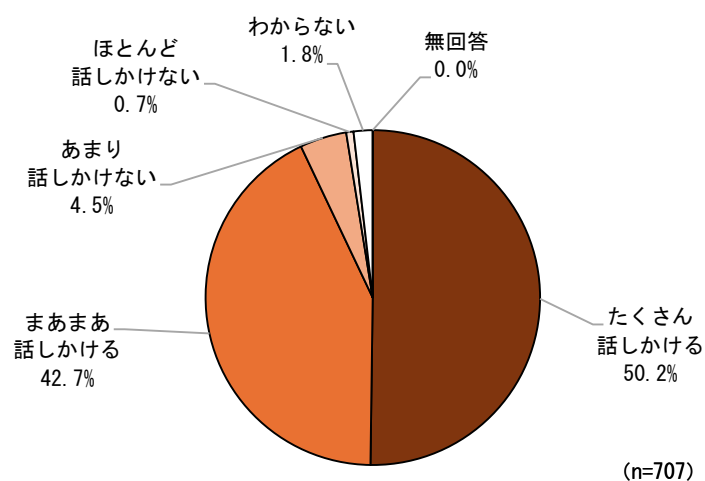


問4

ふだん、おうちの大人の人から、どれくらい話しかけられますか。

○は1つだけ

家庭内の大人に話しかけられる頻度について、「たくさん話しかけられる」が50.2%で最も多く、次いで「まあまあ話しかけられる」が42.7%、「あまり話しかけられない」が4.5%となっています。

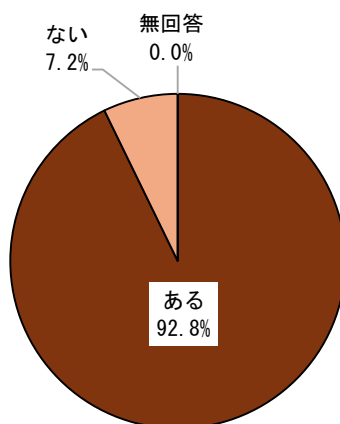


問5

おうちの大人の人にしてほしいことはありますか。

○は1つだけ

家庭内の大人への要望があるかについて、「ある」が92.8%、「ない」が7.2%となっています。



(n=707)

〈問5で「ある」と答えた方にうかがいます。〉

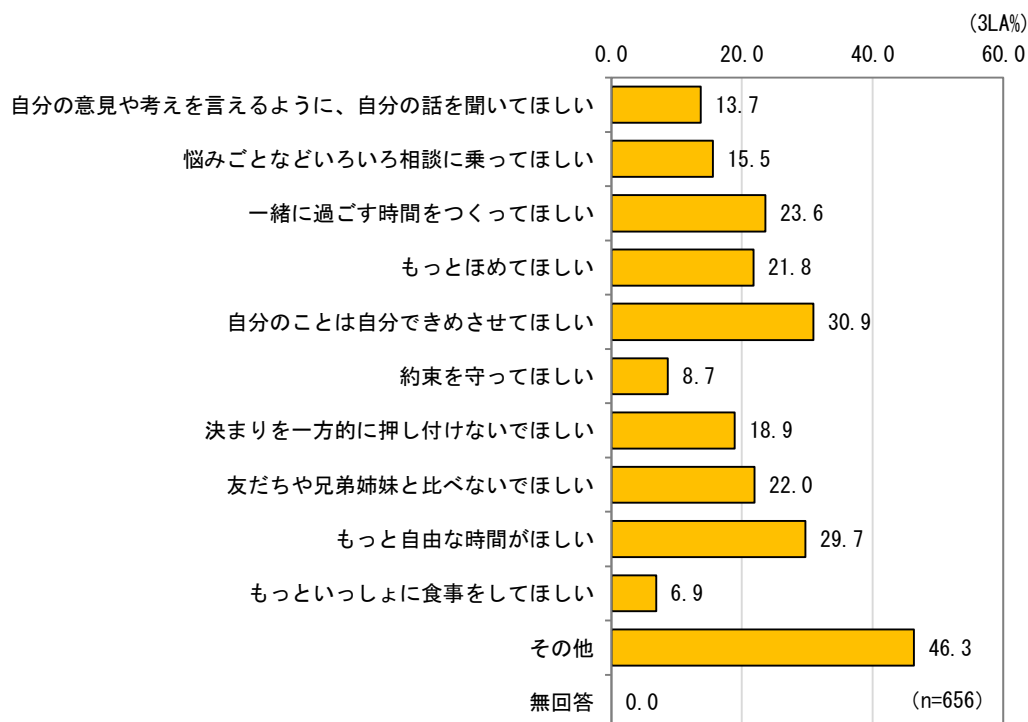
問5-1

おうちの大人の人にしてほしいことを教えてください。

○は3つまで

家庭内の大人への要望がある人に、その内容について聞いたところ、「自分のことは自分できめさせてほしい」が30.9%で最も多く、次いで「もっと自由な時間がほしい」が29.7%、「一緒に過ごす時間をつくってほしい」が23.6%となっています。

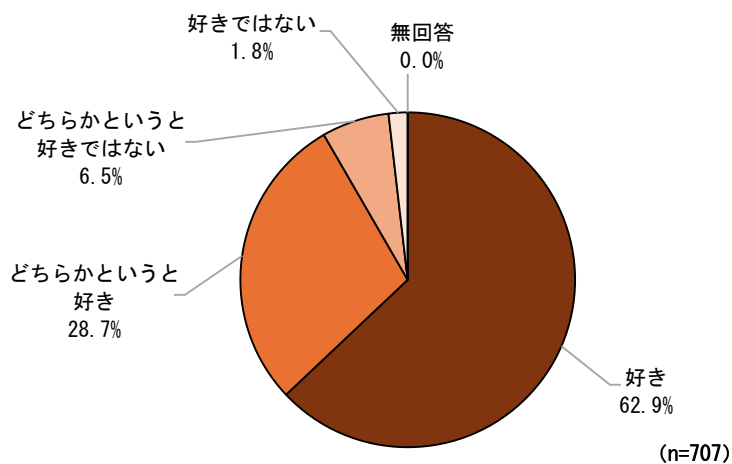
また、「その他」では、「金銭的なサポートをより手厚くしてほしい」という回答が多く見られました。



(3) 地域について

問6	あなたが住んでいる地域(おうちや学校の近く)は好きですか。	○は1つだけ
----	-------------------------------	--------

住まいの地域について、「好き」が 62.9%で最も多く、次いで「どちらかという好き」が 28.7%、「どちらかという好きではない」が 6.5%となっています。



〈問6で「好き」または「どちらかという好き」と答えた方にうかがいます。〉

問6-1	問6でそう思った理由を教えてください。	自由記述
------	---------------------	------

住まいの地域が好き人、どちらかという好きな人に、その理由について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

友だちについて

- 友だちが多いから。
- 公園など友だちと遊べるところが多いから。

地域の人について

- 明るくて優しいから。
- 見知った人が多いから。
- 通学の時、見守ってくれたり挨拶したりしてくれるから。

加東市について

- 自然が豊かだから。
- 静かで平和だから。
- 行事がたくさんあるから。

〈問6で「どちらかというとき好きではない」または「好きではない」と答えた方にうかがいます。

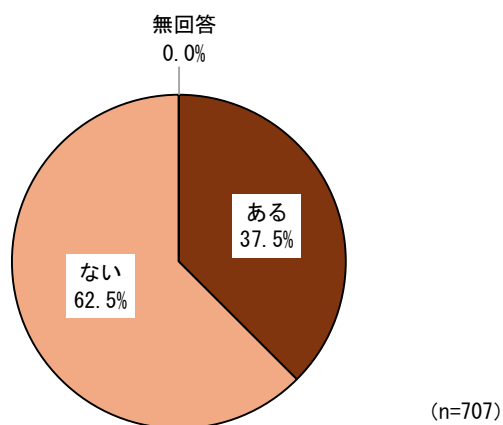
問6-2	問6でそう思った理由を教えてください。	自由記述
------	---------------------	------

住まいの地域が好きではない人、どちらかというとき好きではない人に、その理由について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

- 田舎で遊ぶところがないから。
- 近所に知り合いがないから。
- 学校から遠いから。

問7	あなたが住んでいる地域(おうちの近くや学校の近く)の大人の人にしたいことはありますか。	○は1つだけ
----	---	--------

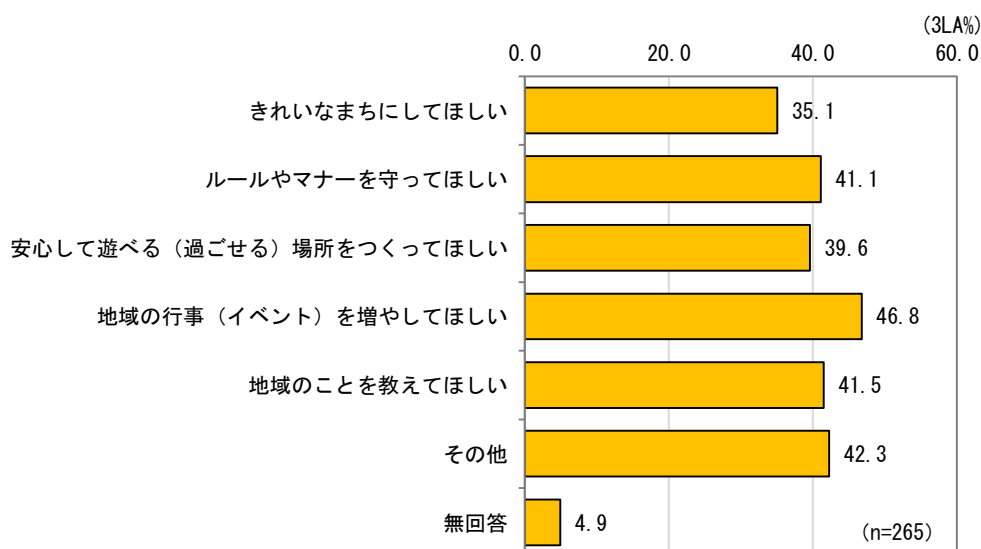
住まいの地域の大人への要望について、「ある」が37.5%、「ない」が62.5%となっています。



〈問7で「ある」と答えた方にうかがいます。〉

問7-1	あなたが住んでいる地域(おうちの近くや学校の近く)の大人の人にしてほしいことを教えてください。	〇は3つまで
------	---	--------

住まいの地域の大人に要望がある人に、その内容について聞いたところ、「地域の行事（イベント）を増やして欲しい」が46.8%で最も多く、次いで「地域のことを教えてほしい」が41.5%、「ルールやマナーを守ってほしい」が41.1%となっています。「その他」について、「道にゴミを捨てないで欲しい」という回答が多く見受けられました。



〈問7-1で「きれいなまちにしてほしい」と答えた方にうかがいます。〉

問7-2	あなたが思う「きれいなまち」は、何がきれいなまちですか。	自由記述
------	------------------------------	------

地域の大人にきれいなまちにして欲しいと思う人に、その内容について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

- ゴミが落ちていないまち
- ポイ捨てがないまち

〈問7-1で「安心して遊べる(過ごせる)場所をつくってほしい」と答えた方にうかがいます。〉

問7-3	どのような場所がほしいですか。その場所でどんな遊びがしたいですか。	自由記述
------	-----------------------------------	------

地域の大人に安心して遊べる場所を作って欲しいと思う人に、その内容について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

- のびのびと遊ぶことができる公園
- 広くて安心して遊ぶことができる場所

〈問7－1で「地域の行事（イベント）を増やしてほしい」と答えた方にうかがいます。〉

問7－4	どのような行事(イベント)が増えたらいいですか。	自由記述
------	--------------------------	------

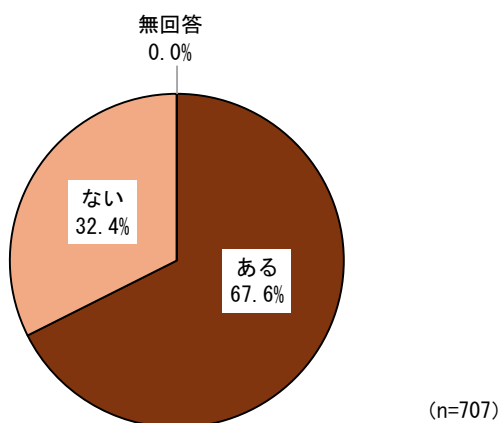
地域の大人に地域の行事を増やして欲しいと思う人に、その内容について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

- 屋台が出るような祭り
- 地域の人と交流できる行事
- クリスマスパーティー

（４）ご自身の悩みについて

問8	あなたが最近、困っていることや悩んでいることはありますか。	○は1つだけ
----	-------------------------------	--------

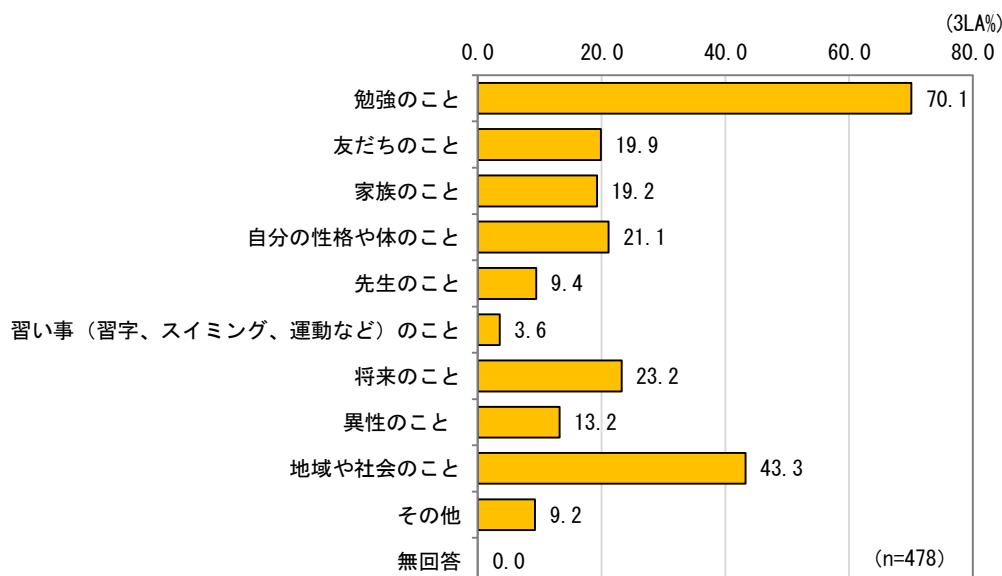
困りごと・悩みごとがあるかについて、「ある」が67.6%、「ない」が32.4%となっています。



〈問8で「ある」と答えた方にうかがいます。〉

問8-1	あなたが最近、困っていることや悩んでいること、不安に思っていることを教えてください。	〇は3つまで
------	--	--------

困りごと・悩みごとがある人に、その内容について聞いたところ、「勉強のこと」が70.1%で最も多く、次いで「地域や社会のこと」が43.3%、「将来のこと」が23.2%となっています。



問8-2	問8-1で答えた内容について、入力できる範囲で、どのようなことが教えてください。	自由記述
------	--	------

困りごと・悩みごとがある人に、その内容について詳しく聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

勉強について

- 勉強が苦手で難しい。
- 勉強をしたくない。
- これから先学校の内容についていけるのか不安である。

友だちについて

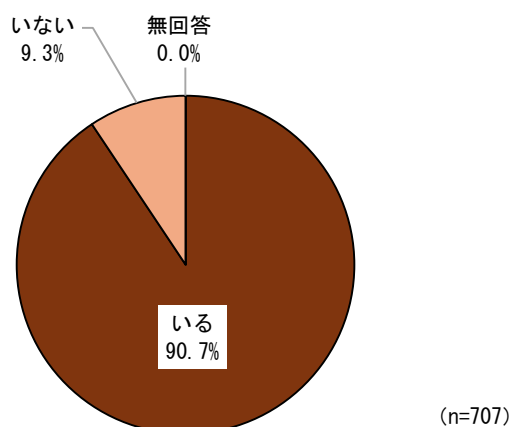
- 意地悪されたり仲間外れにされたりする。
- 友だちと喧嘩してしまう。
- 新しい環境で友だちができるのかが不安である。

その他

- 習い事や部活で忙しい。
- 道が凸凹で危ない。

問9	あなたが困ったり悩んだ時に、相談する人がいますか。	○は1つだけ
----	---------------------------	--------

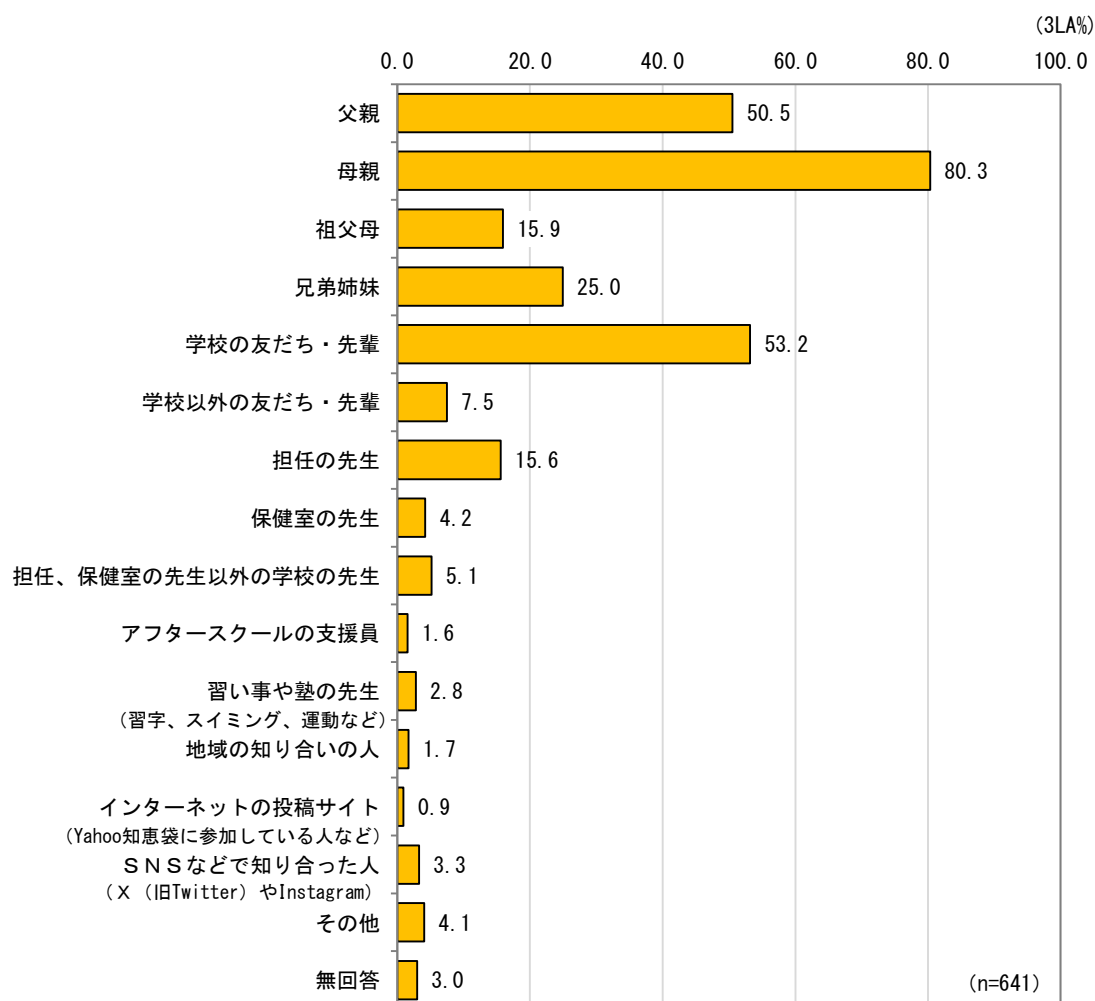
困ったり悩んだりした時の相談者がいるかについて、「いる」が90.7%、「いない」が9.3%となっています。



〈問9で「いる」と答えた方にうかがいます。〉

問9-1	あなたが困ったり悩んだ時に、相談する人は誰ですか。	○は3つまで
------	---------------------------	--------

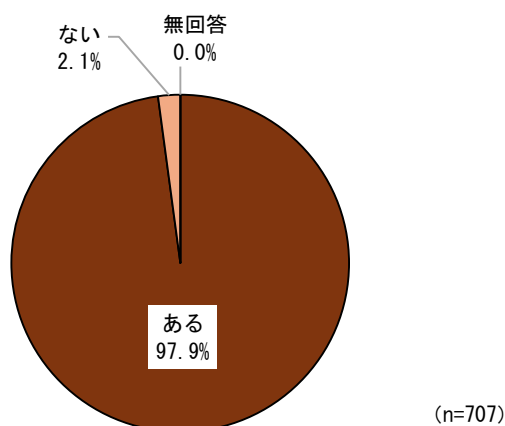
困ったり悩んだりした時の相談者がいる人に、相談者について聞いたところ、「母親」が80.3%で最も多く、次いで「学校の友だち・先輩」が53.2%、「父親」が50.5%となっています。



(5) ご自身の日常について

問 10	あなたが、平日の放課後(夕食前まで)に、ほっとでき安心していられるところ、居心地がよいと感じる場所がありますか。	○は1つだけ
------	--	--------

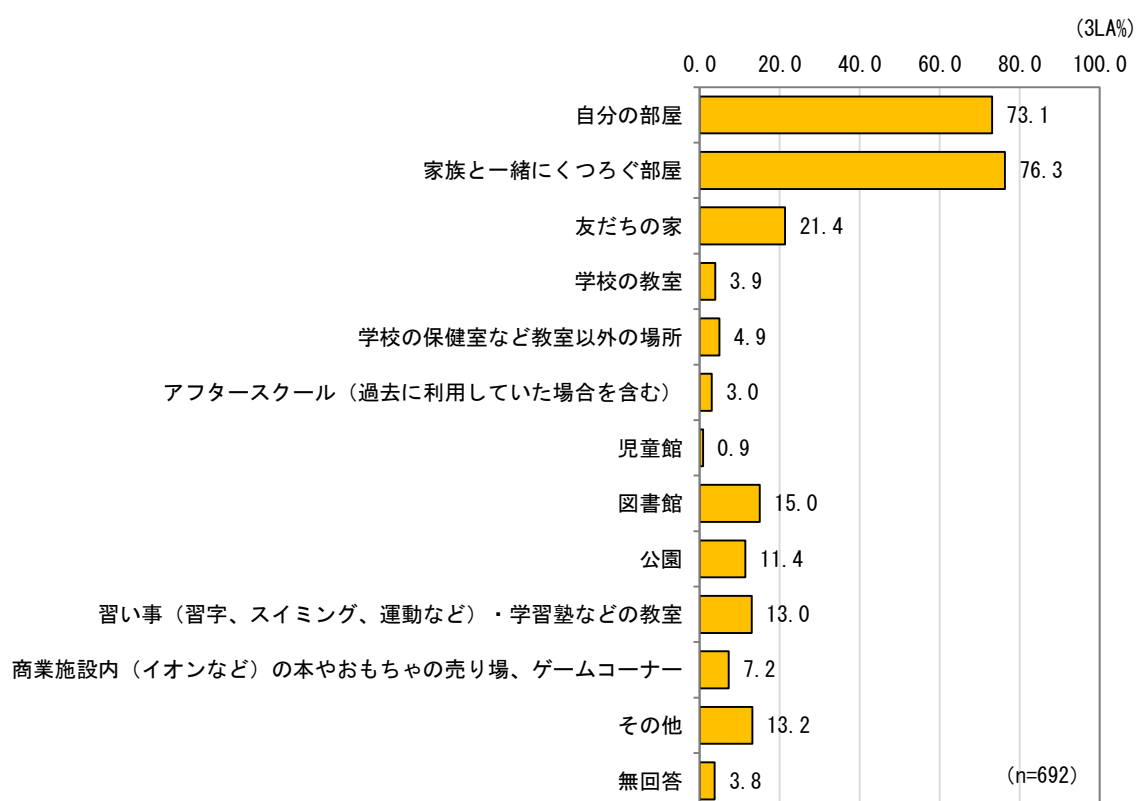
平日の放課後に落ち着くことができる場所があるかについて、「ある」が97.9%、「ない」が2.1%となっています。



〈問 10 で「ある」と答えた方にうかがいます。〉

問 10-1	あなたが、平日の放課後(夕食前まで)に、ほっとでき安心していられるところ、居心地がよいと感じる場所はどこですか。	○は3つまで
--------	--	--------

平日の放課後に落ち着くことができる場所がある人に、場所について聞いたところ、「家族と一緒にくつろぐ部屋」が76.3%で最も多く、次いで「自分の部屋」が73.1%、「友だちの家」が21.4%となっています。



〈問 10 で「ない」と答えた方にうかがいます。〉

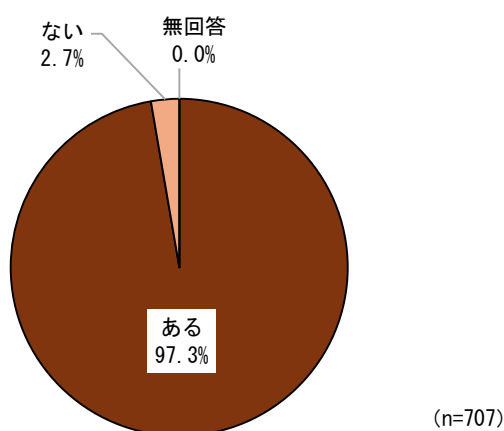
問 10－2	それはなぜですか。	自由記述
--------	-----------	------

平日の放課後に落ち着くことができる場所がない人に、その理由について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

○自分の部屋がないから。

問 11	あなたが、学校の無い日(土・日・祝日・長期休業日)に、ほっとでき安心していられるところ、居心地がよいと感じる場所がありますか。	○は1つだけ
------	---	--------

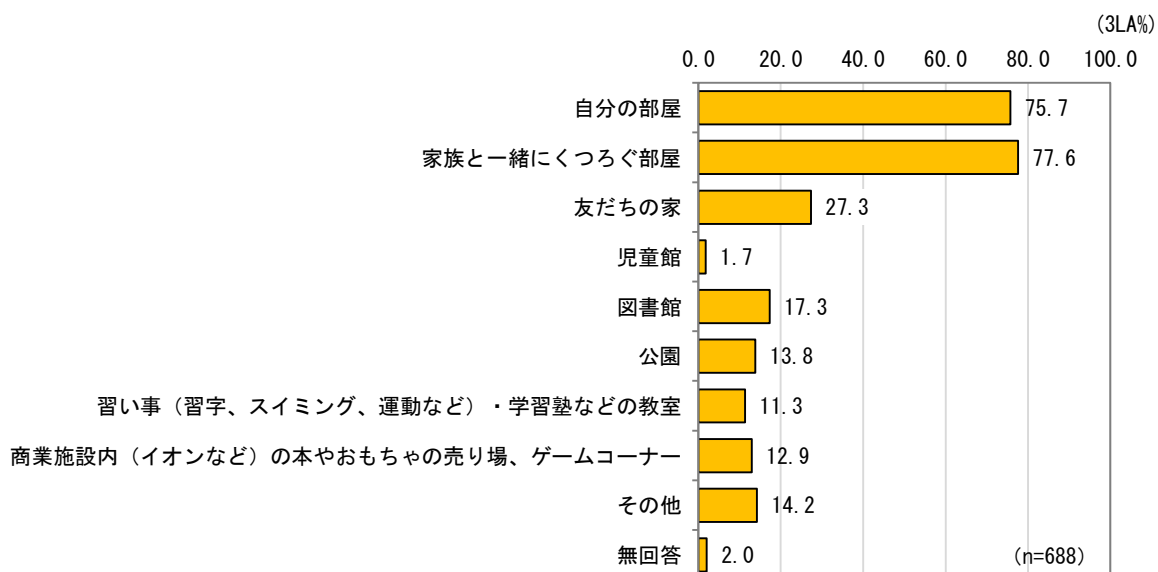
学校の無い日に落ち着くことができる場所があるかについて聞いたところ、「ある」が 97.3%、「ない」が 2.7%となっています。



〈問 11 で「ある」と答えた方にうかがいます。〉

問 11－1	あなたが、学校の無い日(土・日・祝日・長期休業日)に、ほっとでき安心していられるところ、居心地がよいと感じる場所はどこですか。	○は3つまで
--------	---	--------

学校の無い日に落ち着くことができる場所がある人に、場所について聞いたところ、「家族と一緒にくつろぐ部屋」が 77.6%で最も多く、次いで「自分の部屋」が 75.7%、「友だちの家」が 27.3%となっています。



〈問 11 で「ない」と答えた方にうかがいます。〉

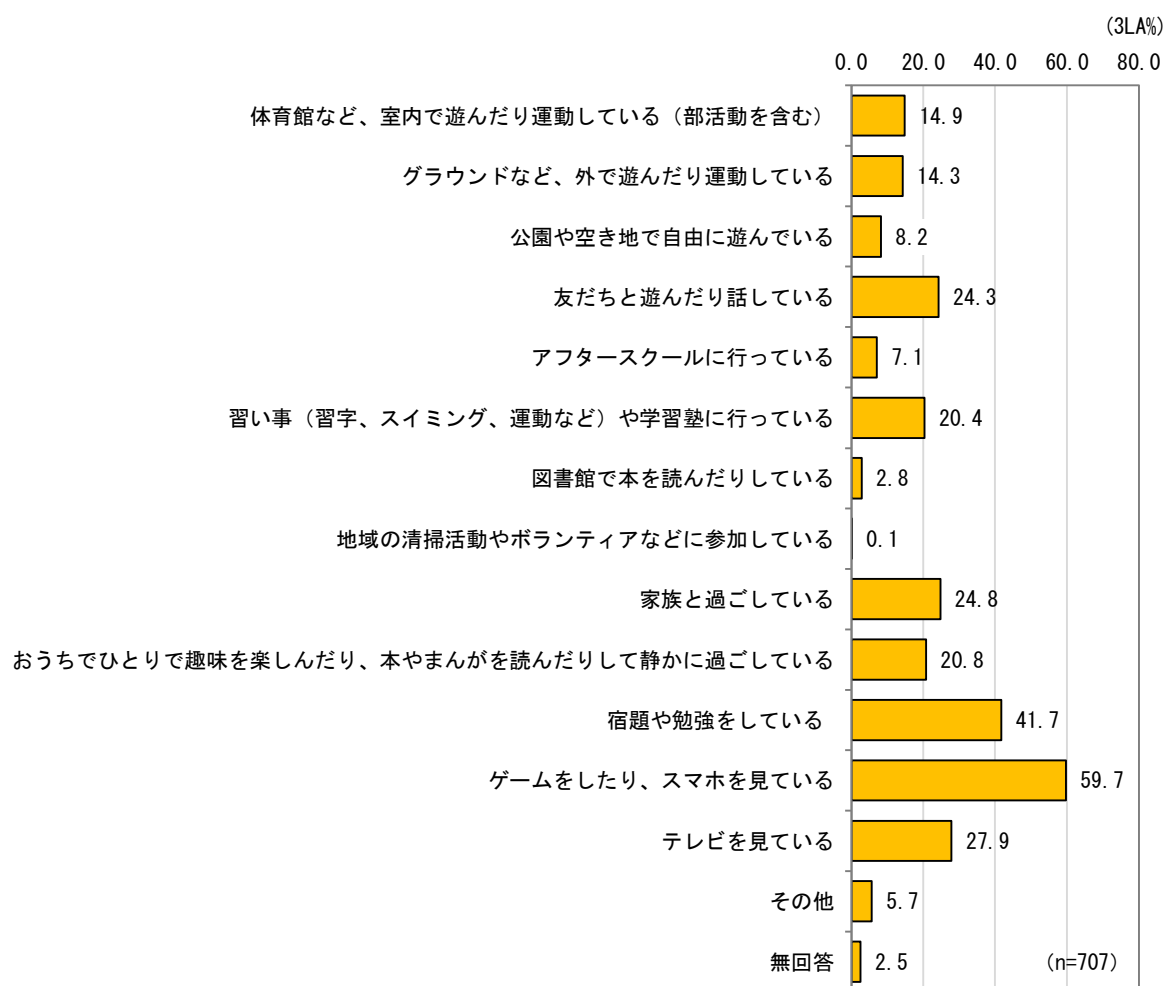
問 11－2	それはなぜですか。	自由記述
--------	-----------	------

学校のない日に落ち着くことができる場所がない人に、理由について聞いたところ、以下のような回答が多く見受けられました。

○習い事や部活があるから。

問 12	あなたは、平日の放課後(夕食前まで)は、どのように過ごしていますか。	○は3つまで
------	------------------------------------	--------

平日の放課後の過ごし方について、「ゲームをしたり、スマホを見ている」が 59.7%で最も多く、次いで「宿題や勉強をしている」が 41.7%、「テレビを見ている」が 27.9%となっています。

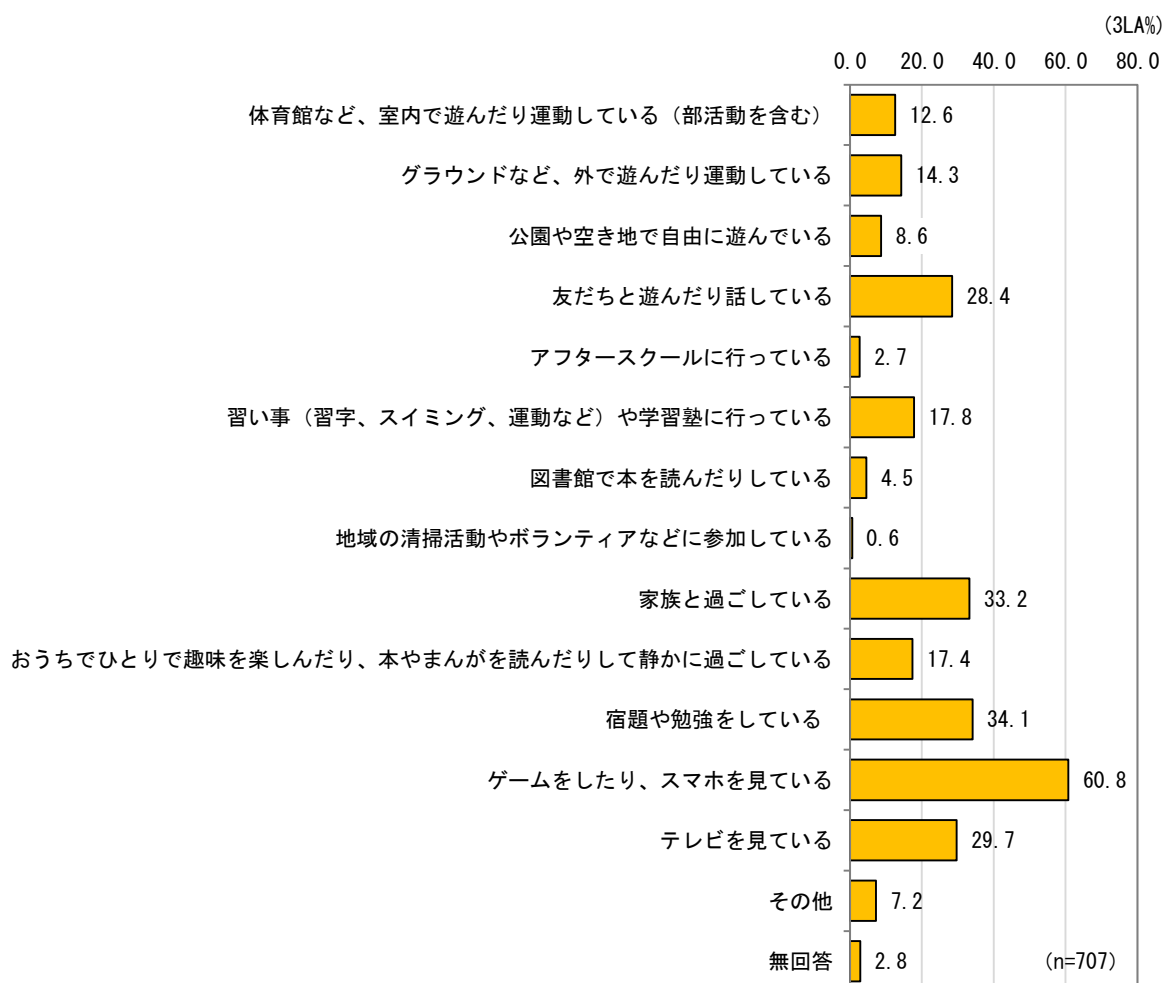


問 13

あなたは学校の無い日(土・日・祝日・夏休みなど)は、どのように過ごしていますか。

○は3つまで

学校の無い日の過ごし方について、「ゲームをしたり、スマホを見ている」が60.8%で最も多く、次いで「宿題や勉強をしている」が34.1%、「家族と過ごしている」が33.2%となっています。

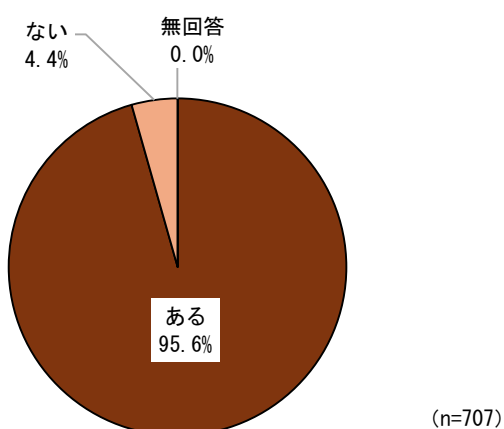


問 14

あなたが楽しみにしていることや、好きだから夢中になっていることはありますか。

○は1つだけ

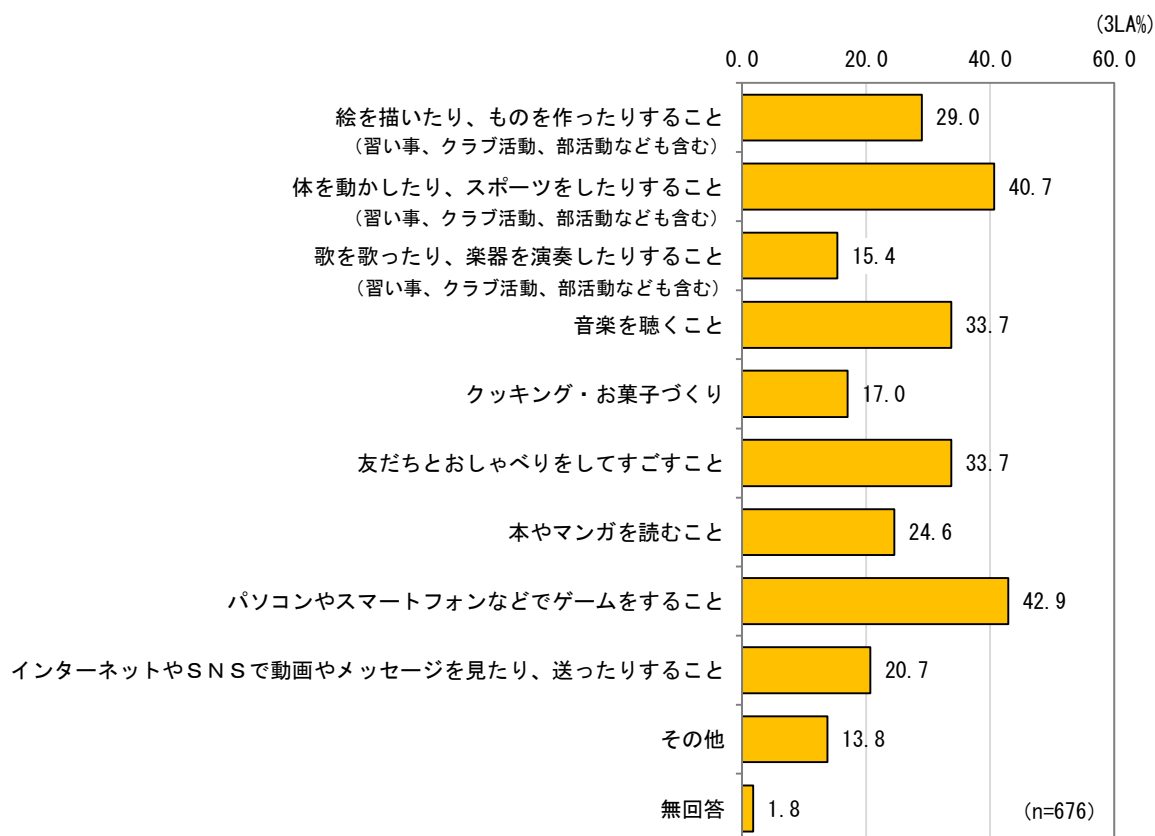
楽しみにしていること・夢中になっていることがあるかについて、「ある」が95.6%、「ない」が4.4%となっています。



〈問 14 で「ある」と答えた方にうかがいます。〉

問 14-1	あなたが楽しみにしていることや、好きだから夢中になっていることは何ですか。	〇は3つまで
--------	---------------------------------------	--------

楽しみにしていること・夢中になっていることがある人に、その内容について聞いたところ、「パソコンやスマートフォンなどでゲームをすること」が 42.9%で最も多く、次いで「体を動かしたり、スポーツをしたりすること」が 40.7%、「音楽を聴くこと」「友だちとおしゃべりをして過ごすこと」が 33.7%となっています。



問 15

あなたが市長だとしたら、加東市をどんなまちにしたいと思いますか。

自由記述

- ゆたかではんざいやじこなどの起きないまちと、ごみがないきれいな町
- にぎやかでやさしい町にしたいです。
- みんなを、よろこばせたい町
- みんながしあわせでくらせるしにしたいです。
- きれいな町
- たのしい町とにぎやかな町にしたいです。
- 楽しくてみんなにすきだと思われる市にしたい。
- もっときれいにしたい。
- みんながこの町がいいと思ってくれる市
- たのしくて、やさしいまちにしたいです。
- みんなが楽しく過ごせるように安全で楽しいまちにしたい。
- せいけつで安全なまちあそぶところがほしい
- きれいで、ゆたかなまちにしたい。
- みんながたのしめる町にしたいと思いました。
- きれいで、安全で、元気な加東市にしたい。
- みんながなかよく楽しいまちにしたいです。今よりも加東市を楽しくにぎやかで、明るいまちにしたいです。そして、じこやじけんのない、あんぜんなまちがいいです。もっとお店をふやして、べんりなまちがいいです。遊ぶ所あって、小さい子～おとなの人までたのしめるようにしたいです。
- 大きいこうえんをつくってほしい
- みんながしあわせにたのしく元気にはんざいとかがない、かとうしにしたいし、かなしいことがないかとうしにしたいです。
- きれいな町、いろんなあそびば祭りを作ったり、みんながかいてきにすごせる町にしたいと思いました。
- へいわにすごせるようにする。
- 楽しくてゴミがおちていないところでいろんな人とおしゃべりして、人とかが安全安心な町にしたいです。
- みんながえがおで元気な町にしたいです。
- きれいな町にしたい。
- はんざいのないへいわなまち
- 明るくたのしくあんぜんにくらせる加東市にしたいです。
- 加東市をきれいにしてあんしんにすごせる町にしたいです。
- にしゅうかんに一回くらいクリーンキャンペーンを開く。みんながくつろげるへやをつくる。
- 楽しくうれしくなれる町にしてきれいにしたいからクリーンキャンペーンをたくさんする。
- わたしがしちょうだったらへいわなまちにしたいです。
- 楽しくて安全な町にしたい。
- じこがおきないそうなへいわな加東市にしたいです。
- クリーンキャンペーンがおおくなってゴミをなくしたい。
- やさしい人がたくさんいて、きれいな町にしたい。

- とてもうつくしいまち
- サッカーコートを大量につくってサッカーせんしゅをふやしてサッカーでゆうしょうする一点をきめ
たせんしゅには一億円をあげるあとちきゅうまるごとじぶんのものにできる
- やさしい人がたくさんいて、どうろやこうえんにごみがおちていないきれいな町にしたいです。
- はんざいのおきないまち。きれいなまち。あんしんしてすごせるまち。
- 楽しい町やしあわせの町にしたいです。
- 子どもたちをあんしんしてくらすことができるの町にしたい。
- みんなが楽しく、すみやすいかとうし。
- きれいな町でしっかりみんなをつれていくこと
- きれいにする
- きれいな町で、どろぼうがないような町で、安全で公共しせつがいっぱいある町にしたいです。
- 町がきれいでたのしいまちにしたいです。
- インフラせいびをして、がんばってげんぜいする。
- ごはんやさんをいっぱいつくと、サッカーのチームをいっぱいつくる
- 市長だったら、はんざいのないいいまちにしたいです。
- 平和なをつくること。
- すごく楽しい町にしたいです。どうしてかと言うと、みんながえがおでいてほしいからです。
- ごうとやどろぼうが入らず、平和なまちにしたい。
- ポイ捨てもしない。綺麗な町にしたい。信号無視も止まれの文字で止まらない人をなくした町にしたい。
- 安全でできるだけ悪い人のいない人々、みんな思いやりのあるいい町にしたい。
- 綺麗な町にして、みんなが喜ぶ町にしたい。
- 賑やかな町
- 安全な町にして、子供が安心して遊んだり過ごしたりできる町。大人たちも自転車の事故や命に関わる
事故を減らして欲しいから安全ポスターだったりして、町の安全を呼びかける。
- 事故や事件が少ない安心で安全な町にしたい。
- 喧嘩がなく加東市の人が毎日健康と元気になる町
- 安全で事件などをなくしたい。
- 泥棒や悪いことをなくして、平和な町にしたい。
- みんな協力しあい助け合い優しい心のある町にしたい。
- ゴミとかがなく、子供と大人と一緒に過ごせる公園を作ったりしたい。
- ・賑やかで明るい町・綺麗で安全な町・みんなで助け合う町
- 安全で楽しく安心できる場所も多い町にしたい。
- 事件や事故が少なくみんな仲良く過ごせる町
- 綺麗で事件が1番少ないところ
- ゴミや悪い人がいなくて安全な町にしたい。
- 悪いことや事故が起きないように安全な町にしたい。
- 綺麗な町
- わからない
- 安心できる市にしたい。
- きれいで何事もないような町にしたい。

- 安全で安心な町
- みんなに優しくしたり綺麗な町にする。
- 楽しい町
- 信号むしをしったりしない町。子供が安心して遊べるところをつくる。
- 楽しくてきれいな町にしたい。
- 自然で豊かな町
- ルールを守れる安全な町
- 安心してきれいな加東市にしたい。
- 安心安全で優しい人がいっぱいいる町
- ルールを守って安全な町にしたい。子どもたちにいいことをしてあげたい。
- みんなが楽しく安全に過ごせ、みんな元気に挨拶をしてくれ、助け合う町にしたい。
- 悪い人がいなくなったり、みんなが安全で平和な町にしたい。
- 誰もが助け合える町にしたい。
- ゴミを回収したり募金をしたりいい町を作る。
- 外国人の人にも優しく、みんなに優しい町。溝、道など色んな場所にゴミを捨てない綺麗な町。
- 優しい町にしたい。助け合って仲良くできる市。みんなマナーやルールを守る市。
- 安全で大人や子供たちが楽しくできる町
- 全部の家に消火器がついていて、火災報知器がついている。
- とてもみんな親切で安全で、とてもみんなが落ち着いて、仲良くできる、いい町にしたい。
- 子どもが楽しくできたり、犯罪がない町
- 楽しい町にしたいし安心できるような街がいい。事故や地震のない町にしたい。
- 子どもや大人が使う公共施設をもう一つ作るようにしたい。
- 綺麗な町にしたい。
- 優しくてきれいな町や、人々のいたずらや悪い人をなくせる町にしたい。
- 楽しいまち
- 周りの人に安心して納得できて、楽しんでもらえるような町にしたい。
- 助け合える町にしたい。
- 笑顔で元気な加東市にしたい。
- 笑顔
- にぎやかな町にしたい。
- 楽しい町にしたい。
- 安全な町
- 大型商業施設や食べるところを作ってほしい。
- 綺麗で清潔な町にしたい。
- 平和でイベント増やす。
- イベントや公園や子供が広々できるところを作る。
- 安全な町にしたい。
- 悪い人のいない町にしたい。
- ポイ捨てをなくして、ゲームは1日1時間半
- 喧嘩のない平和な世界で優しい町にしたい。

- みんなが過ごしやすい町にしたい。
- お店がいっぱい賑やかな町。公園がいっぱい楽しい町。イベントがいっぱいわいわいした町。
- みんなの仲が良くて、魅力的な物が沢山あって、綺麗な町。
- 喧嘩や殴り合いの犯罪をなくしていい町、平和な町にしたい。
- ゴミなどが落ちてない町にしたい。
- 安全で綺麗で落ち着く町
- 楽しくて事件もない、自然いっぱいな町にしたい。
- 安全な町
- イベントを増やしたり、ゴミがない加東市にしたい。
- いじめがないより良い世界
- 優しい人しかいない加東市にしたいです。
- みんなが安心して家で過ごせるような町にしたい。
- ポイ捨てがない加東市にしたい。
- 加東市をきれいな町にして、みんなが気持ちよく過ごせる加東市にしたい。挨拶もきちんとできる人にしたい。
- もっと便利な町
- 平和でみんなが協力しあった活動で、みんなと共有しあう町にしたいです。
- 道路にゴミがないまちにしたい。
- 幸せ町
- 加東市で新しいイベントを作ったりなど沢山の人が楽しめる場所にしたいです。
- よる私の住んでいるところはとても暗いので電灯を増やしたい、ゴミとかがない安全で安心な街
- 悪口がなく、不登校者を減らし、誰もが学校や生活が楽しめて心の底から笑える。
- 今はお年寄りに会いすぎていて、子供が全然楽しめていないので、お年寄りもつかえる、勉強できるカフェを造ったり、今ある施設をもう少し大きめの商業施設にしたり、無料でドリンクなどが飲める自習室を造ったり、赤ちゃんからお年寄りの方まで交流できる施設を作りたいです今書いたことは、私が実際に本当にしてほしいことであり、市長にお願いしたいことです。勝手ながらですが、ぜひご検討していただけると嬉しいです。よろしくお願い致します。
- 年に一回大きな行事を作りたい。
- より良い街
- スポーツが盛んな街
- 市民が安心して笑える市
- 交通の便が悪いので、バスや、電車の本数を増やしたり、他の市に行きやすくする。公園の設備を新しくする。
- 私は、今、加東市に住んでいますが凄く広い道があり、スーパーマーケットや食べ物やさんもあるしコンビニもあればふくやさんもあるとほんとにすごいなあと思いました。ですが、加東市では最近事故や家事などが凄くニュースになっていてびっくりしたことやめっちゃくちゃ悲しいこともあったりそんなことがありました。ですが、私は、そんな加東市を守って助けてあげたいし、ボランティアとしてやりたいことが、私の最後の回答です。このことで素敵な加東市にして楽しい街にしたいこと。
- 平和で豊かな街にしたいです。
- 自然豊かな街を残しつつ、子供から大人まで楽しむ事ができる街にしたい。

- 自然いっぱい環境もいいし、交通が不便じゃない暮らしやすい加東市にしたい。
- 一日一家族市長に 1000 円渡す。
- 笑顔と思いやりがある街
- 多くの人が嫌な気持ちにならない市。
- 安心して過ごせる町
- 安心して過ごせる街
- 市民一人一人が、充実した生活を送れるようにしたい。
- 自然豊かな環境をいかしてイベントなどをしたい。
- 住みやすく楽しいまち
- きれいなまちで、どんな人でも過ごしやすいと思えるようなまち。
- 明るい元気な街にする。
- 普通の街
- 自習室（友だちとってわからないところを教え合ってもいい）、友達と遊べる室内の部屋を作る。
- 活気のあふれる街
- 自由に暮らせて環境がとても良い町にしたい。
- 色んな人が、観光に来てくださる街。
- 子供のためにお金や医療費、教育を活発にさせる。
- 都市化
- 図書カード配布
- 教育に力を入れる。
- 子育て世代にやさしいまち、交通の便が良い街
- 楽しい街にしたい。
- 今どきの商業施設増やしたり、公共交通機関を増やす。
- 学校終わりに寄れるお店や本屋さん CD ショップ等を追加したり、電気屋の店舗を多くしたりします。
あとは、図書館の本を小説が多くなるようにします。あと映画館とか作ったり公園等を大きくしたいです。
- 自分が市長ならば、街での建物を作りたいです。
- 子供の活動を応援する街
- 多様な社会にしたい。
- 騒がしい街
- 今よりももっと加東市を発展させ、自然豊かな過ごしやすい街にしたいと考える。
- 河川敷をきれいにして散歩できるようにする。
- たくさんの子どもが遊べる場所を作りたい。
- 交流の場所や楽しいところを増やす。
- 困ったことを気軽に相談できる場所を作ったり、勉強の教え合いがやりやすい環境を作る。
- 現状維持
- きれいな街
- もっと活気のある街にしたいと思う。
- みんなが一生笑ってられる街
- みんなが過ごしやすいと思えるまち

- 子供の活動を応援する街。3世帯みんなが仲が良い街。
- とてもいいまちにしたい。
- 授業内容の変更、都市開発、植樹体験
- 普通の人から文句が出ないまち
- 近代的な街にしたい。
- 英語教育をもっと上げる、クソみたいなパソコンやサーバーを使わず、windows を使うべき、ウィルスを入れた職員を解雇、ICT教育の機会をもっと増やす。
- きれい
- 笑顔があふれる年齢関係なく様々な人と、コミュニケーションを取れるまち
- 治安の良い綺麗なまち
- とても平和で誰もが過ごしやすい環境、場所にしたいです。
- 平和な街
- 交通機関を増やす。
- きれい
- みんなが楽しく過ごせる街にしたい。
- みんなが幸せでいられるような社会
- もっと高齢者に優しくできる街
- まずこの質問で、近くに何らかの施設がある前提の質問をなくし加東市のどこに住んでいても、その質問に答えやすい環境を作ります。
- 安全な街
- そのまま
- きれいなまちまた人々が幸せと思える街
- 豊かな街
- 誰でも過ごしやすいまち
- 地域間のつながりが強い市
- 素晴らしい街
- 治安がいいまち
- 互いに助け合う活発な街
- 楽しめる場所を作ります。
- より住みやすいまちにしたい。
- 活気のある素敵な街にしたい。
- 公共交通機関を増やす。鴨川などで買い物ができる場所を作る。
- 豊か
- まあ普通の地域にしたい。
- このままでいい
- 誰もが幸せになれる街
- 過ごしやすいまち
- 今よりも良い街
- 使いやすい場所
- みんなが楽しめる街

- 他の人を市長にする。
- みんなが快適に過ごせる加東市
- 子供が笑顔であることができるように公園がたくさんあったり、自由にある建物がある街にしたい。
- 辺のゴミを掃除するイベントを増やす。
- 駅をもっと増やして車がなくても便利な市にしたい。
- きれいなまちにしたいと思います。そのために定期的にクリーンキャンペーンをやったり声掛けをしたり、自分からゴミ拾いしたりしたいです。
- ゴミのないきれいな街、子供の教育に適した街、伝統料理や名物を作ること。
- 挨拶の声が絶えない加東市の町、ゴミが一つも落ちていないきれいな町、子供達が楽しめるようなそんな町、事故の内容な安全が確保できているような町
- 本屋さんやスーパーなど、おばあちゃんとか足が悪い人がすぐに行けるよう、わざわざ遠くまで行かなくていいように自然を残しながら建てたい。
- ゴミのない地球に優しいきれいなまち。地域の人達がたくさん触れ合えるまち。
- もっときれいにする。クリーンキャンペーンをもっと行ってポイ捨てのないようにする。
- もっと人気上がるように、最新の教育をするまち。知名度が高い街にするために、面白い遊園地などをおく。
- みんなが健康で、地域で交流が多い加東市。ご近所同士で助け合える家が多い加東市。もち麦や、桃など特産品がたくさんある加東市。木や虫などがたくさんいて自然豊かな加東市にしたいです。伝統文化を受け継いでいく加東市。ゴミがない加東市。「リサイクル」
- 子供が安心できる場所にする。もっと美味しい野菜や果物を作る。
- 大きい公園を作る。子供のために
- 安心して暮らせるまち、住んでいて楽しいと思えるまち
- 道路や学校の通学路にゴミがないようにする。
- 自由なところでいっぱい遊べるところ
- 河高の獅子舞のように、交流センターをもっと利用して、加東市の文化や発表会のようなものを開いたらいいと思いました。
- もっと建物を増やす。
- 子どもたちが遊べる場所を増やしたい。楽しく暮らせるような街
- いろんな将来の夢が実現できるような街例えば専門学校を設置したい。
- 市民同士が、協力できる市。他の県や市から大勢観光客がきてもらえるような市。
- みんなが安心できる場所をつくる。子供が遊べる場所をたくさんつくる。
- スーパーマーケットを建てたい。
- みんながいい街にしようと思っていて仕事関係なくみんなのためにと協力する。
- もっとたくさんの人がここに来たいという気持ちを持てる市。
- 困ることなく、楽しく、みんなが楽しくいれて安心して過ごせる町
- ゴミ拾い活動を行う。
- 差別なく優しいまち
- 子供共たちがたのしくともだちと笑える街
- みんな仲の良い加東市にしたい。
- 仲いい加東市にしたい。

- きれいな町にしたい。
- みんな平等で助け合えるまち、きれいでみんなが居心地いいまち
- みんなが笑顔になる街
- 自由な市
- 気持ちいい町
- 大きい公園を作る。都会っぽくする。買い物するところもっと作る。
- 差別がなく1人1人の意見を尊重する街
- 加東市に住みたいと思える街
- 1人1人が思いやる気持ちを持って、美しいまちにしたい。
- 何にも強く、美味しいものがたくさんあふれるまちにする。
- 加東市水道代を安くする。
- 思いやりがある加東市にしたいです。
- 笑顔で溢れさす加東市にしたい。
- 自然豊かなまちづくり
- ポイ捨てなどが一切ないきれいな街にしたい。
- 子どもたちが安心して遊べる空き地などを増やしたい。
- イベントが多くて楽しいことがたくさんあるまちにしたい。
- みんなの心がきれいになるようにしたい。
- きれいな街
- 美しい街
- きれいな町にしたい。
- きれいなまち
- にぎやかなまちにして、どろぼうがいらないまちにしたいです。
- みんなが仲良しで親切な加東市にしたいです。自元明（自分から元気に明るく）のあいさつができる加東市にしたいです。
- 加東市に1つもゴミのないまちにしたいからです。みんなが喧嘩のない街にしたいです。
- 住みやすさが高い街。
- 元気で、明るく、けがをしたら、すぐ助けられるそんな市に、したいと思いました。
- きれいな街、安全な街、親切な街、みんなが仲が良い街
- 加東市は悪い人がいないで子どもたち毎日安心な登下校です。
- みんなが協力し合う加東市にしたいです。
- 何でもやりますをできるまちです。
- なかよしまち
- 暮らしやすい街
- みんなが協力できるかとうし
- 市、全員仲良しな市
- ふわふわ言葉を使ったり、ありがとうと、素直に言えるまちにしたいです。
- 楽しいことがいっぱい、笑顔いっぱい、絶えない街、頑張りがいっぱいの街、運動ができる街
- きれいな街
- 親切に事故のないかとうし

- きれいな、元気な加東市。
- イベントなどを増やしたりして、明るい街にしたい。
- まずは市議会員の数を減らしてそのぶんのお金を子供のための政策につかう。
- 自然豊かな街を活かしてまちづくりをしていきたい。また、区画整備を行い、区画ごとの補助をして、ニュータウンを形成。そのなかで少子化対策をして子育て世代を呼び込んだり、子育てしやすい環境を整えたりして、地域を活性化していきたい。
- 子供がいきいきと生活できるような環境をつくる。(例えば、公園でボールを使用できるようにする、遊び場を増やす、イベントを増やす) 高齢者が健康に長生きできるように、体操教室を設ける。お父さん、お母さんがリラックスできるような場を増やす。
- 市民の声を聞けるように時間の許す限り会話をする場を設ける、市議会議員の案にも耳を傾けその意見に市民がどう思うかのアンケートなどを行う。老人たちの憩いの場を作って、老後一人でさみしい思いをしないようにサポートする。これから日本を嫌でも担っていくことになる子どもたちへのお金や株式、つみたてNISAなどの知識を充実させるべきなので、講演会を各学校中学生を目安に進んで行っていく。講演会は子どもたちが寝ないで話を聞けるような人にしないと意味がないので詳しいアンケートをとる。株取引のゲームを中学3年制を目安にの授業の一環としてしたら、自ずと知識を求める生徒がでてくるはず。
- 事故のない豊かな街にしたいです。
- 大人が絶対のような考えがあるので、大人でも間違っているならそれを反省して、お互いが成長していけるようにしていき、おかしいことはおかしいと言えるようになってほしい。周りに流されないでほしい。遊戯施設を作って欲しい。
- 犯罪がない平和なまち
- 市民全員が毎日安心して過ごすことのでき、環境のきれいな街にしたい。
- 加東市に住む人達全員がこの町にいて良かったと安心して暮らしてもらえる加東市にしていきたい。
- 公園を作って子供が遊べる場所を増やして加東市を活性化させる。
- お花を植えたり、公園を増やしたりして外へ出ようと思えるような地域
- 皆さんが仲良く過ごせようにします。今ある不満を解消させるための解決策を考えます。
- 姉妹都市だけでなく、個人の行きたいところへの留学応援制度を作って、学生がもっと留学に行きやすくする。世界に羽ばたく子どもたちの背中を押せる市を作りたい。
- 教師に言い分を伝えられるような街
- 加東市の人々が緊急時でも助け合えるように、普段から、地域の人々が関われる機会を作りたいです。
- 自然豊かで明るいまち。
- きれいな町やみんなが住みやすい町にしたい。
- 事故とかがない平和な所
- 今加東市は、住みやすいまちランキング2位なので、1位になるように、高齢者や子育て世代が過ごしやすいまちをつくりたいです。
- 色んな人がコミュニケーションを取り合い色んな意見を言える街
- 新しい試みにどんどん取り組み、活気があふれ、老若男女関係なく集まるまち
- 自然が残っていて住んでいて居心地がいいような街
- みんなが暮らやすく、寄り添え会える市。一人ひとりの意見を聞き入れ、理想な場所にするため努力する。

- 笑顔あふれる町にしたい。
- みんなが自由に生きられる市
- みんなが協力できる町
- 今よりも明るく
- 笑顔あふれるお花いっぱい優しい街にしたいです。
- 誰もが安心して暮らせる街
- もっと店や遊べる施設を作る。
- もっと住みやすい街にしたいです。
- 校則をゆるくする。
- 加東市の人たちが同じ地域、同じ国、同じ人としてお互いに思いやりの心を持って接することができるまち。
- 相手を思いやれる温かい町にしたい。
- 楽しいところ。活気あふれるところ
- きれいな街にしたい。
- 困っている人に寄り添え、支えあえる町
- お金持ちな市
- 美しい景色を守り、伝統文化を受け継ぐ活気溢れる街。
- もっと明るい街にする。
- 自然あふれる豊かな街
- 誰もが笑顔でいられるまちを作りたいと考えています。そのためには無駄な土地をなくしそのなくした所公園など全世代が喜んでもらえるような施設を作りたい。
- みんな仲が良く地域のことについて不満をもっている人がいないまち
- 電車の本数を増やします。
- もっと子供が過ごしやすい街
- もっと子供を増やす地域にしたい。
- 地域交流が盛んなまちにする。
- もっとこどもが楽しめる街、子供にお金を支援する。
- 住みやすい街
- 自然
- 地域とのつながりを大切にする地域
- 明るくてみんなが元気な町、健康に過ごせる町
- 誰もが笑顔でいられる加東市
- 都会にする。
- 地域との交流が絶えない地域
- 映画館をつくる
- みんなが一生ここに住みたいと思えるような街
- 加東市に住んでいる人全員が自慢できるような市。
- いろんな公園を作る。
- 遊戯施設を増やす。
- みんなが不自由のない地域

- 保育士の賃上げ。
- スポーツが強いまち？ハイレベルな教えてくれる人を呼び寄せる。
- 明るく、楽しい、誰にでも優しい、安心、安全な町
- 加東市を俺の町にしたい。
- きれいな
- 子供と多く関わる街
- 事故事件がない市にしたい。
- みんな笑顔で、いつでも平和にしたい。
- ゴミをなくすことをする。
- きれいでお店をいっぱい作りたい。
- 差別がない
- 幸せ
- 加東市という街の素晴らしさを、もっと全国に広めていきたい。
- 一番の願いはあいさつができる街です。今のままだと、知らない人が通るだけだったら無言のままが多いと思います。だけど、知らない人でもあいさつをすることによって笑顔も増えるし朝から良い気持ちになれると思います。そして、あいさつが習慣化することによって将来につく職業にも役立つと思います。だからあいさつができる街が作れたらなと思います。
- ゴミのない街にしたい。
- みんなが楽しく安全で安心の加東市にしたい。
- きれいな町。
- 安全安心なまち、いろんなことに支援したい。
- みんなで協力をして仲良く、挨拶が飛び交う加東市にしたいです。
- 最高に明るい街
- 映画館、デパートを作る。そして、知名度を上げる。
- 住みやすく、環境の良いまちにしたい。
- 田舎じゃなくす。
- 子供に「楽しい」といってもらえる街
- 水道代をなしにして暮らしやすいまちにします。
- 知名度もあり、運動できる場所を増やす。
- 加東市だけのものを作る、イベントをたくさんする、子供だけのところや、大人だけのところをつくる、地域の人との交流を深める。
- みんながふれあって知り合いが多い町
- みんなが楽しく明るく安心して生きられる場所にしたい。
- 事件などをなくす。
- きれい豊かな街
- 明るいきれいなまち、コンビニや病院が充分にある便利なまち
- たくさんの人が幸せになる場所
- 子供からお年寄りまで、加東市に住む人全員が住みやすいまちにしたいです。
- 小さい子も安心して遊べる場所を作る。
- ごみのない街。清掃活動に力を入れる。

- みんながのびのびできるから
- もっと人と人の関わりが増える加東市
- 自然豊かな過ごしやすいまち
- もっと地域の活動を増やす。
- 笑顔がある街
- 自分たちが思っていることを聞いてしてほしいようにしたい。
- 自然豊かで、明るい街
- きれいな街
- 活気あふれる市。
- 大都会にしたい。
- ゲームが出来る
- キレイな街
- 楽しい町、近所の人と関わりがある町
- 楽しく明るいまち
- 税金を取らない市にします。
- みんな仲の良い
- 市民が不満なく暮らせる街づくり
- 加東市を地域の人みんなが仲が良い街を作りたいです。
- 全員が自由に過ごせる。
- みんなが笑顔であふれる素敵な街
- 今のままで
- 子供が遊べるところをつくる。
- 税金を減らす。
- 誰もが平等にくらせる街
- 自然があふれる地域にしたい。
- きれいな街
- みんなの意見を尊重して、明るく接しあえたり、元気に過ごせる街にしたい。
- 今まで通り
- いろいろなお店に売ってあるもののねだんがやすくなるといいなと思います。
- 加東市を明るくしたらいいと思います。
- いいまち
- みんなが気持ちよく毎日を過ごせるようにたくさんの意見を取り入れて行きたいです。
- 楽しく居心地の良いまちにしたい。
- 加東市を明るくて元気な街にしたい。
- みんなが自由に過ごせる。
- まずは伝統的な祭りや行事を復活させてできる限り広いグラウンドをつくる。
- ゆたかでいい街にしたい。
- 争いのない平和でみんなが平等に暮らせる街にしたい。
- みんなが仲が良い地域
- みんなが楽しく過ごせるようにする。

- 自由な街
- みんなが安全で笑顔いっぱい みんなが笑って快く快適に暮らせる街
- みんなが笑顔で、不満があったらすぐ改善し、みんなが住みやすいまちにしたい。
- みんなが幸せになれる街
- 子どもたちの意見も反映される街。
- 安全の市にする。
- 子供を大切にする。きれいな街をつくる。市民の希望に耳を傾ける。(立ててほしい建物とか…)
- 学校にいくためのバスの料金をなくす。地域の人意見をちゃんと聞く。子供から大人までが快適に過ごしやすい街にする。
- 笑顔であふれる街にしたい。
- キレイな街
- 地域全体が安全で暮らしやすいまち。
- もっと都市化を進め、市民の本心などを調査し改善に取り組む。
- 安心して暮らせるまちにする。
- 事故のない安全なまち
- 平和
- きれいで安全な街にしたい。
- ルールやマナーを守る街
- 事故や犯罪が0で誰もが安心する町、どの年代でも楽しめる、デパートみたいなものを作りたい、給食費無償化
- みんなが助け合い、笑顔あふれるまち・事故や悪いことが起きないまち
- 特になし、今のほうが気に入っている一面もあるので
- きれいで遊び場もたくさんあって困ったときに助けあえてコミュニケーションがしっかり取れていて安全で安心して過ごしやすい街
- みんなが安心して快適に過ごせるような町
- みんなが安心できるような住みやすい。
- ゴミのない綺麗な市
- もっと過ごしやすい街
- 都市化を進める。
- みんなが安心できる街にしたい。
- 楽しい
- みんなが過ごしやすい街、挨拶ができるまち
- みんなが楽しく過ごせる街
- とても綺麗な街にしたいと思います。
- 面白い街
- 平和で安全な街
- 安心安全で明るい街
- 明るく楽しくて皆平等な町
- みんなの意見を尊重して、平和な街にしたい。
- ルールを守り、みんなが幸せで笑顔が溢れている街にしたい。

- 元気で明るい街
- いい町にしたい。
- そこらへんにゴミが落ちてなく、みんなが楽しく遊んでいて、笑顔が絶えないまち。
- みんなが住みたいと思ってくれるようなまちにするため、自然ものこしつつ加東市を発展させたいです。
- みんなが快適で安心できる街
- 税金がない街
- 遊べるところをもっとつくって子供が楽しめる場所にしたい。
- 住みやすいまち
- 元気でゆたかな町
- 今までと同じようにしたい。
- 飲食店や遊ぶところがある街。
- みんなが自由に楽しく過ごせたりできる街
- 気遣いや優しくできるようなまち
- みんながたのしくすごせるところ
- 便利になる者を増やす。公共施設をたてる。
- いい街にしたい。
- みんなが楽しめる街
- いろんな物が少し安くなる（今高すぎる）。
- 幸せであふれるまち。多分無理やけど。
- きれいで楽しい街
- 若い人が住みたいと思えるように、娯楽施設の増設、治安の良い街にするなど
- 楽しい町
- みんなが優しい街
- だれもが住みやすい市
- みんなが楽しめるまち
- ルールを守る
- 美しくてきれいなまち、誰が過ごしてもいいまちだと思われるまち
- 市が回って行けるようにしたい。
- 賑やかな普通の加東市にしたい。
- 加東市全員の人が楽しめる街にしたいです。
- 豊かな街にしたい。
- みんなが暮らしやすい街、子育てしやすい街。
- いろんな人が平等に認められる人
- 近くに海を作る。
- 店博物館を建設して、誰でも歴史に触れられるような街(歴史というのがエジプトとか)。LGBT寛容。
- いっぱい店をつくる。
- たのしいまち
- 自然と建物のバランスが整っている街
- 金をもうける
- 一つ一つの地域に遊べる場所もっと作る。

- 暮らしやすいところにする。
- みんなが過ごしやすいまちにしたい。
- ルールの中でだったら何をしても良いまち
- のどかで景色がきれいな街
- いつも通りでいい
- 増税をなしにしてほしい。平和で子供が暮らしやすい町
- 一人一人が安心して過ごせたり、なにか困り事がある人がいたら真剣に問題を聞き気持ちよく過ごせるようにしたい。
- お金を安くしてほしい。
- 楽しいまち
- きれいで皆やさしい気持ち良い街
- みんなが笑顔で暮らしていけることを目標にしていく。
- 犯罪を一切しなくて、ずっと幸せな街。
- みんなの考えをきいて、みんなが過ごしやすいまちにする。
- 優しい人しかいない町
- 誰もが楽しいまちにしたいです。
- 加東市のみんなが安全で楽しく過ごせる町
- みんなが楽しいと思える安全な街にしたい。
- みんなが安全に過ごせていじめという言葉もない街
- みんなが安全に平和な街にしたい。
- 少子化対策をやり平和で安心な加東市にする。
- みんなが楽しく暮らせるまち
- みんなが楽しいと思える街
- 楽しい街
- みんなに怪我や事故がない安全でいろんなことを楽しめる加東市にしたい。
- みんなが楽しく過ごせるような工夫をたくさんしたいです。
- ポイ捨てなど、マナーを守らない人をなくしたい。
- 楽しく、いじめのないかとう市
- いいまちにしたい。
- まともな街
- 「なんで、性別は女なのに、心の性別はおとこなんだよ」とか、「なんで性別は男なのに、心の性別は女なんだよ」とか、「女の子が女の子のことをすきになったり、男の子が男の子を事をすきになったりすることが気持ち悪い」などそんな言葉をなくしたい。LGBTのことを理解したまちを作りたい。
- 楽しい街
- みんなが安心して暮らせる街にしたい。犯罪や殺害などの事件を起こさないようにしたいし、事故も起きないようにしたい。
- 危険なことがない平和な街。
- とても楽しい大きな事件がない場所にしたいです。子供たちが元気に遊べる場所をもっと増やしたいです。・地域の子どもたち全員が集まって遊ぶ行事をつくりたいです。
- 楽しいまち

- 元気な街
- 犯罪が起きない街にしたい。
- 子供等が住みよくのびのびと暮らすために、様々な問題に手を差し伸べるよう建物を作ったり、相談できたりする人を雇う
- みんなが平等に、平和で楽しくすごせるまち
- みんなが楽しめるまち
- ルールやマナーがきちんと守れて、安心できるまち。
- 最先端のものを取り入れている街。
- 自由で暮らし心地が良い町
- テレビによく出るような普通じゃないまち。
- ショッピングモール、映画館など建てていろんな人の趣味に寄り添うことができる市にしたい。
- 犯罪のない街 みんなが楽しく生活できるまち
- 犯罪などを防いで、加東市にいるみんなが笑顔で暮らせる安心安全な街をたもちたい
- きれいな街
- 明るくて楽しい
- 清潔でみんなが仲良くできる街、ルールがしっかり守れる街
- 楽しめる
- 一番安定している街
- みんなが安心して過ごせるような町
- 都会にしたい。
- ポイ捨てなしもっと都会にしたい祭りイベントを作る。
- 給料高くて栄えていてアニメのグッズがある店がいっぱいある街
- しんどい子達ものびのび暮らせるまち
- 安心して住める街
- みんながくらしやすい町したいです。
- 他の市の人たちに「加東市っていいな?!」と思われるようなまちにしたい（加東市民全員が優しく、仲が良いまち）
- 都市化を進める。
- 税金がないかとうし
- 挨拶をする。
- 楽しい街
- 引っ越ししてきた人でも、誰とでも気やすく喋りかけられるようなやさしいまち
- 皆がすごしやすいまち。
- 税金なし
- 明るい市にしたい。
- みんなが仲良くする。
- 英検をなくしてほしい。
- みんなが気持ちよく毎日過ごせるようなまちにする。
- 加東市は、あまり楽しめるところがないので、テーマパークとかを作ったりします。
- みんなが豊かに暮らせるようないい街にしたい。

- 新しい施設がある市
- 楽しい街ときれいな
- 誰とでも些細な話ができて、助け合える町
- どの世代もすごしやすいまちにしたい。
- 何も悪いところがない市を目指す
- みんなが仲良くルールやマナーを守ることができる市
- お花など、色とりどりできれいで、過ごしやすい街にしたい。
- 税金0%
- みんなを大切にしたいです。
- 人が多くて平和なところ
- ポイ捨てをしない市にして犯罪もすくなくするようにポスターを貼っていきたいです。困っている人がいるかもしれないからアンケートを出したいです。
- みんなが幸せに暮らせるようにしたいです。
- にぎやかなまち
- 加東市をたのしくしていきたいです。
- 人がいっぱいいてにぎやかなまち
- たのしくすごすまち
- 加東市をきれいなまちにして、みんなから喜んでもらえるようにしたいです。地域みんなが、安全に暮らせられるようにしたいです。みんなそんがないようにしたいです。
- 喧嘩もやめて、人がいっぱいいる平和の町にする。
- 加東市に今よりも公園や遊園地を増やす
- 優しい人しかいない街
- 平和で楽しい街。
- 大きい公園を作りたい。
- みんなが、なかよく楽しいまちにしたいです。今よりも加東市を楽しくにぎやかで、明るいまちにしたいです。そして、事故や事件の無い安全なまちにしたいです。もっとお店を増やして、便利なまちがいいです。遊ぶ所もあって、小さい子～大人の人まで楽しめるような所にしたいです。

加東市こども計画（仮称） 〔令和7年度～令和11年度〕

【骨子案】

令和6年9月

加 東 市

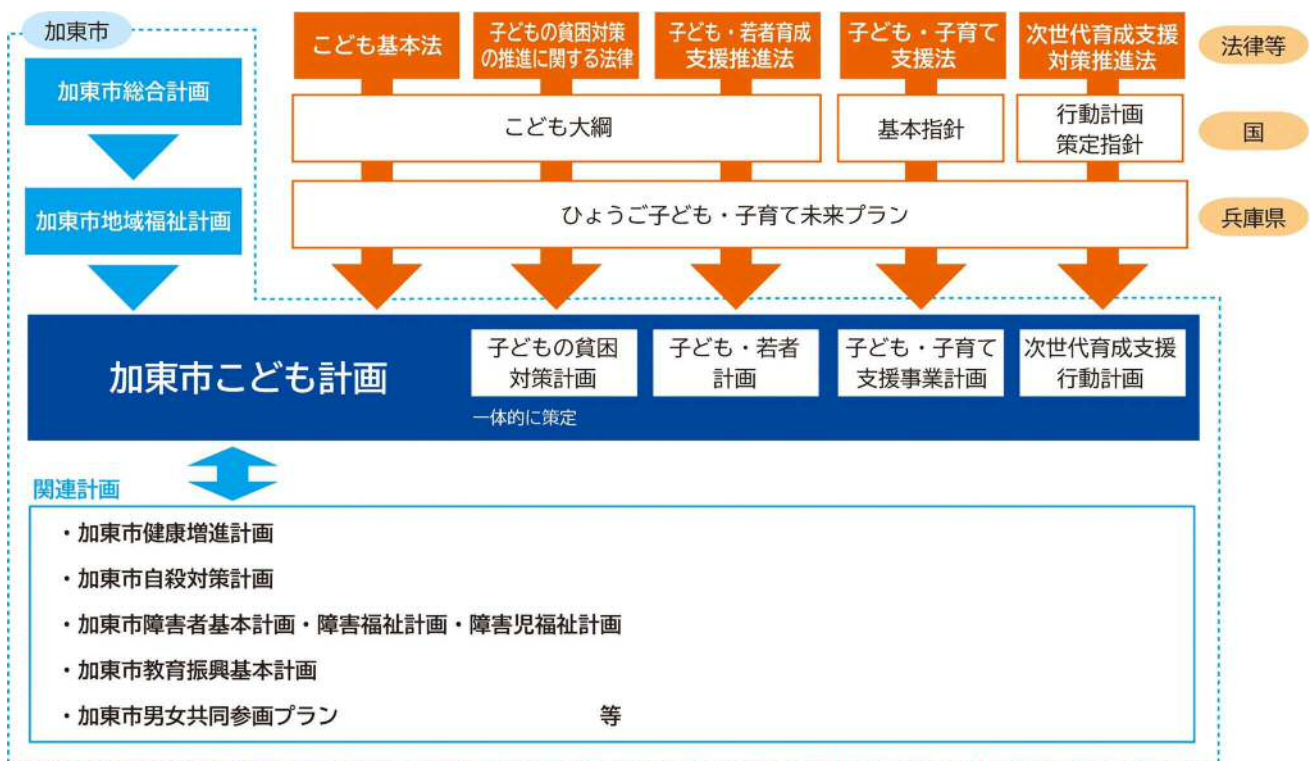
1 計画策定にあたって

1 計画の位置づけ

本計画は、子ども・子育て支援法第 60 条の規定による基本指針、次世代育成支援対策推進法第 7 条の規定による行動計画策定指針、こども基本法第 9 条の規定によるこども大綱及びこども基本法第 10 条の規定による都道府県こども計画を勘案しながら、以下の①～④の計画を一体的に策定するものとします。

- ① 子ども・子育て支援事業計画（子ども・子育て支援法第 61 条）
- ② 次世代育成支援行動計画（次世代育成支援対策推進法第 8 条）
- ③ 子どもの貧困対策計画（子どもの貧困対策の推進に関する法律第 9 条）
- ④ 子ども・若者計画（子ども・若者育成支援推進法第 9 条）

また、本市の市政運営の柱となる「加東市総合計画」を最上位計画とし、総合的な地域福祉の方策を示す「加東市地域福祉計画」のもと、分野ごとに策定された関連計画等との整合性を図りながら、関連施策を推進していきます。



2 計画の期間

本計画は、令和7年度を初年度として、令和11年度までの5年間を計画期間とします。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
加東市総合計画	基本構想（平成30年度～令和9年度）											
	前期基本計画（平成30年度～令和4年度）					後期基本計画（令和5年度～令和9年度）						
加東市地域福祉計画	第2次（H27～R1）	第3次（令和2年度～令和6年度）					第4次（令和7年度～令和11年度）					
加東市子ども・子育て支援事業計画	第1期（H27～R1）	第2期（令和2年度～令和6年度）										
加東市こども計画								第1期（令和7年度～令和11年度）				

3 計画の対象

こども基本法において「こども」とは「心身の発達の過程にある者をいう。」とされています。これは、新生児期から思春期の各段階を経て大人になるまでに必要なサポートが途切れないよう、こどもや若者がそれぞれの状況に応じて社会で幸せに暮らしていけるように支えていくことを示したものであり、こどもが若者となり、大人として円滑な社会生活を送ることができるようになるまでの成長の過程にある者を指しています。

そのため、本計画においても、一定の年齢上限は定めません。

2 加東市のこどもに関する現状と課題

1 こども・若者を取り巻く現状

2 子育て家庭を取り巻く現状

3 アンケート調査結果からみる現状と課題

※現状と課題のグラフや表、アンケート結果は、これまでと重複している内容もありますので、参考資料として別綴じにしています。

4 こども計画策定に向けた課題

(1) ライフステージに共通した取組

- こども・若者に対する支援が、特定の年齢で途切れることなく、自分らしく社会生活を送ることができるようになるまで続くことが重要です。また、子育て当事者に対しても、こどもの誕生前から、乳幼児期、学童期、思春期、青年期を経て、おとなになるまでを「子育て」と捉え、社会全体で支えていくことが重要です。
- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果によると、子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がいる保護者は約9割となっていますが、身近な人や園・学校の割合が高く、相談窓口を利用する人は少ないのが現状です。また、充実してほしい子育て支援施策について、「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が最も多くなっています。
- 子ども・子育てに関するアンケート調査結果によると、困っていること・悩んでいることについて、小中学生では「勉強のこと」が70.1%で最も多く、次いで「地域や社会のこと」が43.3%、「将来のこと」が23.2%となっており、様々な課題を抱えていることが分かります。

【課題】

- 身近な地域で気軽に相談できる相談窓口体制を整備すること
- 子育てや教育に係る経済的な負担を軽減し、子育て家庭の日々の生活の安定を図ること
- 様々な理由で困難を抱えるこども・若者とその家庭を早期に把握し支援する体制を構築すること

(2) ライフステージ別の取組

- 施策を進めるに当たっては、それぞれのライフステージに特有の課題があり、それらが、こどもや若者、子育て当事者にとって、どのような意味を持ち、どのような点に留意すべきかを踏まえることが重要です。
- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果によると、就労している母親の割合は、平成30年調査と比較すると、73.2%から80.4%と7.2ポイント増加しており、今後も保育ニーズは高まると想定されます。
- 子ども・子育てに関するアンケート調査結果によると、平日の放課後や学校のない日の過ごし方について、「ゲームをしたり、スマホを見ている」が最も多くなっていますが、住まいの地域の大人への要望として、「地域の行事（イベント）を増やして欲しい」が最も多くなっており、自宅以外の居場所の創出が求められています。

【課題】

- 子育て世代のニーズに対応した保育・教育サービスを充実すること
- 多様な遊び場や体験・活躍ができる機会や居場所を創出すること

(3) 子育て当事者への支援の取組

- 子育て当事者が、経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、また、過度な使命感や負担を抱くことなく、健康で、自己肯定感とゆとりを持って、こどもに向き合えるようにすることが、こども・若者の健やかな成長のために重要です。
- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果によると、育児休業を取得した父親の割合は、平成 30 年調査と比較すると、2.3%から 11.6%と 9.3 ポイント増加していますが、約 8 割の父親が取得していない状況です。
- 子ども・子育てに関するアンケート調査結果によると、子育て中が地域の人とのつながるための取組について、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場所を増やす」が 54.4%で最も多くなっており、身近な地域での子育て支援が求められています。

【課題】

- 育児休業制度を強化するとともに、男性の家事・子育てへの参画を促進すること
- 地域とのつながりを育みながら、多様な主体が子育てを支えていく仕組みをつくること

3 計画の基本的な考え方

1 基本理念

こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」とは、全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会のことです。

本市では、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、「すべてのこども・若者が幸せに成長できるまち」、「幸せを感じながら子育てができるまち」、「みんなで子育て・子育てを支える幸せなまち」を目指し、次の「基本理念」を本計画の基本的な考え方とします。

<加東市こども計画（仮称）基本理念（案）>

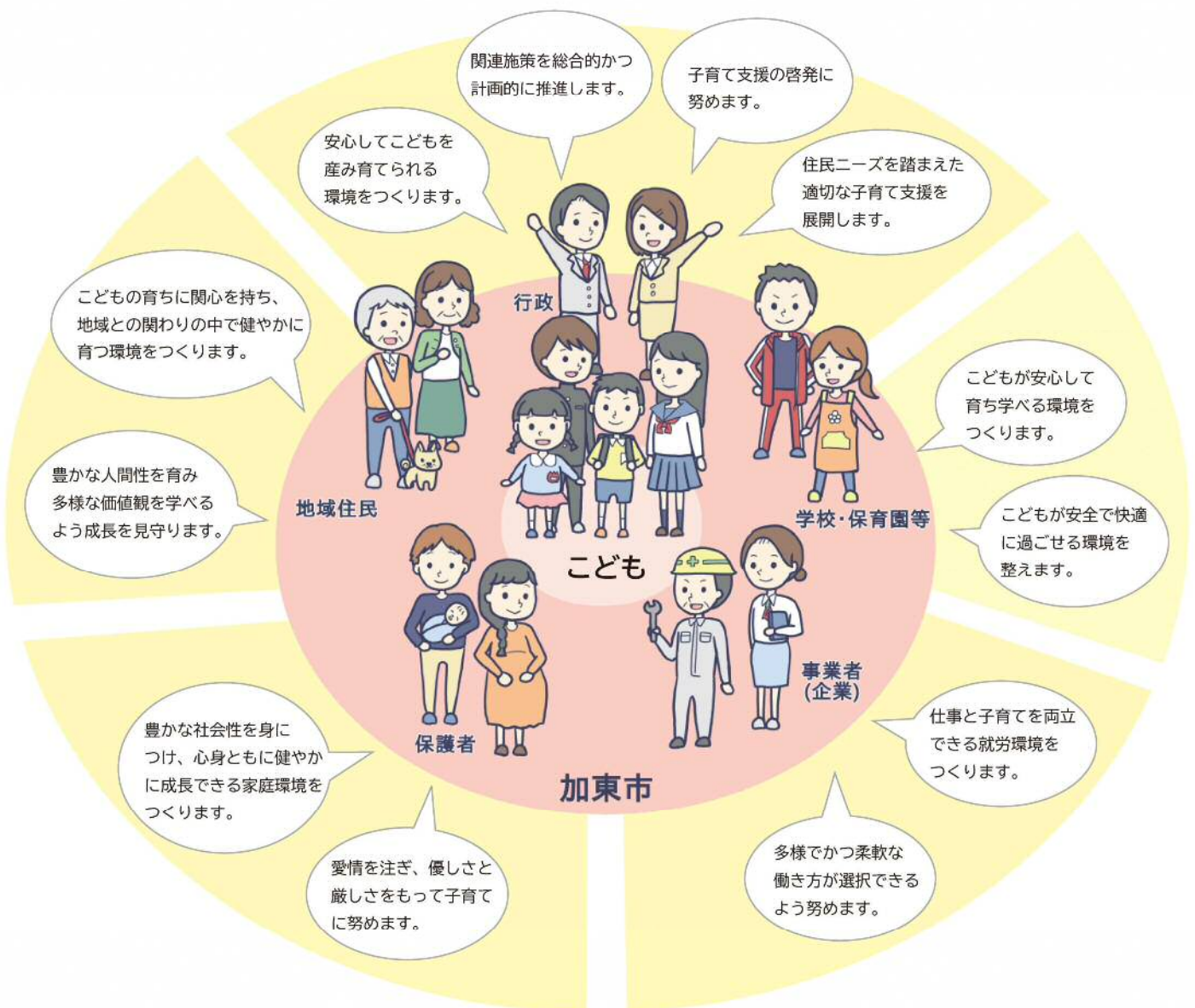
子育て子育てで 幸せを感じるまち かとう

2 基本的な視点

こども政策を推進するにあたり、何よりも大切にするのは、こどもや若者の意見です。「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者の意見を聴いて、政策に反映する取組を社会全体で推進していくことが重要です。

また、こども政策を実効あるものとするためには、行政が責任をもって取り組むことはもとより、こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度や支援メニューを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、すべての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識改革を進める必要があります。

行政、保護者、地域住民、事業者（企業）、学校・保育園等、様々な取組やアクションをつなげていき、「こどもまんなか」を推進していきます。





3 計画の基本目標（案）

基本目標1 こども・若者が自分らしく暮らせるまちづくり

こども・若者の状況に応じて必要な支援が特定の年齢で途切れることなく行われ、自分らしく社会生活を送ることができることができるまちを目指します。

基本目標2 すべてのこどもが健やかに育つ環境づくり

子どもの幸せのため、心身の健康を育む環境を整え、子どもが生命と人権を尊重され、健やかに育つことができるまちを目指します。

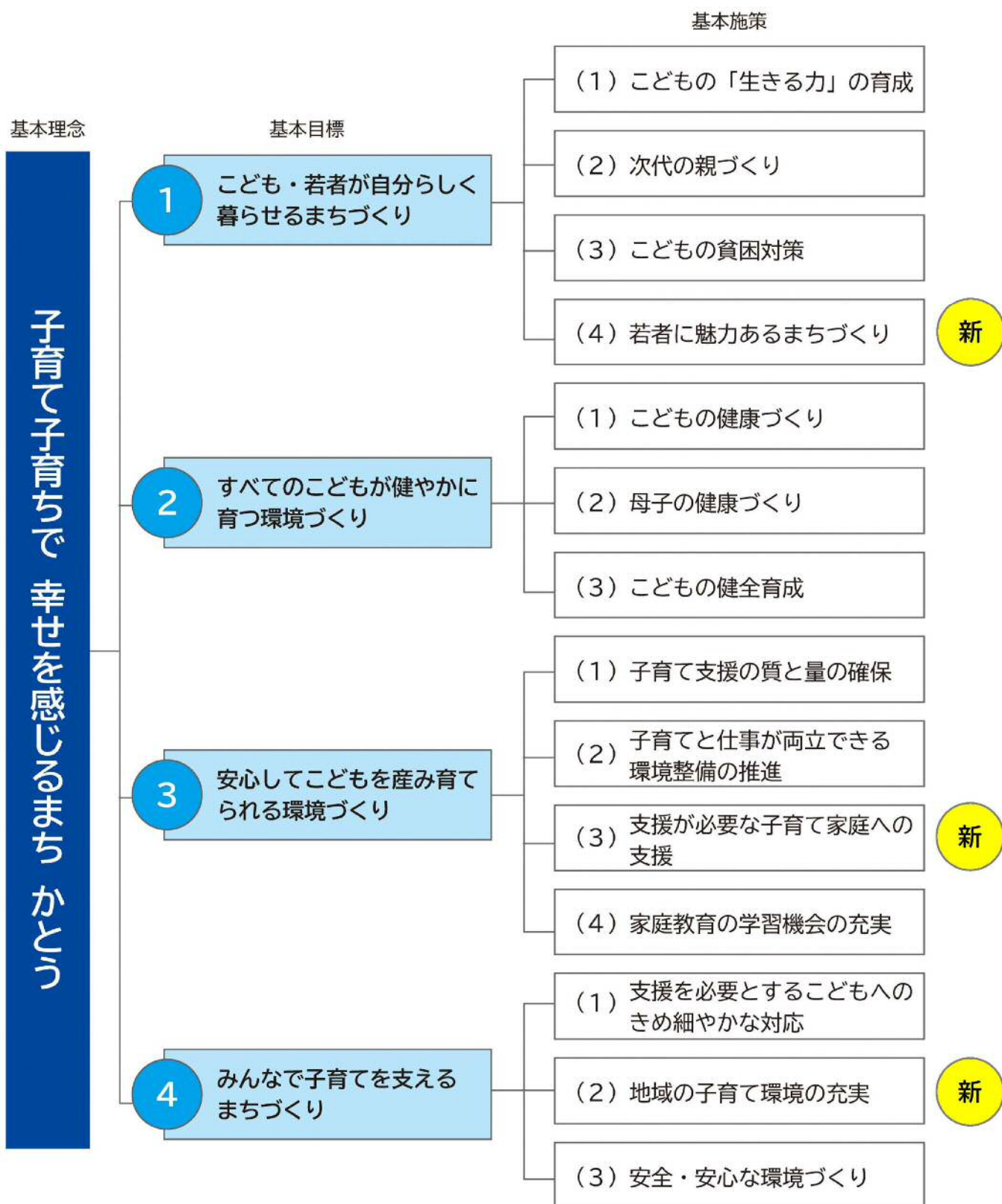
基本目標3 安心してこどもを産み育てられる環境づくり

親の子育てに対する不安や負担を軽減することで、安心して子どもを生み、育てられるまちを目指します。

基本目標4 みんなで子育てを支えるまちづくり

地域に住む一人ひとりが子育てを支え、企業、学校、行政等が子どもの成長をあたたく見守り、応援するまちを目指します。

4 施策体系



5 計画の構成（案）

第1章	計画策定にあたって
1	計画の趣旨
2	計画の位置づけ
3	計画の期間
4	計画の対象
5	SDGsとの関連計画
6	計画の策定体制
第2章	加東市のこどもに関する現状と課題
1	こども・若者を取り巻く現状
2	子育て家庭を取り巻く現状
3	アンケート調査結果からみる現状と課題
4	第2期加東市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
5	こども計画策定に向けた課題
第3章	計画の基本的な考え方
1	基本理念
2	基本的な視点
3	基本目標
4	施策体系
5	重点的な取組
第4章	施策の展開
1	こども・若者が自分らしく暮らせるまちづくり
2	すべてのこどもが健やかに育つ環境づくり
3	安心してこどもを産み育てられる環境づくり
4	みんなで子育てを支えるまちづくり
第5章	子ども・子育て支援事業
1	教育・保育事業等の提供区域
2	児童人口の推計
3	教育・保育事業及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込の算出
4	教育・保育事業の量の見込み及び確保の方策
5	地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保の方策
6	教育・保育の一体的提供と推進に関する体制の確保
7	子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保
第6章	計画の推進のために
1	計画の推進体制
2	計画の公表および周知
3	計画の評価と進行管理
資料編	
1	子ども・子育て会議条例
2	子ども・子育て会議委員名簿
3	子ども・子育て会議の経緯

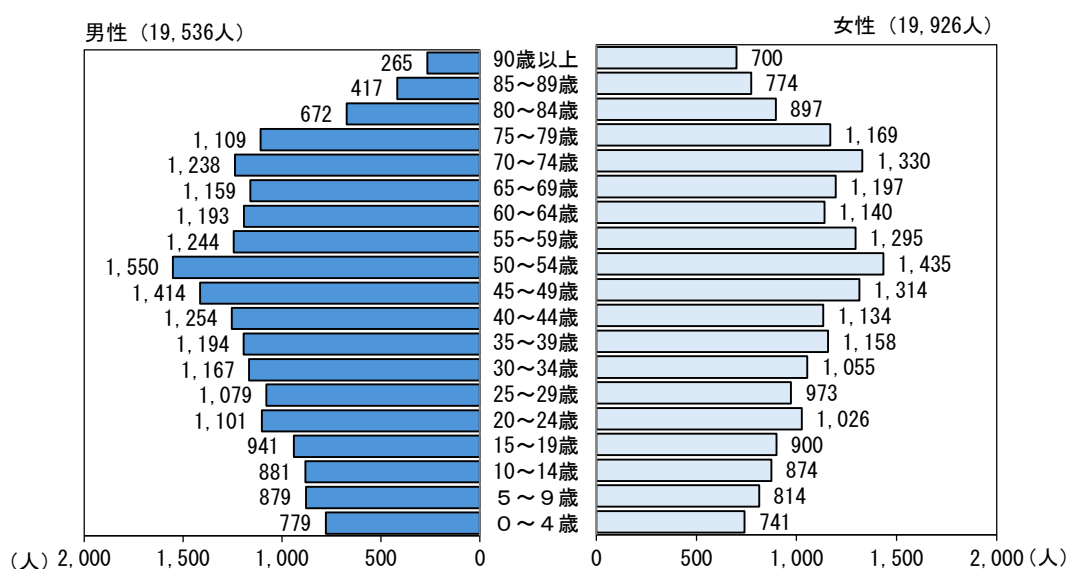
2 加東市のこどもに関する現状と課題

1 こども・若者を取り巻く現状

(1) 人口の状況

① 人口構造

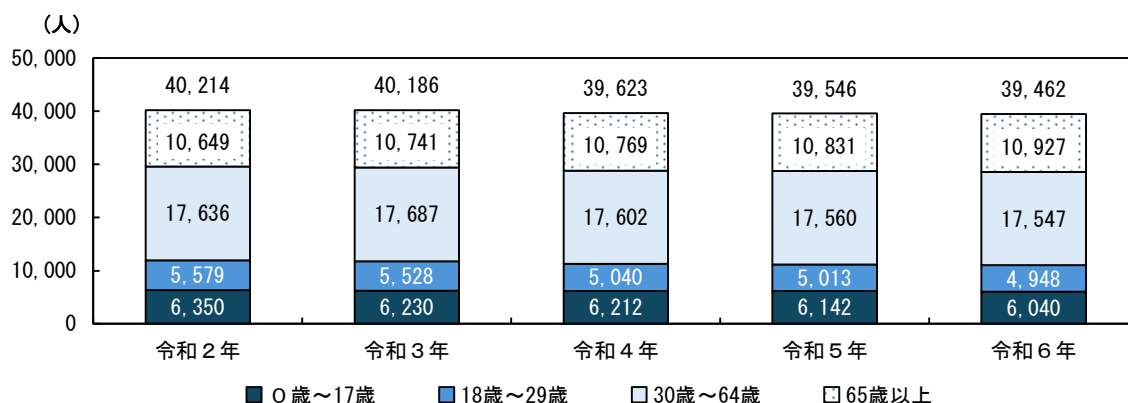
本市の男女別年齢5歳階級別人口は、男女ともに50歳～54歳が最も多くなっています。



資料：住民基本台帳（令和6年4月1日時点）

② 人口の推移

本市の人口は減少傾向で推移しており、令和6年4月1日時点で39,462人となっています。

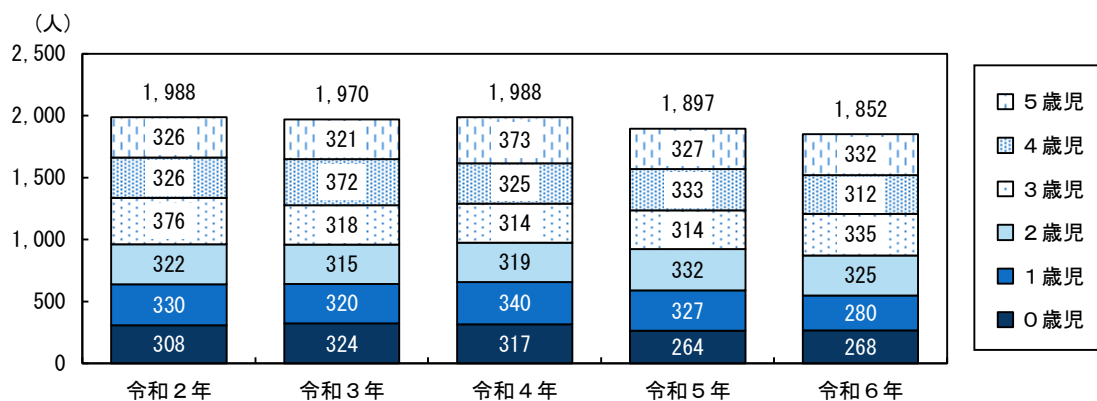


資料：住民基本台帳（各年4月1日時点）

(2) こどもや家庭の状況

① 就学前児童人口の推移

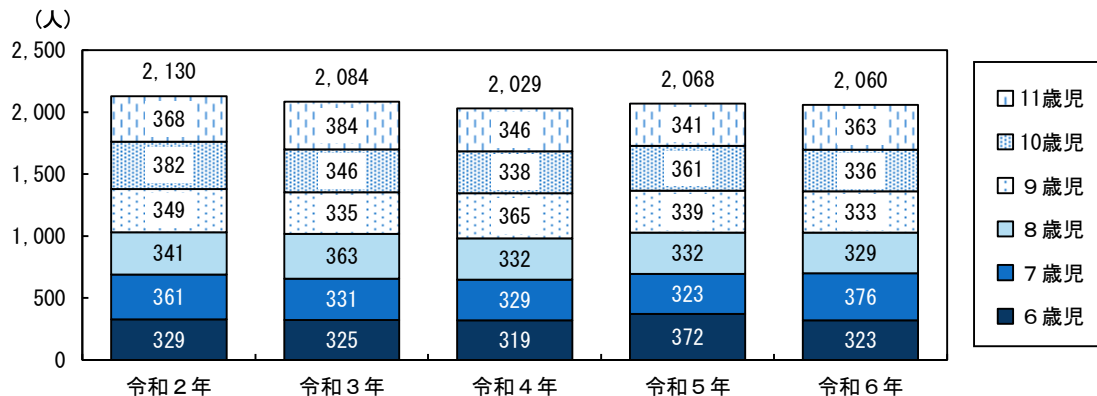
就学前児童人口の推移をみると、増減を繰り返していましたが、令和4年以降は減少傾向となっており、令和6年4月1日時点で1,852人となっています。



資料：住民基本台帳（各年4月1日時点）

② 就学児童人口の推移

就学児童人口の推移をみると、増減を繰り返しており、令和6年4月1日時点で2,060人となっています。



資料：住民基本台帳（各年4月1日時点）

③ 子育て世帯の推移

本市の一般世帯総数は増加傾向で推移していますが、一方でこどものいる世帯は減少傾向となっており、令和2年で「6歳未満のこどものいる世帯」が1,432世帯（8.4%）、「18歳未満のこどもがいる世帯」が3,494世帯（20.5%）となっています。

		平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
一般世帯総数	世帯数	12,992世帯	14,103世帯	15,048世帯	17,032世帯
	構成比	14.5%	11.6%	10.3%	8.4%
6歳未満のこどものいる世帯	世帯数	1,885世帯	1,631世帯	1,555世帯	1,432世帯
	構成比	32.5%	27.8%	24.9%	20.5%
18歳未満のこどものいる世帯	世帯数	4,217世帯	3,921世帯	3,750世帯	3,494世帯
	構成比				

資料：総務省「国勢調査」

④ ひとり親世帯の推移

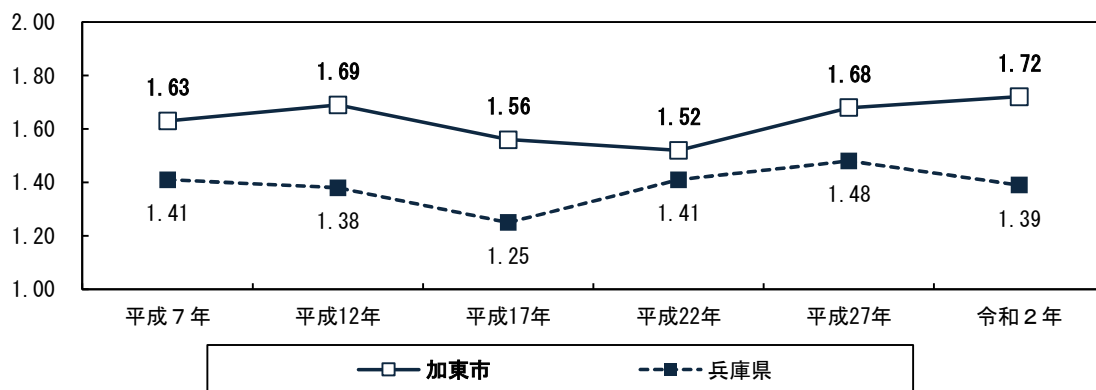
18歳未満のこどもがいるひとり親世帯の推移をみると、父親とこどもからなる世帯は30世帯前後で推移しており、母親とこどもからなる世帯は増加傾向にありましたが、平成27年以降、減少に転じています。

	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
父親とこどもからなる世帯	33世帯	26世帯	28世帯	29世帯
母親とこどもからなる世帯	230世帯	243世帯	274世帯	226世帯

資料：総務省「国勢調査」

⑤ 合計特殊出生率の推移

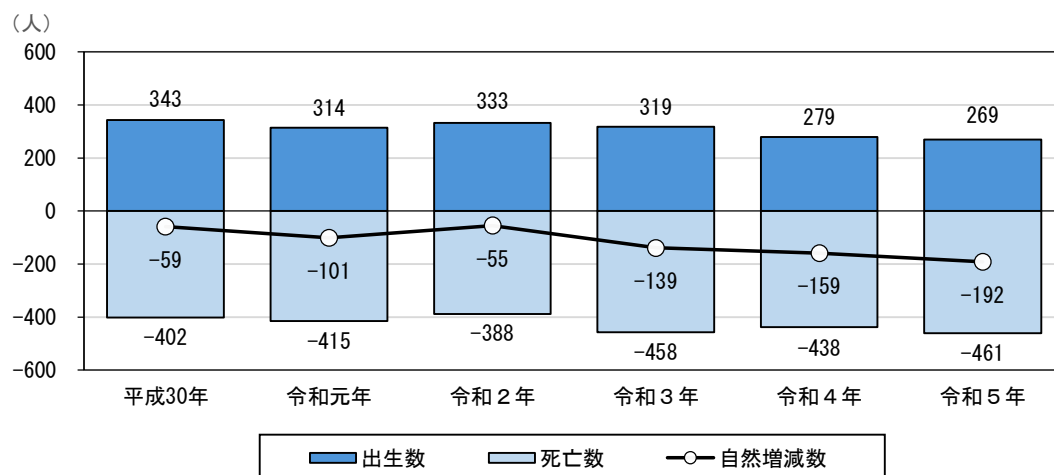
本市の合計特殊出生率は横ばいで推移しており、兵庫県と比較すると高い傾向にあります。



資料：兵庫県人口動態統計

⑥ 出生数と死亡数の推移

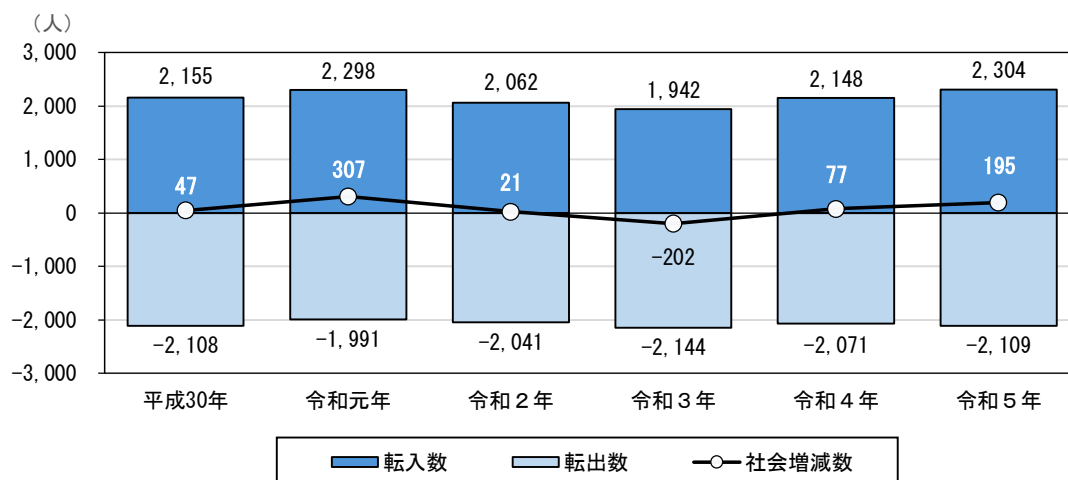
死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続いており、令和5年では「出生数」が269人、「死亡数」が192人となっています。



資料：住民基本台帳

⑦ 転入数と転出数の推移

転入数が転出数を上回る「社会増」の状態が概ね続いており、令和5年では「転入数」が2,304人、「転出数」が2,109人となっています。



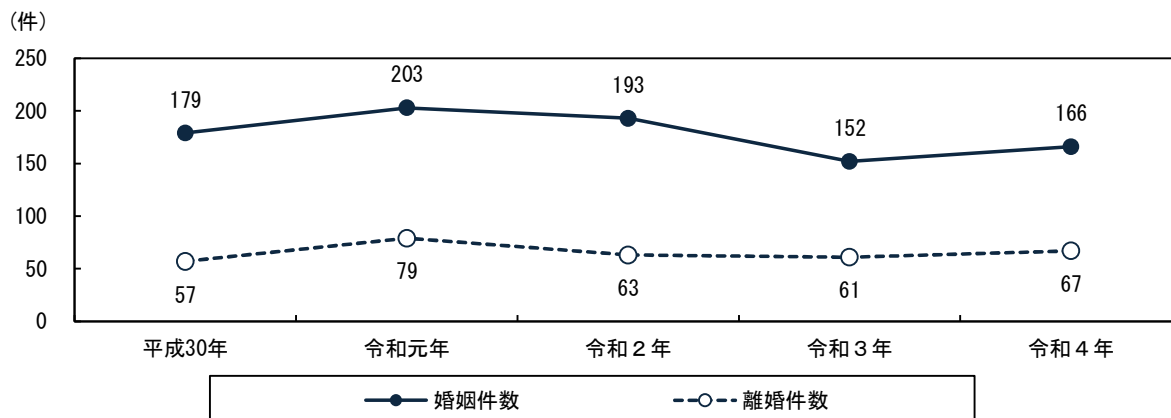
資料：住民基本台帳

(3) 婚姻の状況

① 婚姻件数と離婚件数の推移

本市の婚姻件数は年により変動がみられますが、150～210 件で推移しており、令和4年で166 件となっています。

また、離婚件数についても変動があり、50～80 件で推移しており、令和4年で67 件となっています。



資料：兵庫県人口動態統計

② 未婚率の推移

本市の未婚率は概ね年々上昇傾向にあり、令和2年をみると、35～39 歳の未婚率は男性が35.2%、女性が19.6%となっています。

(単位：%)

	15～19 歳		20～24 歳		25～29 歳		30～34 歳		35～39 歳	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成17年	99.5	99.5	88.7	84.3	63.9	49.6	39.7	23.2	24.0	14.1
平成22年	99.6	99.2	92.2	88.1	67.6	54.5	47.3	27.9	33.2	17.2
平成27年	99.8	99.1	92.4	90.0	71.2	57.8	42.5	29.7	33.9	21.8
令和2年	99.8	99.6	91.7	89.6	69.1	54.1	47.2	33.3	35.2	19.6

資料：総務省「国勢調査」

また、本市の生（「45～49 歳」と「50～54 歳」未婚率の平均値から「50 歳時」の未婚率（結婚したことがない人の割合）を算出したもの）をみると、男性24.6%、女性12.9%と年々増加しています。

(単位：%)

	45～49 歳		50～54 歳		生涯未婚率	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成17年	14.7	5.4	9.9	3.5	12.3	4.4
平成22年	19.4	8.0	14.6	4.6	17.0	6.3
平成27年	21.1	12.1	18.6	6.9	19.8	9.5
令和2年	26.8	13.9	22.4	11.9	24.6	12.9

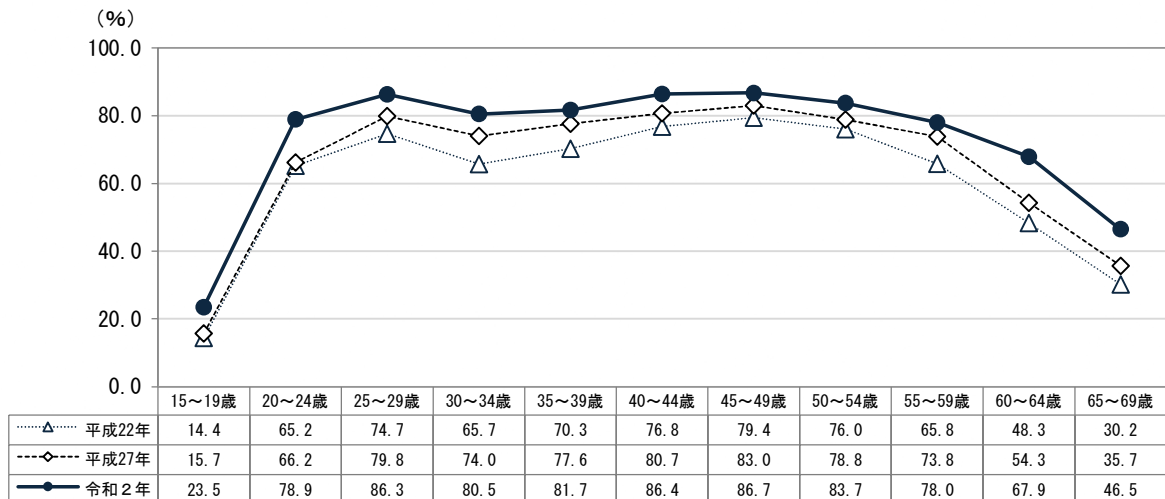
資料：総務省「国勢調査」

2 子育て家庭を取り巻く現状

(1) 就労の状況

① 女性の労働力率の推移

女性の年齢別労働力率は、30～34歳が低くなるM字カーブを描いていますが、M字の谷は年々底上げされてきており、過去の労働力率をおおむね上回って推移しています。



資料：総務省「国勢調査」

(2) 子ども・子育て支援事業の利用状況

① 就学前の教育・保育施設状況

本市の就学前児童の教育・保育サービスに関する施設については、幼稚園や保育所の認定こども園への移行が進み、令和6年4月1日現在、認定こども園12か所、保育所2か所、認定を受けていない幼稚園1か所、認可外保育施設3か所、企業主導型保育事業1か所となっています。

(単位：か所)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認定こども園	11	11	12	12	12
保育所	3	3	2	2	2
幼稚園	－	－	－	－	－
認定を受けない幼稚園	1	1	1	1	1
認可外保育施設	3	3	3	3	3
企業主導型保育事業	1	1	1	1	1

資料：こども教育課（各年4月1日）

保育を必要とする2号認定・3号認定の定員はこの4年間で11名分の増加を図ってきましたが、定員を上回る入園状況が続き、保育需要は高まりの一途となっています。

一方で、保育を必要としない1号認定については、認定こども園化により定員数が減少しているにも関わらず、定員充足していない状況が続いています。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1号認定こども (保育不要)	定員	314人	328人	324人	324人	324人
	利用人数	169人	169人	166人	144人	140人
	定員比率	53.8%	51.5%	51.2%	44.4%	43.2%
2・3号認定こども (保育必要)	定員	1,136人	1,142人	1,147人	1,147人	1,147人
	利用人数	1,142人	1,197人	1,229人	1,208人	1,191人
	定員比率	100.5%	104.8%	107.1%	105.3%	103.8%

資料：こども教育課（各年4月1日）

② アフタースクール（放課後児童クラブ）の利用状況

本市のアフタースクール（放課後児童クラブ）は、市内のすべての小学校及び義務教育学校（前期課程）（8か所）で実施しており、令和6年4月1日現在、低学年は利用者数391人・利用率42.3%、高学年は利用者数100人・利用率11.1%となっています。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
在校児童数	低学年	903人	908人	878人	922人	925人
	高学年	962人	913人	906人	905人	903人
利用者数	低学年	315人	394人	370人	404人	391人
	高学年	56人	72人	72人	93人	100人
利用率	低学年	34.9%	43.4%	42.1%	43.8%	42.3%
	高学年	5.8%	7.9%	7.9%	10.3%	11.1%

資料：こども教育課（各年4月1日）

③ 病児・病後児保育事業の利用状況

本市の病児・病後児保育事業は、病児対応型1か所（総定員4人）で実施しています。利用者数は増加傾向で推移しており、令和5年度で232人日（実利用者133人、月当たりの平均利用回数1.73回）となっています。

（単位：人日）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数	48	107	194	232	95

資料：こども教育課（各年度3月末）※令和6年度は7月末まで

④ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）の利用状況

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）は、令和5年度末現在、依頼会員 202 人、協力会員 86 人、依頼・協力会員 42 人で活動していますが、延べ利用者数は 168 人（実利用者：依頼会員 29 人、協力会員 10 人）と低い利用率になっています。

（単位：人日）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数（合計）	151	150	189	168	38
0歳児	5	12	3	10	1
1歳児	12	9	31	41	15
2歳児	14	21	21	30	3
3歳児	35	29	4	14	0
4歳児	3	15	19	0	0
5歳児	7	28	5	22	6
6歳児	35	0	0	38	0
小学1年生	30	7	89	0	2
小学2年生	0	18	14	12	11
小学3年生	0	0	0	1	0
小学4年生	10	11	3	0	0
小学5年生	0	0	0	0	0
小学6年生	0	0	0	0	1

資料：こども教育課（各年度3月末）※令和6年度は6月末まで

3 アンケート調査結果からみる現状と課題

(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

子育て中の親やこどもの生活実態・意見・要望などを把握し、策定の基礎資料とする目的で、就学前児童のいる世帯および就学児童のいる児童のいる世帯を対象にアンケート調査を実施しました。

調査対象者	市内在住の就学前児童の保護者	市内在住の就学児童の保護者
調査期間	令和6年3月8日～令和6年3月29日	
調査方法	郵送による配布、郵送及びインターネットによる回答	

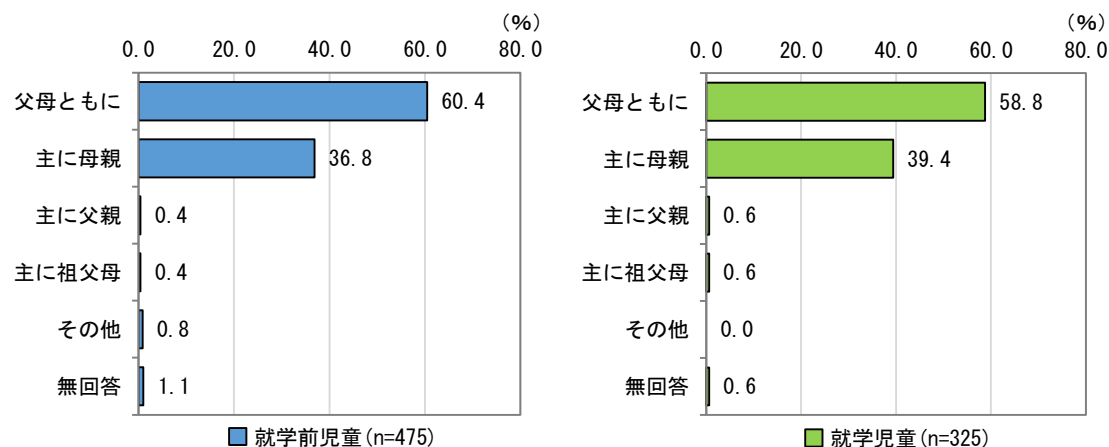
調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	1,200 件	475 件（郵送：350 件、Web：125 件）	39.6%
就学児童の保護者	800 件	325 件（郵送：227 件、Web：98 件）	40.6%

電算処理上の注意点

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・図表中の「MA%」（Multiple Answer の略）や「3LA%」（3 Limited Answer の略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「○はいくつでも」や「○は3つまで」選択する形式の設問）です。

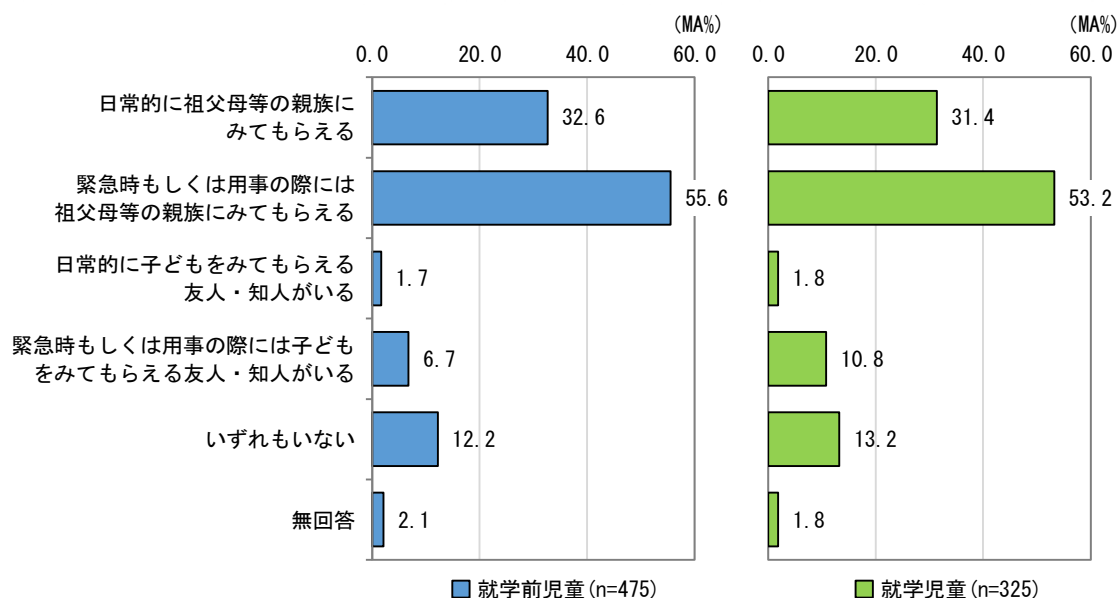
① 子育てを主に行っている人【就学前児童・就学児童】

子育て（教育を含む）を主に行っている人について、就学前児童では「父母ともに」が 60.4%で最も高く、次いで「主に母親」が 36.8%、就学児童では「父母ともに」が 58.8%で最も高く、次いで「主に母親」が 39.4%となっています。



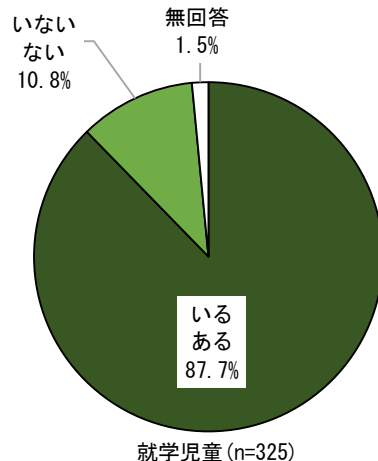
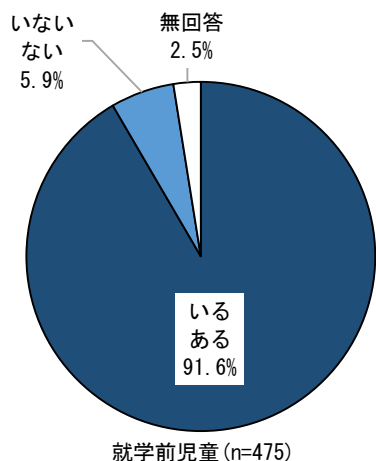
② こどもをみてもらえる親族・知人【就学前児童・就学児童】

こどもをみてもらえる親族・知人はいるかについて、就学前児童では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.6%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 32.6%、「いずれもない」が 12.2%、就学児童では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 53.2%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 31.4%、「いずれもない」が 13.2%となっています。



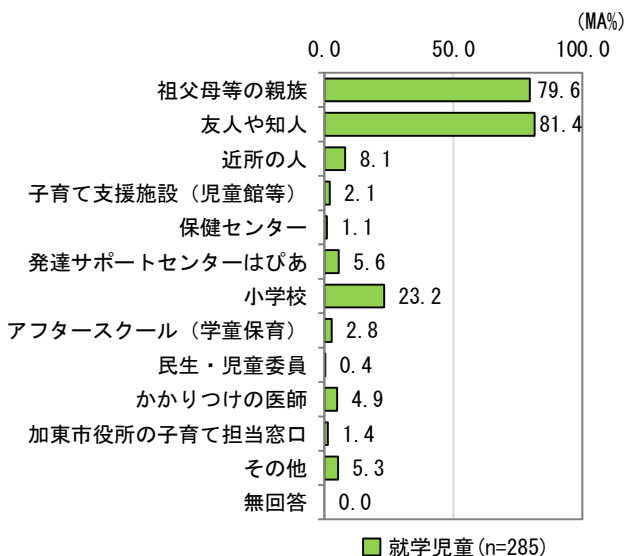
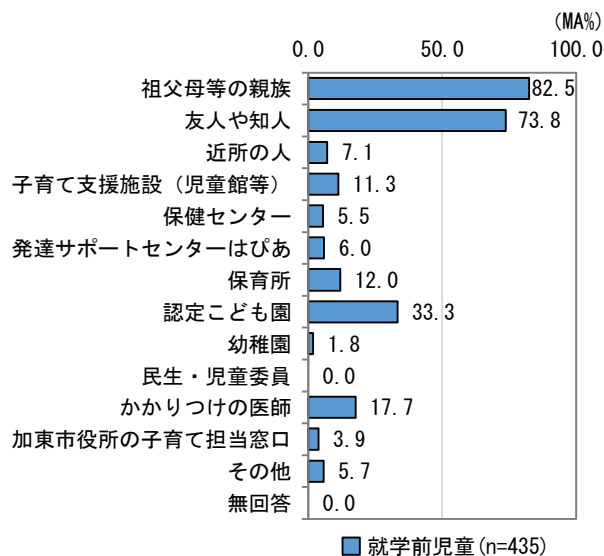
③ 子育てに関して気軽に相談できる人・場所【就学前児童・就学児童】

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）はある（ある）かについて、就学前児童では「いる/ある」が91.6%、「いない/ない」が5.9%、就学児童では「いる/ある」が87.7%、「いない/ない」が10.8%となっています。



④ 子育てに関する相談相手・相談先【就学前児童・就学児童】

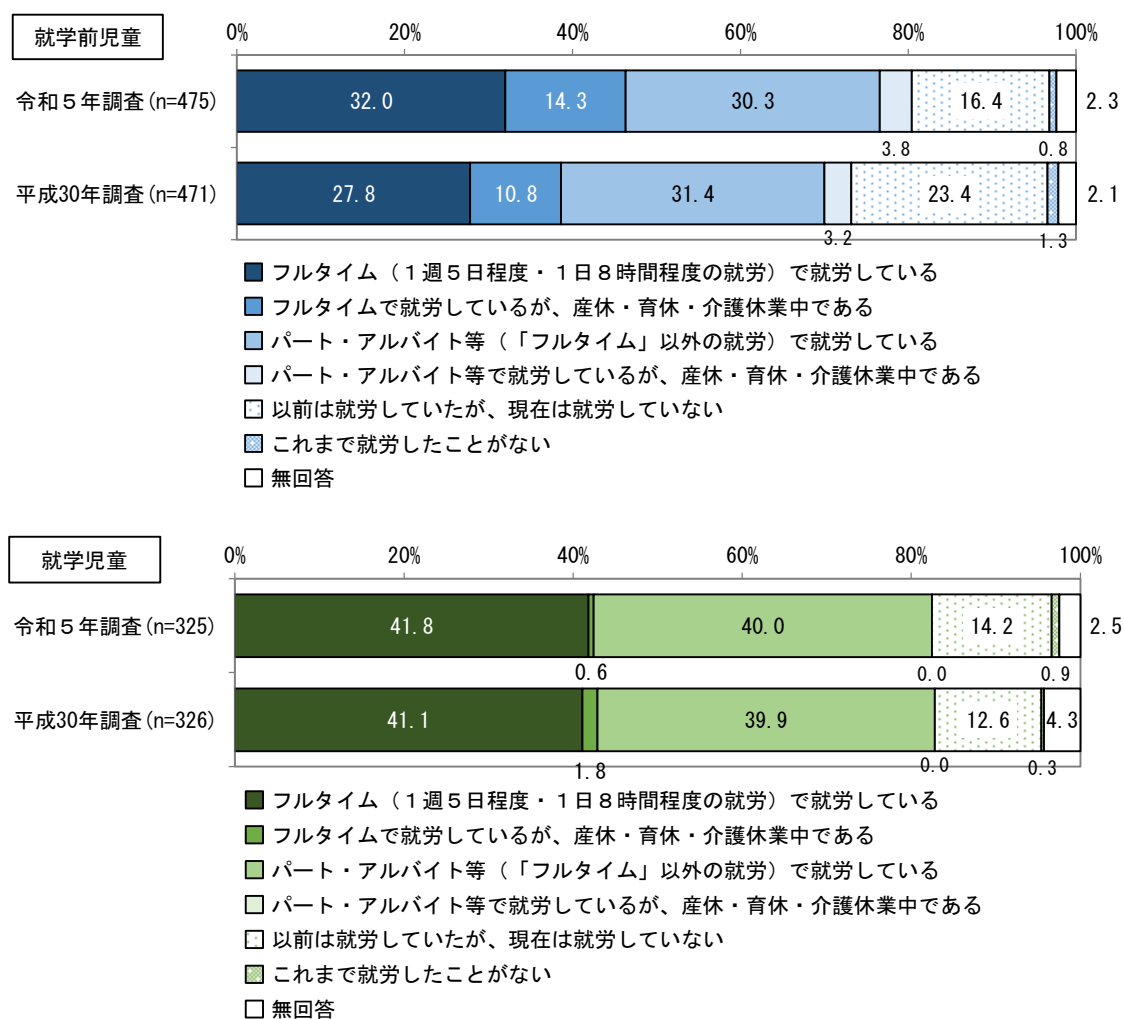
子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（場所）がいる（ある）人に対して、具体的な相談先について聞いたところ、就学前児童では「祖父母等の親族」が82.5%で最も高く、次いで「友人や知人」が73.8%、「認定こども園」が33.3%、就学児童では「友人や知人」が81.4%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が79.6%、「小学校」が23.2%となっています。



⑤ 母親の就労状況【就学前児童・就学児童】

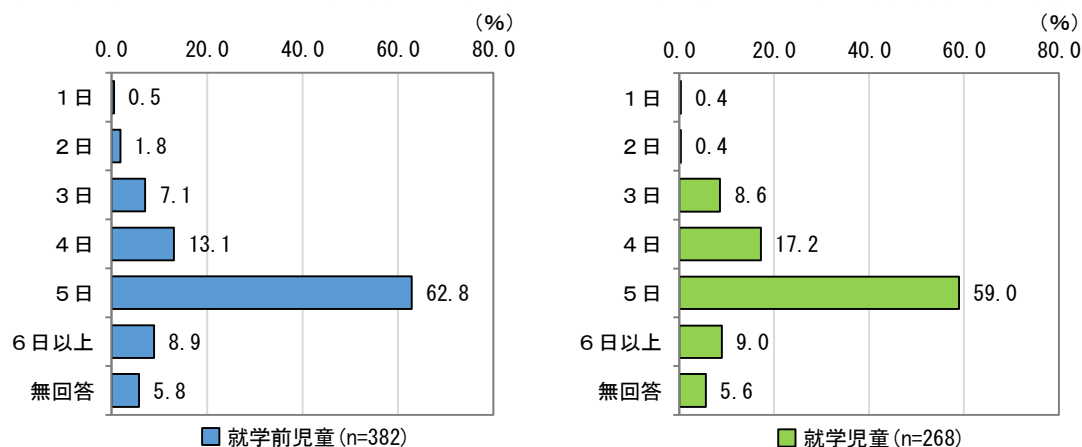
母親の就労状況について、就学前児童では「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労している」が32.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」が30.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.4%となっており、平成30年調査と比較すると、就労している母親の割合は、73.2%から80.4%と7.2ポイント増加しています。

また、就学児童では「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労している」が41.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している」が40.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.2%となっており、平成30年調査と比較すると、就労している母親の割合は、82.8%から82.4%と0.4ポイント減少しています。

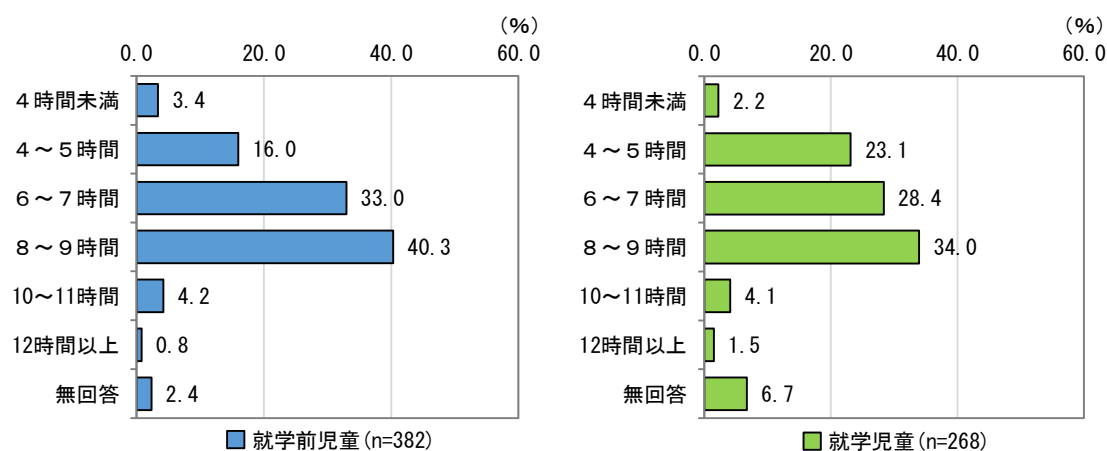


⑥ 母親の就労日数・就労時間【就学前児童・就学児童】

就労している母親に対して、1週当たりの就労日数について聞いたところ、就学前児童では「5日」が62.8%で最も高く、次いで「4日」が13.1%、「6日以上」が8.9%、就学児童では「5日」が59.0%で最も高く、次いで「4日」が17.2%、「6日以上」が9.0%となっています。

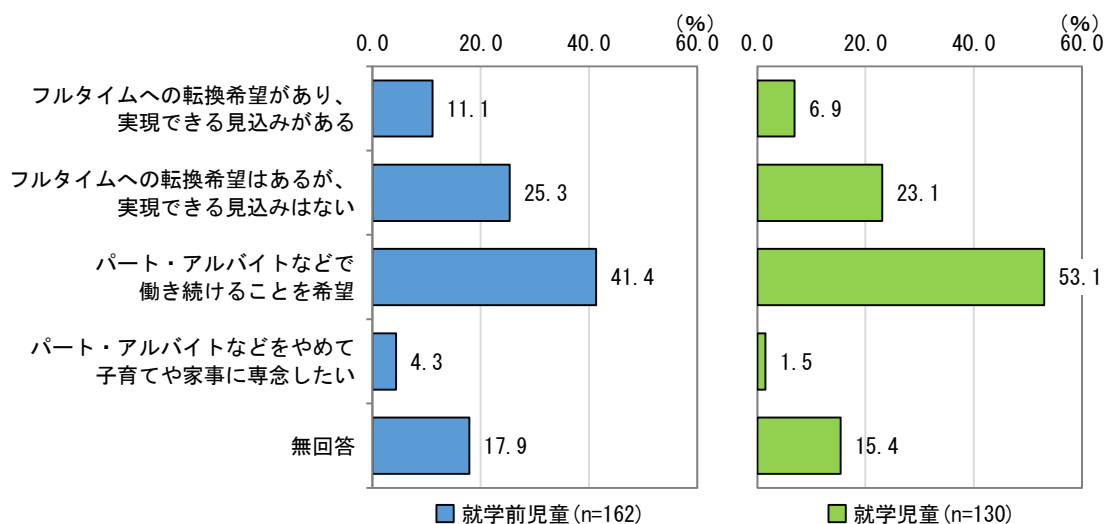


就労している母親に対して、1日当たりの就労時間について聞いたところ、就学前児童では「8～9時間」が40.3%で最も高く、次いで「6～7時間」が33.0%、「4～5時間」が16.0%、就学児童では「8～9時間」が34.0%で最も高く、次いで「6～7時間」が28.4%、「4～5時間」が23.1%となっています。



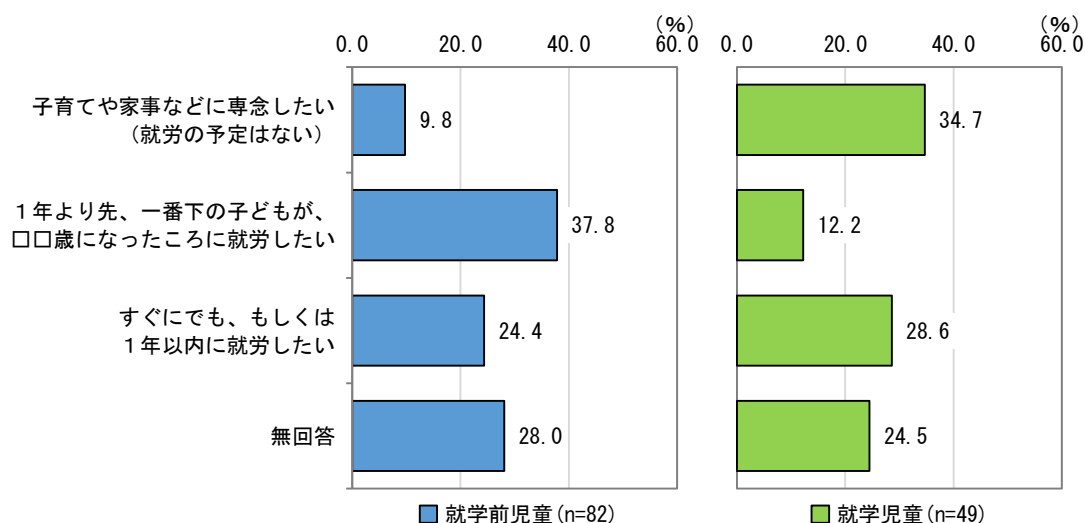
⑦ 母親のフルタイム就労に対する意向【就学前児童・就学児童】

パート・アルバイトで就労している母親に対して、フルタイムへの転換希望について聞いたところ、就学前児童では「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が41.4%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.1%、就学児童では「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が53.1%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.9%となっています。



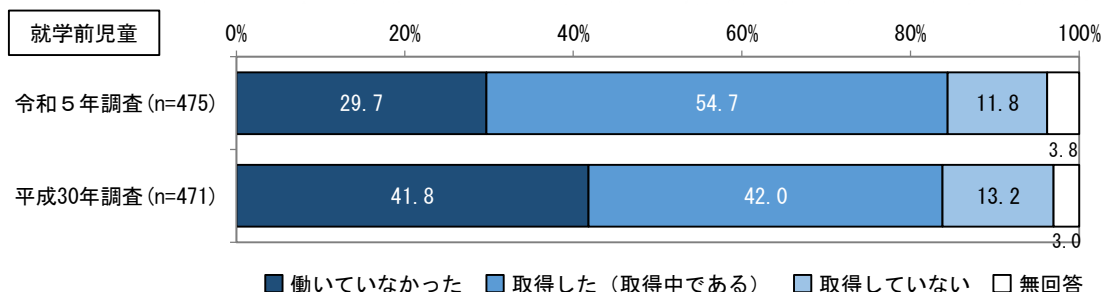
⑧ 母親の今後の就労意向【就学前児童・就学児童】

現在就労していない母親に対して、今後の就労意向について聞いたところ、就学前児童では「1年より先、一番下の子どもが、□□歳になったところに就労したい」が37.8%で最も高く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が24.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が9.8%となっており、就学児童では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が34.7%で最も高く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が28.6%、「1年より先、一番下の子どもが、□□歳になったところに就労したい」が12.2%となっています。

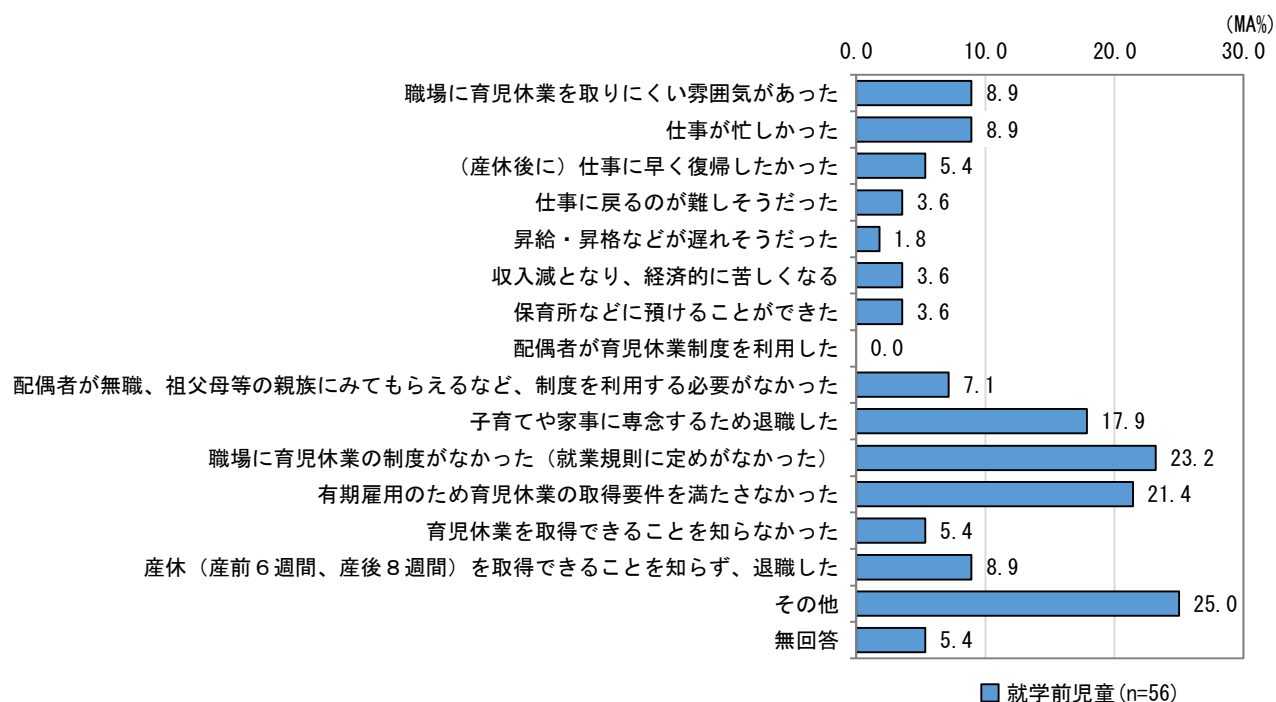


⑨ 母親の育児休業制度利用の状況【就学前児童】

母親における育児休業制度の利用状況について、「取得した（取得中である）」が54.7%で最も高く、次いで「働いていなかった」が29.7%、「取得していない」が11.8%となっており、平成30年調査と比較すると、育児休業を取得した母親の割合は、42.0%から54.7%と12.7ポイント増加しています。

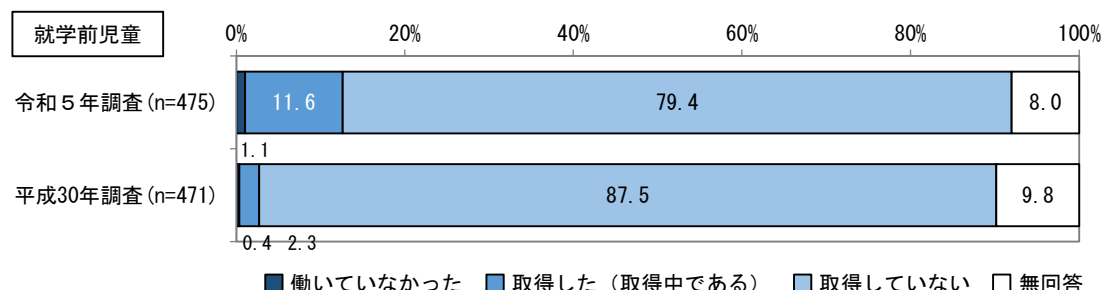


育児休業を取得していない母親に対して、その理由について聞いたところ、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が23.2%で最も高く、次いで「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が21.4%、「子育てや家事に専念するため退職した」が17.9%となっています。

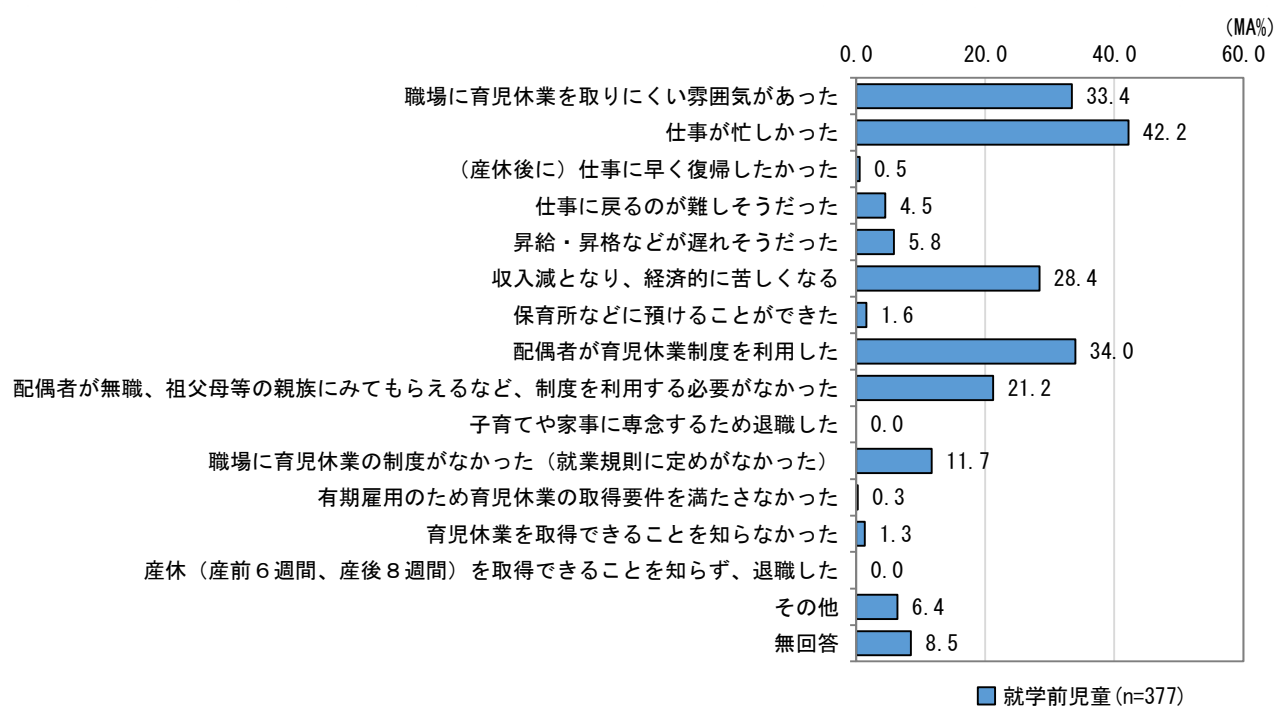


⑩ 父親の育児休業制度利用の状況【就学前児童】

父親における育児休業制度の利用状況について、「取得していない」が79.4%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が11.6%、「働いていなかった」が1.1%となっており、平成30年調査と比較すると、育児休業を取得した父親の割合は、2.3%から11.6%と9.3ポイント増加しています。

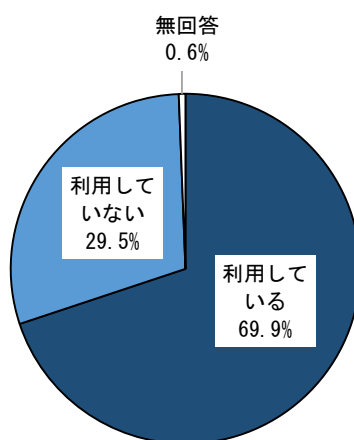


育児休業を取得していない父親に対して、その理由について聞いたところ、「仕事が忙しかった」が42.2%で最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が34.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.4%となっています。



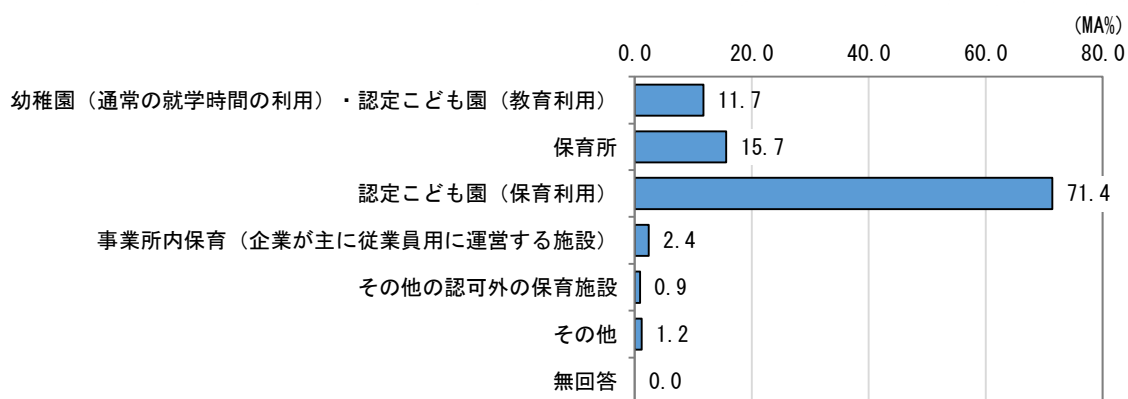
⑪ 定期的な教育・保育事業の利用状況【就学前児童】

平日の定期的な教育・保育事業の利用について、「利用している」が 69.9%、「利用していない」が 29.5%となっています。



就学前児童 (n=475)

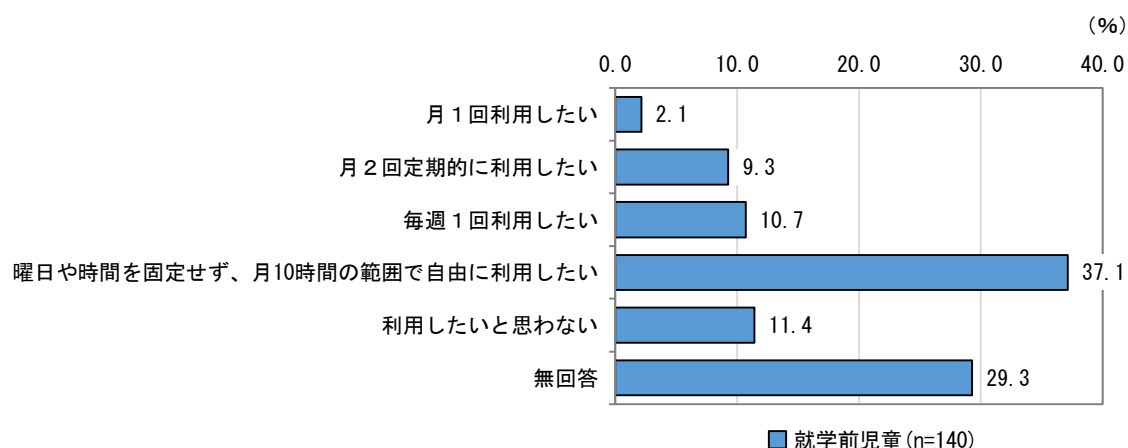
平日の定期的な教育・保育事業を利用している人に対して、利用している事業について聞いたところ、「認定こども園（保育利用）」が 71.4%で最も高く、次いで「保育所」が 15.7%、「幼稚園（通常の就学時間の利用）・認定こども園（教育利用）」が 11.7%となっています。



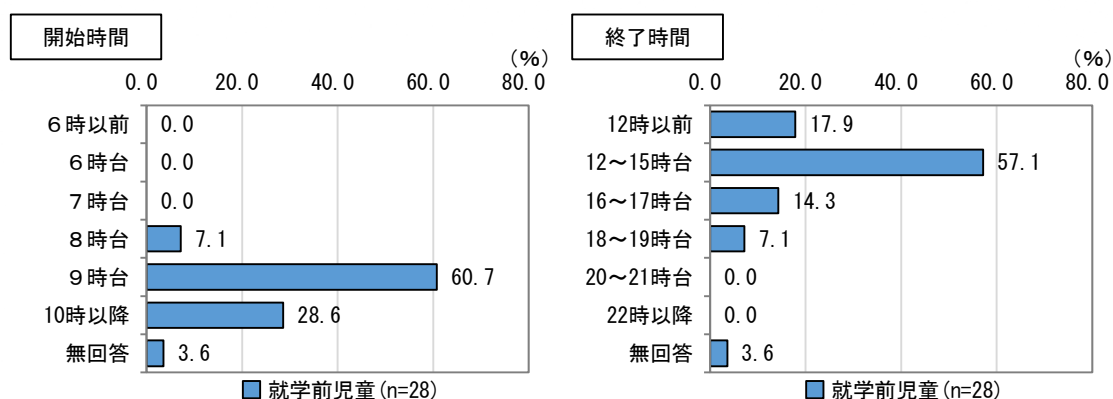
■ 就学前児童 (n=332)

⑫ 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望【就学前児童】

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない人に対して、「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望について聞いたところ、「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」が37.1%で最も高く、次いで「利用したいと思わない」が11.4%、「毎週1回利用したい」が10.7%となっています。



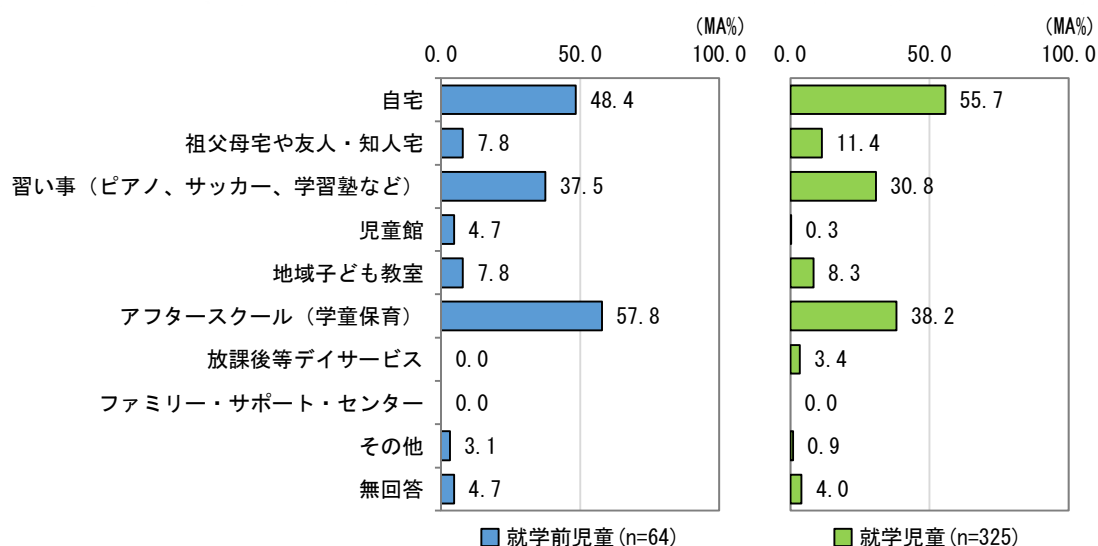
平日の定期的な教育・保育事業を利用せずに、「こども誰でも通園制度（仮称）」を月2回以上定期的に利用したいと思っている人に対して、利用したい時間帯について聞いたところ、開始時間では「9時台」が60.7%で最も高く、次いで「10時以降」が28.6%、「8時台」が7.1%、終了時間では「12～15時台」が57.1%で最も高く、次いで「12時以前」が17.9%、「16～17時台」が14.3%となっています。



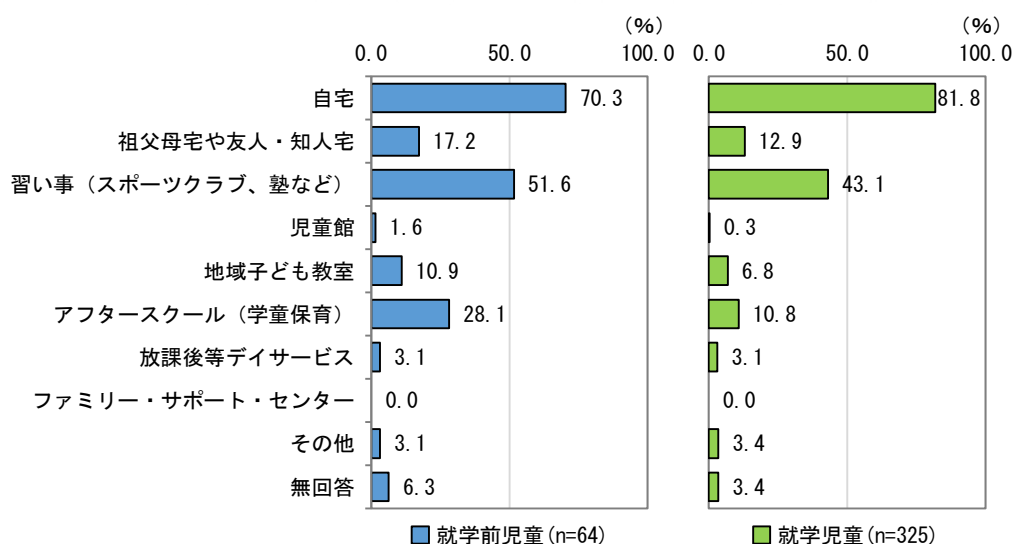
※「こども誰でも通園制度（仮称）」とは、普段、保育所や幼稚園等を利用していない未就学児を、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労用件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度です。

⑬ アフタースクールの利用希望【就学前児童・就学児童】

小学校低学年（１～３年生）における放課後を過ごす場所について、就学前児童では「アフタースクール（学童保育）」が 57.8%で最も高く、次いで「自宅」が 48.4%、「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」が 37.5%となっており、就学児童では「自宅」が 55.7%で最も高く、次いで「アフタースクール（学童保育）」が 38.2%、「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」が 30.8%となっています。



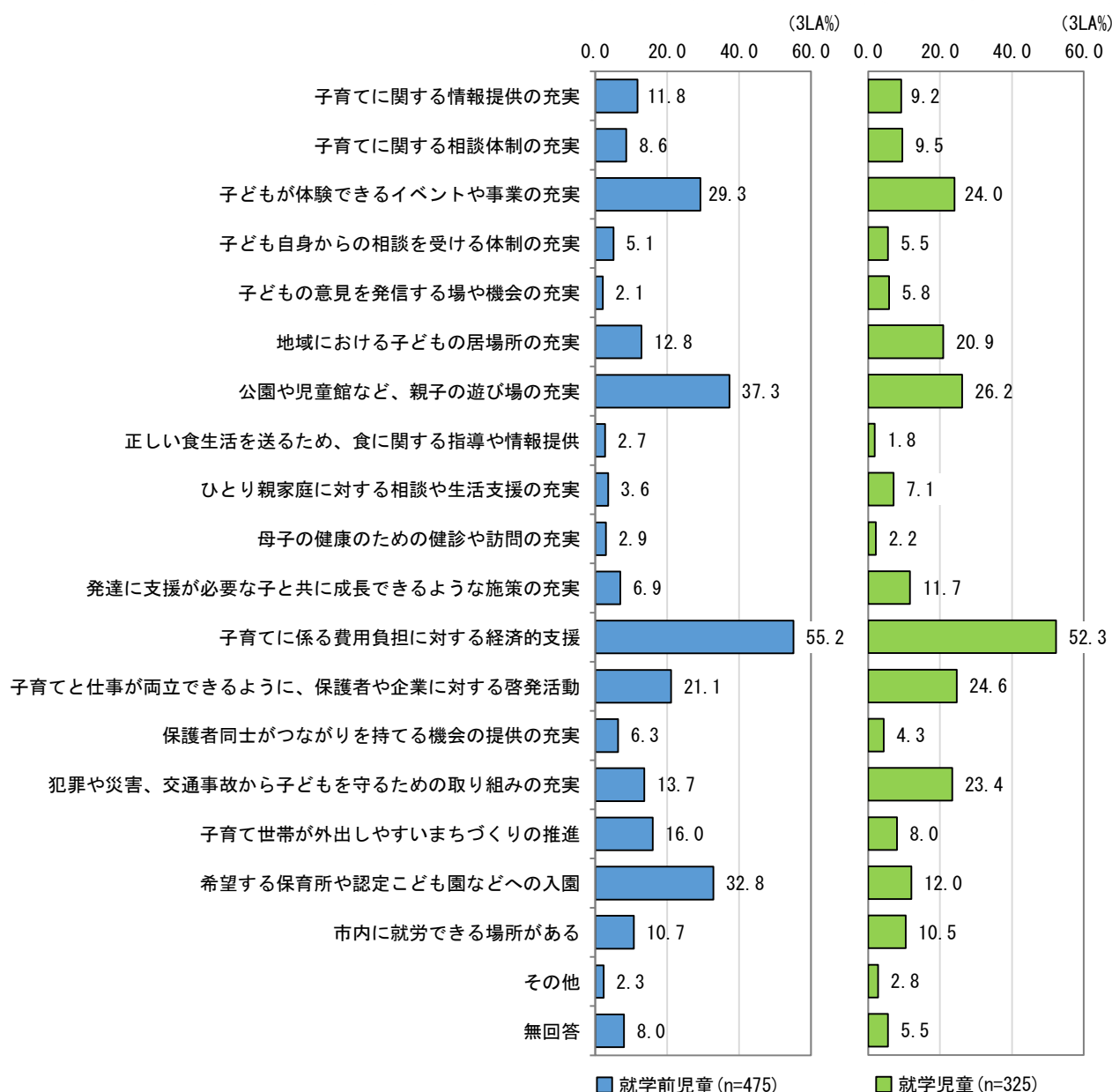
小学校高学年（４～６年生）における放課後を過ごす場所について、就学前児童では「自宅」が 70.3%で最も高く、次いで「習い事（スポーツクラブ、塾など）」が 51.6%、「アフタースクール（学童保育）」が 28.1%となっており、就学児童では「自宅」が 81.8%で最も高く、次いで「習い事（スポーツクラブ、塾など）」が 43.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 12.9%となっています。



※「地域子ども教室」とは、地域の方々の協力を得て、放課後などに小学校や公民館で学習、集団あそびやスポーツ、文化芸術活動（製作活動・昔あそび）などを体験する取組です。

⑭ 充実してほしい子育て支援施策【就学前児童・就学児童】

充実してほしい子育て支援施策について、就学前児童では「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が55.2%で最も高く、次いで「公園や児童館など、親子の遊び場の充実」が37.3%、「希望する保育所や認定こども園などへの入園」が32.8%、就学児童では「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が52.3%で最も高く、次いで「公園や児童館など、親子の遊び場の充実」が26.2%、「子育てと仕事が両立できるように、保護者や企業に対する啓発活動」が24.6%となっています。



(2) 子ども・子育てに関するアンケート調査

子育て施策を推進するにあたり、保護者及び小中学生に子ども・子育てに関する現状や考え方や毎日の過ごし方などの必要な情報を得ることを目的としたアンケート調査を実施しました。

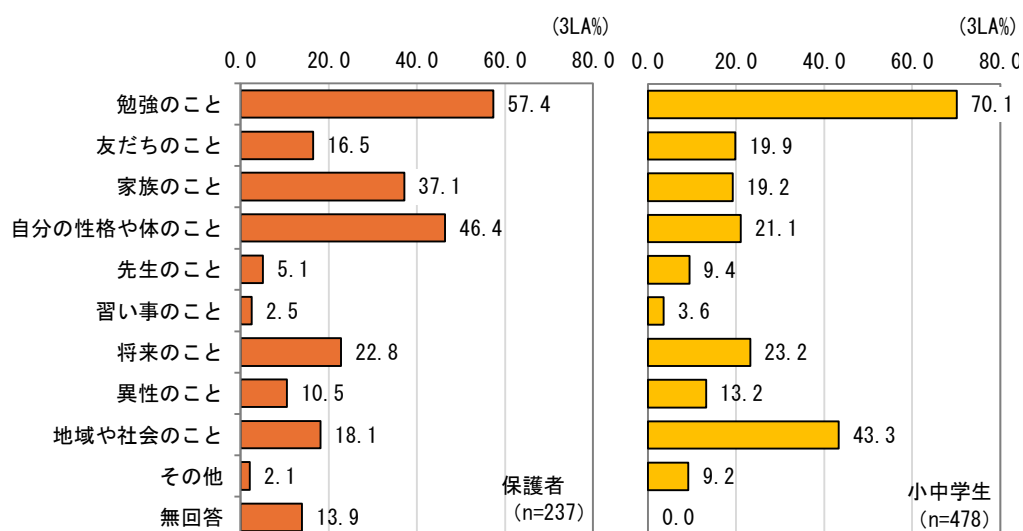
調査対象者	①加東市にお住まいの0歳～5歳のお子さんがいる世帯、②加東市立小・中・義務教育学校の3年生、6年生、7年生（中学1年生）および9年生（中学3年生）のこどもがいる世帯	加東市立小・中・義務教育学校の3年生、6年生、7年生（中学1年生）および9年生（中学3年生）の児童生徒
抽出方法	①無作為抽出、②調査対象者の保護者全員	対象学年全員
調査票配布数	①300件、②1,198件	1,198件
調査期間	令和6年1月29日～令和6年2月22日	令和6年1月29日～令和6年2月22日
調査方法	①郵送による配布、インターネットおよび郵送による回答、②学校を通じて配布、インターネットによる回答	学校を通じて配布、タブレット端末による回答

調査対象者	配布数	回収数	回収率
保護者用	1,498件	616件	41.1%
小中学生用	1,198件	707件	59.0%

① 困っていること・悩んでいること【保護者・小中学生】

こどもが困っていること・悩んでいることの内容について保護者に聞いたところ、「勉強のこと」が57.4%で最も多く、次いで「自分の性格や体のこと」が46.4%、「家族のこと」が37.1%となっています。

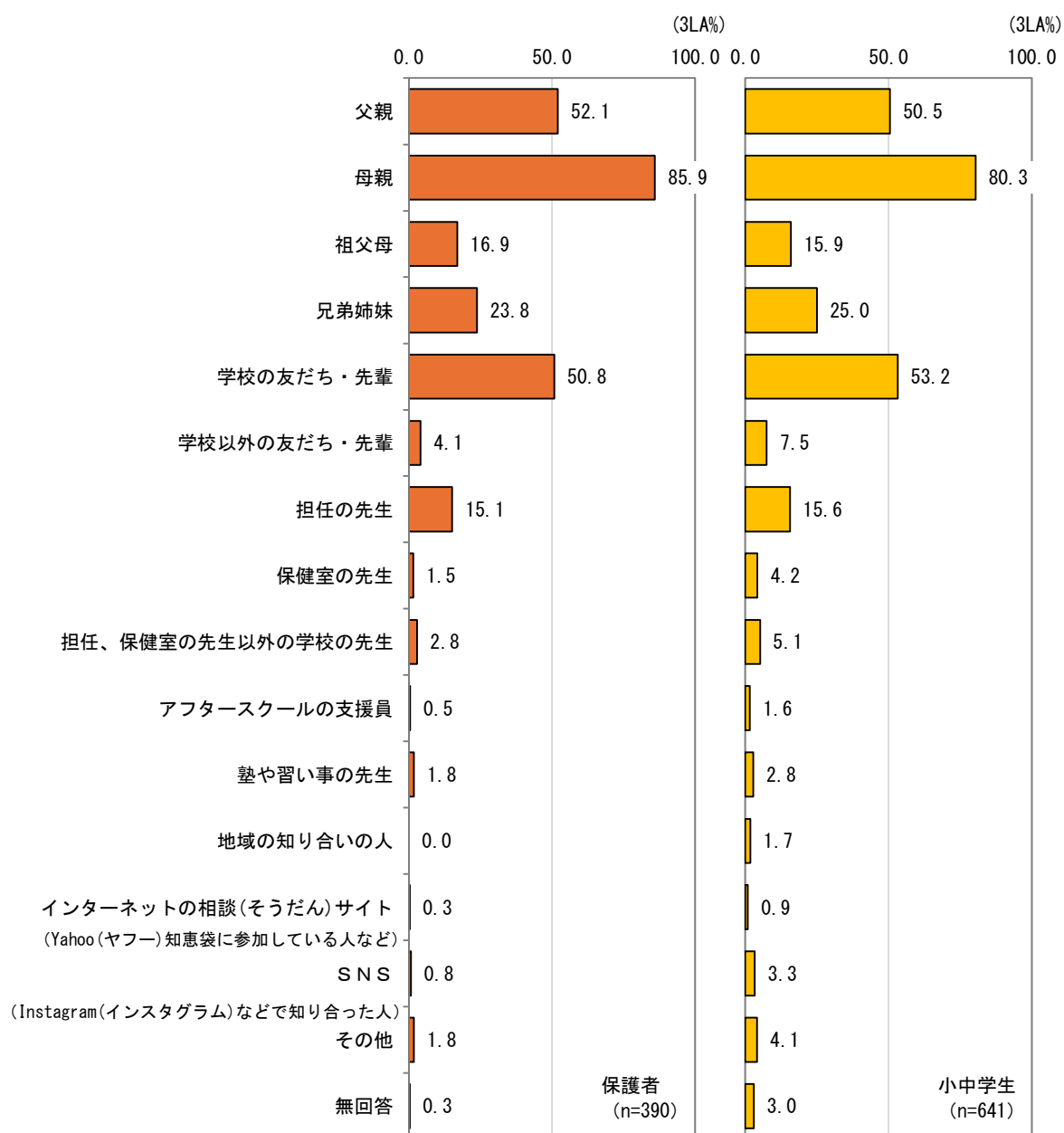
また、小中学生では「勉強のこと」が70.1%で最も多く、次いで「地域や社会のこと」が43.3%、「将来のこと」が23.2%となっています。



② こどもが困ったり悩んだ時に相談する人【保護者・こども】

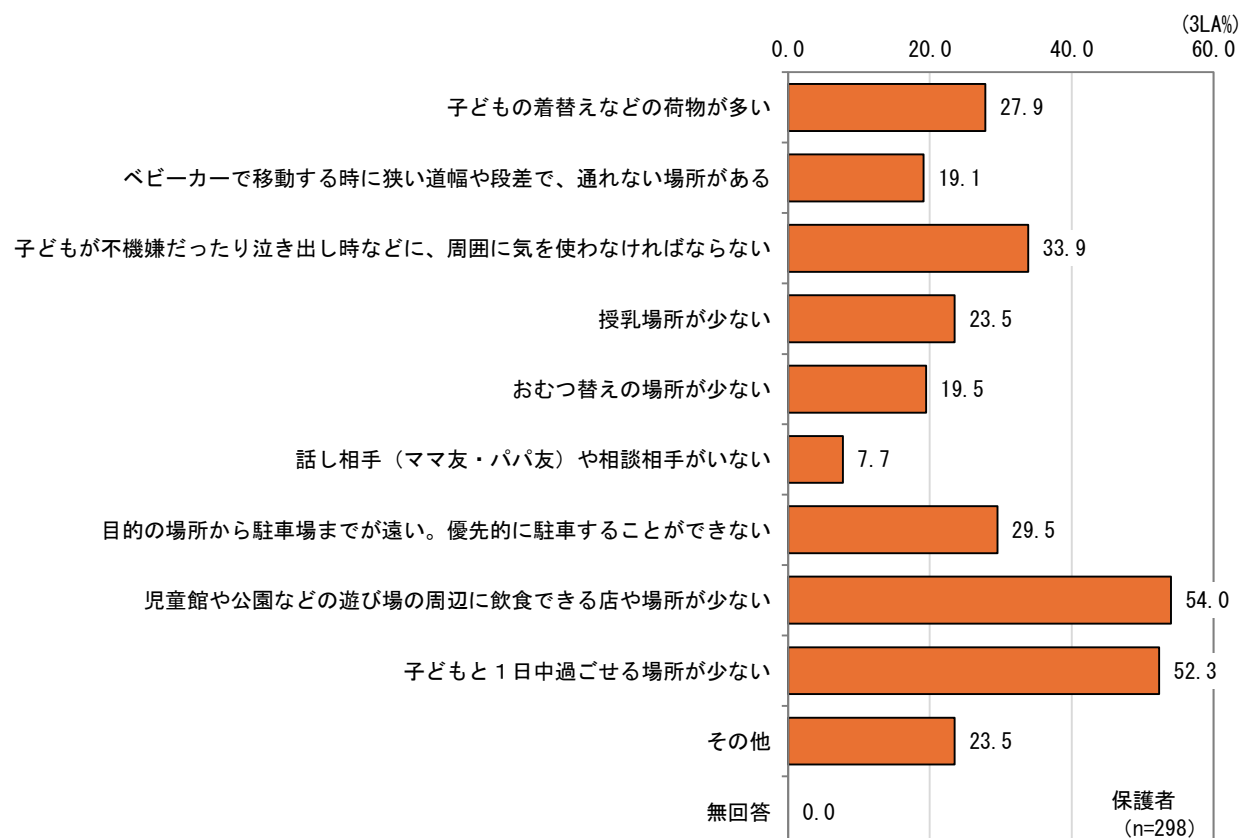
こどもが困ったり悩んだりした時の相談者について保護者に聞いたところ、「母親」が85.9%で最も多く、次いで「父親」が52.1%、「学校の友達・先輩」が50.8%となっています。

また、小中学生では「母親」が80.3%で最も多く、次いで「学校の友だち・先輩」が53.2%、「父親」が50.5%となっています。



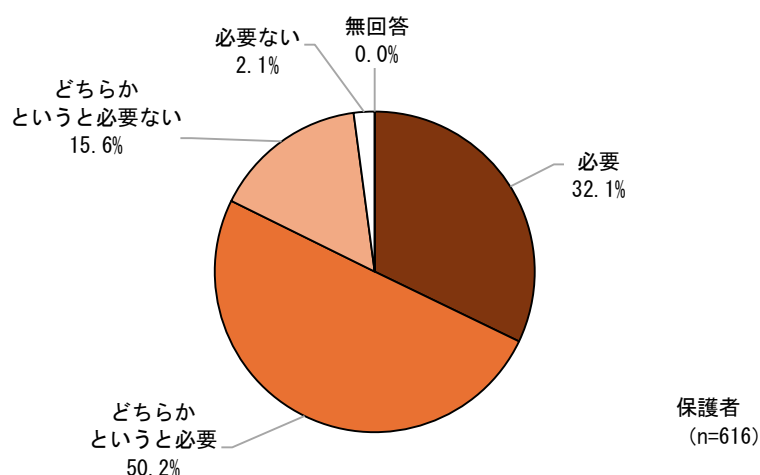
④ こどもと外出する時に不便と感じたこと【保護者】

こどもと外出する時に不便と感じた内容について保護者に聞いたところ、「児童館や公園などの遊び場の周辺に飲食できる店や場所が少ない」が 54.0%で最も多く、次いで「子どもと一日中過ごせる場所が少ない」が 52.3%、「子どもが不機嫌だったり泣き出し時などに周囲に気を使わなければならない」が 33.9%となっています。



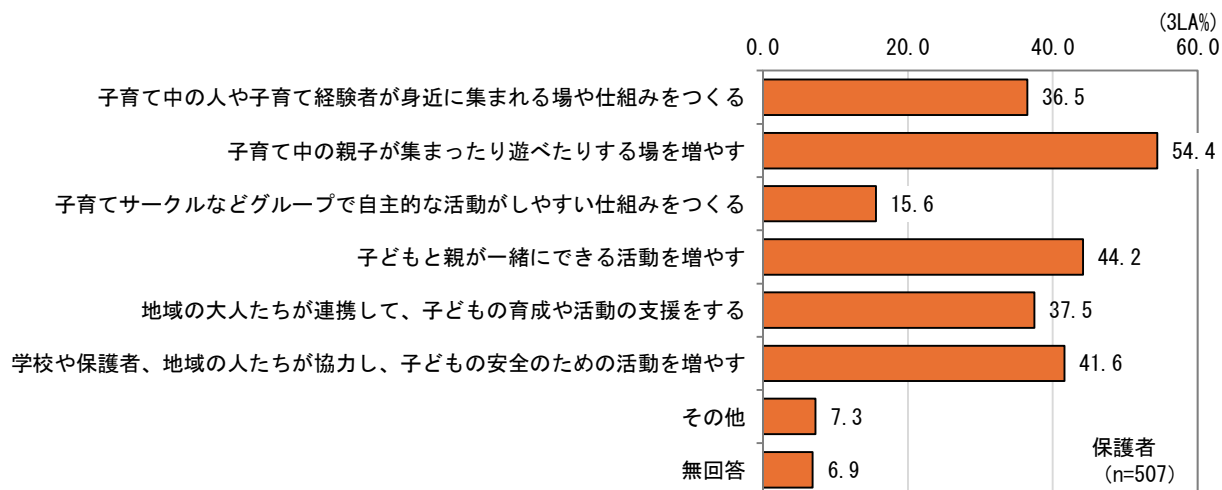
⑤ 子育て中に地域の人とのつながる必要性【保護者】

子育て中に地域の人とのつながりが必要と感じるかについて保護者に聞いたところ、「どちらかというと必要」が 50.2%で最も多く、次いで「必要」が 32.1%、「どちらかというと必要ない」が 15.6%となっています。



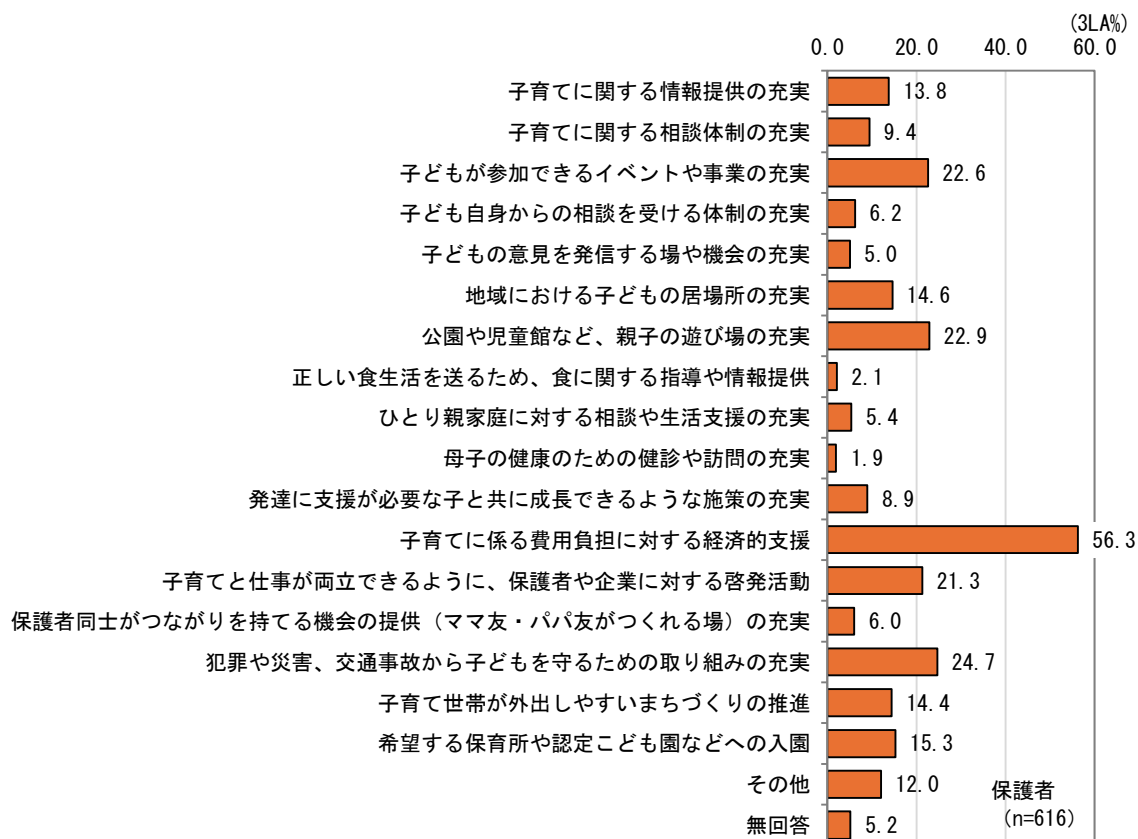
⑥ 地域の人とつながる取組【保護者】

子育て中が地域の人とのつながるための取組について保護者に聞いたところ、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場所を増やす」が 54.4%で最も多く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が 44.2%、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全のための活動を増やす」が 41.6%となっています。



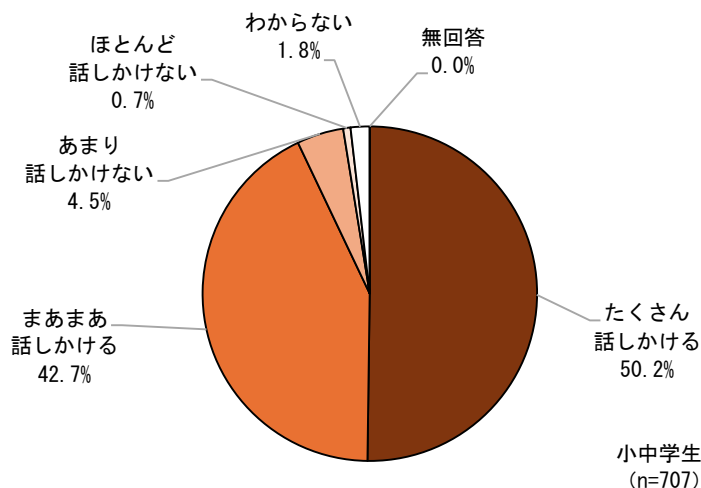
⑦ 子育て支援への取組として期待すること・重要なこと【保護者】

子育て支援への取組として期待すること・重要なことについて保護者に聞いたところ、「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が 56.3%で最も多く、次いで「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取り組みの充実」が 24.7%、「公園や児童館など、親子の遊び場の充実」が 22.9%となっています。



⑧ 家庭内の大人に話しかける頻度【小中学生】

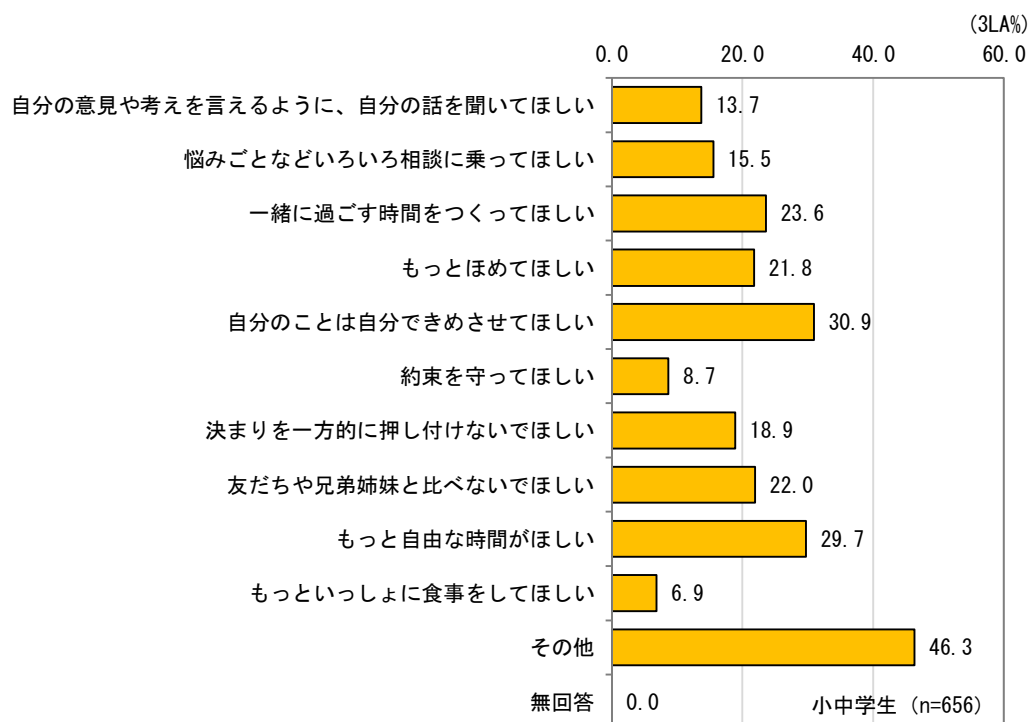
家庭内の大人に話しかける頻度について小中学生に聞いたところ、「たくさん話しかける」が55.9%で最も多く、次いで「まあまあ話しかける」が34.7%、「あまり話しかけない」が6.1%となっています。



⑨ 家庭内の大人への要望【小中学生】

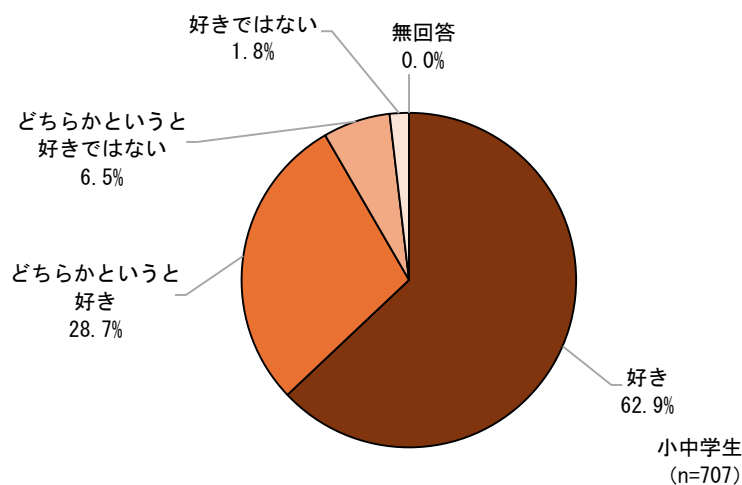
家庭内の大人への要望について小中学生に聞いたところ、「自分のことは自分できめさせてほしい」が30.9%で最も多く、次いで「もっと自由な時間がほしい」が29.7%、「一緒に過ごす時間をつくってほしい」が23.6%となっています。

また、「その他」では、「金銭的なサポートをより手厚くしてほしい」という回答が多く見られました。



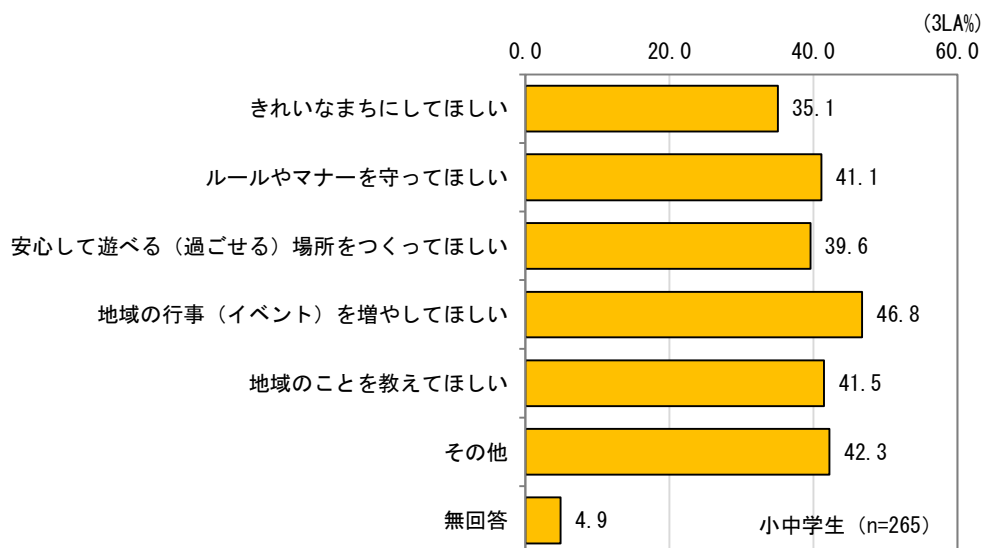
⑩ 住まいの地域に対する愛着【小中学生】

住まいの地域が好きかについて小中学生に聞いたところ、「好き」が62.9%で最も多く、次いで「どちらかという好き」が28.7%、「どちらかという好きではない」が6.5%となっています。



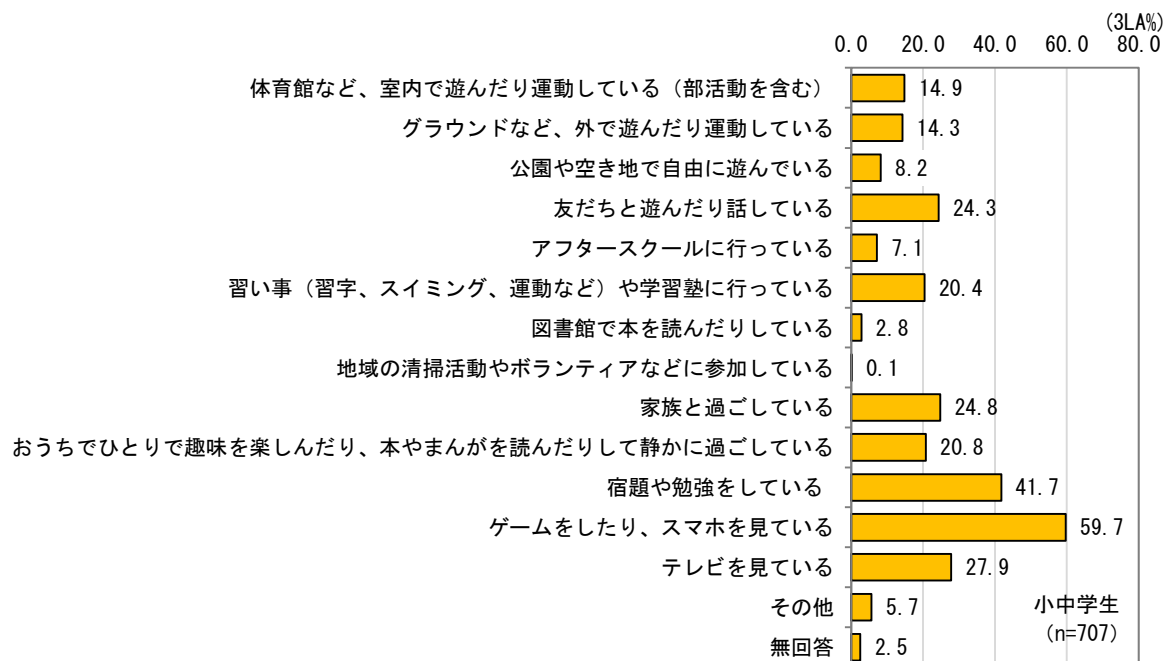
⑪ 住まいの地域の大人への要望【小中学生】

住まいの地域の大人への要望について小中学生に聞いたところ、「地域の行事（イベント）を増やして欲しい」が46.8%で最も多く、次いで「地域のことを教えてほしい」が41.5%、「ルールやマナーを守ってほしい」が41.1%となっています。「その他」について、「道にゴミを捨てないで欲しい」という回答が多く見受けられました。



⑫ 平日の放課後の過ごし方【小中学生】

平日の放課後の過ごし方について小中学生に聞いたところ、「ゲームをしたり、スマホを見ている」が 59.7%で最も多く、次いで「宿題や勉強をしている」が 41.7%、「テレビを見ている」が 27.9%となっています。



⑬ 学校のない日の過ごし方【小中学生】

学校のない日の過ごし方について小中学生に聞いたところ、「ゲームをしたり、スマホを見ている」が 60.8%で最も多く、次いで「宿題や勉強をしている」が 34.1%、「家族と過ごしている」が 33.2%となっています。

